# Network Video Recorder

取扱説明書

**4、8、16チャンネル**
**コンパクトモデル**

# 取扱説明書を読む前に

本取扱説明書では、Network Video Recorder（ネットワークビデオレコーダー）の設置および運用のための基本的な説明を記述しています。

本機をはじめてご使用になるユーザーの方はもちろん以前多くの類似装置を使用してきたユーザーの方でも、ご使用の前には必ず本取扱説明書をよく読み注意事項をご確認の上、本機を使用することをお勧めいたします。なお、安全上の警告および注意事項は製品を正しく使うことで危険や財産上の被害を防ぐことにつながるため、必ずお守りください。

お読みになった後は、いつでも確認できる場所に必ず保管して下さい。

- 規格品以外の製品を使用することで発生した損傷、または取扱説明書の使用方法を従わずに発生した製品の損傷は、当社で責任を負いかねますので、ご了承下さい。
- Network Video Recorder(ネットワークビデオレコーダー)を初めてご使用になるか、使い方がよく分からないユーザーは、設置や使用する途中で必ず販売店までお問い合わせ頂き専門のエンジニアのサポートを受けて下さい。
- 本機は業務用として電磁波適合登録を済ませた装置ですので、販売者または使用者はこの点にご注意ください。もし、誤って販売または購入した場合には、家庭用のものに交換してください。
- 予期せぬ停電による製品の損傷を防ぐため、UPS(Uninterruptible Power Supply、無停電電源供給装置)の設置をお勧めします。詳細はUPS代理店のお問い合わせください。

## 安全上の注意事項の表示

**注意**

感電の危険があるので開けないで下さい。

**注意：**感電の危険があるのでカバーを取り外さないで下さい。
修理は資格のあるサービス担当者へ依頼して下さい。

この事項を守らない場合、死亡したり重症を負う恐れがある内容です。

この事項を守らない場合、軽症を負ったり財産の損害が発生する恐れがある内容です。

| 記号 | 規格 | タイプ |
|---|---|---|
| ～ | **IEC417, No.5032** | 交流 |
| ⎓ | **IEC417, No.5031** | 直流 |

## 本文での表記

| アイコン | 表記 | 意味 |
|---|---|---|
| | 注意 | 本機の機能や動作に関する内容で、必ず熟知しておかなければならない内容です。 |
| | 参考 | 本機を使用する上で役立つ内容です。 |

本文書に収められた情報の完結性と正確性を検証するため、最善を尽くしておりますが、保障はいたしかねます。本文書の使用結果による責任はユーザーにあります。また、事前の連絡なく情報が変更されることもあります。

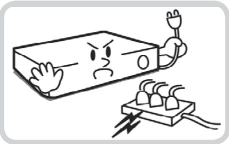
本機には一部のオープンソースを使用したソフトウェアが含まれています。そのソフトウェアのソースコードをご希望の方には提供できます。詳しい内容はソフトウェアCDに(OpenSourceGuide¥OpenSourceGuide.pdf)または取引説明書と一緒に提供されるオープンソースガイドを確認してください。

# 安全上の注意事項

製品を正しく使うことで使用者の安全を確保し、財産上の損害などを事前に防止するための内容であるため、必ずお守りください。

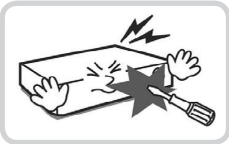
**警告**　この事項を守らない場合、死亡や重症を負う恐れがある内容です。

## 設置について



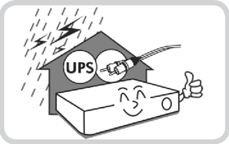
**設置する前に必ず本機の電源をOFFにしてください。本機が使用するコンセントは、タコ足配線は止めてください。**

異常発熱や火災、感電の原因となります。



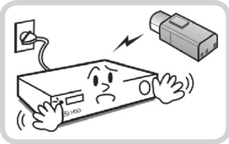
**本機の内部に高電圧部分があるため、任意で蓋を開けたり分解・修理・改造したりしないでください。**

異常作動により火災や感電、けがの原因となります。



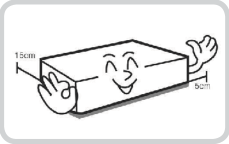

**停電や落雷による被害を防ぐため、保護設備を作ってご使用ください。**

火災、感電、けがの原因となります。



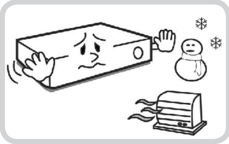
**カメラの新規設置および追加工事の前には必ず本機の電源をOFFにし、製品の駆動中には絶対に信号ラインを接続しないでください。**

火災、感電、けがの原因となります。



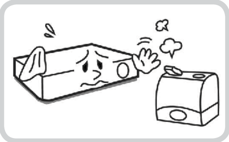
**本機の後面には接続のための端子が突出しているため、壁に近すぎるところに設置するとケーブルが無理に曲がったり押さえつけられたりして破損する恐れがあります。壁から15cm以上の間隔を開けて設置してください。**

火災、感電、けがの原因となります。



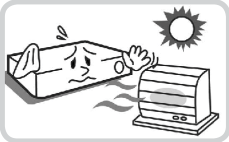
**温度が高すぎるところ（40℃以上）や低いところ（5℃以下）、湿度の高いところには設置しないでください。**

火災の原因となります。



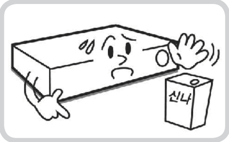
**湿気、ホコリ、煤などの多いところには設置しないでください。**

感電、火災の原因となります。



**直射光線の当たらない涼しい場所に設置し、適正な温度を維持してください。ロウソクや暖房器具など、熱を発する機器の近くには設置しないでください。**

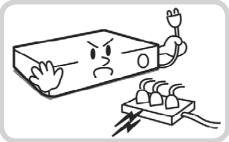
火災が発生する恐れがあります。




**設置する場所は、ホコリが溜まらないよう常に清潔を保ってください。製品を掃除するときには、必ず乾いた雑巾で拭き取ってください。水やシンナー、有機溶剤は使用しないでください。**

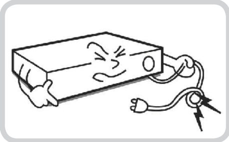
製品の表面を傷つけ、なお、故障や感電の恐れがあります。

## 電源について



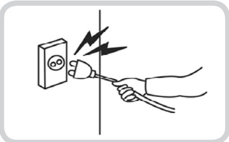
**本機が作動するための電源電圧は、電圧の変動範囲が規程電圧の10%以内である必要があります。電源コンセントは必ず接地するようにしてください。電源ケーブルを接続するコンセントには、ヘアドライヤーやアイロン、冷蔵庫などの電熱器具を一緒に使用しないでください。**

異常発熱や火災、感電の原因となります。



**電源ケーブルを無理に曲げたり、重い物を乗せたりして破損しないようにしてください。**

火災の原因となります。



**電源ケーブル部分を無理に引き抜いたり、濡れた手で電源プラグに触らないでください。コンセントがゆるい場合は電源プラグを差し込まないでください。**

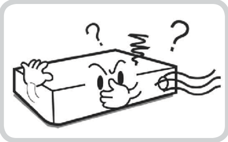
火災、感電の恐れがあります。

**アース(接地)は確実に行なう。電源コードには感電を防ぐためのアース線があります。電源プラグをコンセントに差し込む前に、必ずアース線をアースに接続してください。確実にアース接続しないと、感電の原因になります。また、アース線を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いたあとで行なってください。**

## 使用について

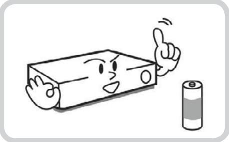
**製品に水、または異物が入った場合、すぐに電源プラグを抜いてサービスセンターまでご連絡ください。**

故障、火災の原因となります。



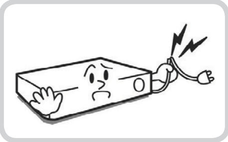
**異常な音がしたり臭いがしたりする場合は、すぐに電源プラグを抜いて販売店やサービスセンターまでお問い合わせください。**

火災、感電の恐れがあります。



**電池は製造者が指定した同一型番また同等品だけを使用してください。使用済み電池は製造者の指示に従って廃棄してください。**

爆発の恐れがあります。

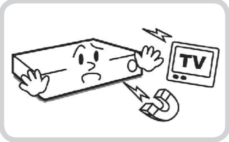


**湿気のある床や接地されていない電源延長ケーブル、被覆の剥がれた電源コード、安全接地の欠如など、危険な状況を作らないように注意してください。問題が発生した場合は、販売店や施工業者にお問い合わせください。**

火災、感電の恐れがあります。

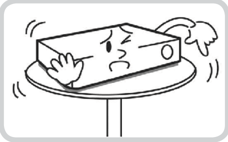
⚠ **注意**　指示事項を守らない場合は、軽傷を負ったり、製品が損傷したりする可能性があります。

## 設置について



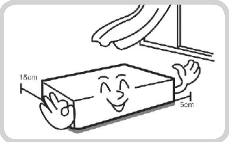

**強い磁性や電波のある場所、衝撃のある場所、ラジオやテレビなどの無線機器に近い場所には設置しないでください。**

磁石類や電波、振動のないところに設置してください。



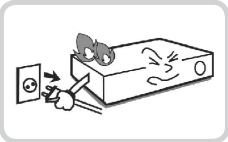
**水平で安定した場所に設置し、垂直に立てたり斜めに置いて使用しないでください。**

機器が倒れたり落ちたりする場合、故障したり人にけがをさせたりする恐れがあります。



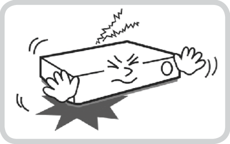

**密閉されていない風通しの良い場所に設置し、室内のの空気は適切に循環させてください。**

周辺の環境要素により故障の原因となります。後面は15cm以上、側面は5cm以上の間隔を置いて設置してください。



**ユーザーが電源プラグを簡単に取り外せる場所に設置してください。**

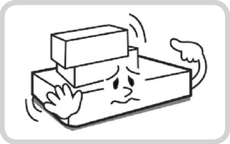
製品に深刻な異常や火災が発生した場合、電源プラグを抜いて危険要素を簡単に取り除けるようにしてください。



**強い衝撃や振動のない場所に設置してください。**

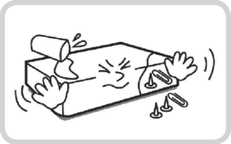
故障の原因となります。

## 使用について



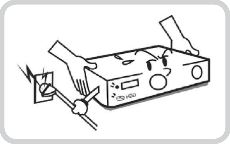
**製品の上に重い物を置かないでください。**

故障の原因となります。



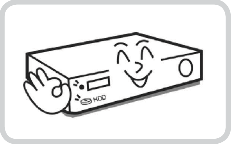
**通風のために開いている溝に導電性物体が落ちないように注意してください。**

故障の原因となります。



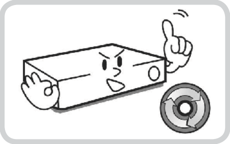
**製品の駆動中には電源プラグを抜いたり、製品を動かしたりしないでください。**

故障の原因となります。

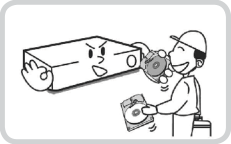


**製品前面の録画LEDが点滅し続けていれば、システムとHDDが正常に接続されていることが分かり ます。**

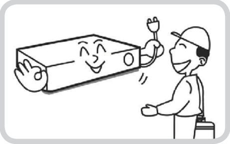
録画LEDが点滅し続けているかどうか随時確認してください。



**HDDの空き容量がなくなったときに録画を続けるために設定を変更して録画を続ける場合、既存のデータが削除されるため再度確認してください。**



**データを保存するHDDの寿命が尽きると、保存されている映像データが損傷して復旧できないことがあります。HDDに保存されているデータを再生する場合、画面に乱れが生じたらHDDの寿命が尽きたことを意味するため、早急に販売店やサービスセンターに連絡しHDDの交換を依頼してください。**



**製品の動作状態を随時確認し、異常が見つかったときはすぐに販売店やサービスセンターにお問い合わせください。**

# 目次

1

## 第1章ー製品紹介 .......... 11

製品の特徴 .......... 11
付属品の確認 .......... 12
各部分の名称および機能 .......... 13
前面パネル .......... 13
後面パネル .......... 16
後面パネルの接続 .......... 16
リモコン .......... 20

2

## 第2章ー設置 .......... 23

ウィザード実行 .......... 23
カメラ登録 .......... 26
デバイススキャン .......... 26
高機能設定 : ビデオインIP設定 .......... 27
カメラ登録モードの実行 .......... 28
ログイン .......... 28
リアルタイム監視 .......... 29
リアルタイム監視メニュー .......... 29
拡大機能 .......... 32
PTZ制御 .......... 33
ベントモニタリング機能 .......... 34
カメラロック機能 .......... 34
コンテキストメニューの実行 .......... 35
画面グループの編集機能 .......... 35
ビデオ録画 .......... 35
緊急録画 .......... 35
オーディオ録画 .......... 36
保存された映像の再生 .......... 36
全チャンネル再生 .......... 36
再生中のリモコンボタンの機能 .......... 36
コンテキストメニュー .......... 36

3


第3章ー設定 37

メニューの使い方 37

スクリーンキーボードによる文字列入力 37

テーブルで全列の値を同時に設定する 37

マウスの使用 38

システム設定 38

一般 38

日時/時間 39

使用者 40

HDD 42

モニタリング 42

録画設定 44

一般 44

ケジュール 45

プリイベント 46

イベント設定 47

ビデオ分析 47

アラーム入力 50

映像信号なし 51

オーディオ検出 51

テキストイン 52

ネットワーク設定 53

一般 53

WAN (IPアドレス) 53

FEN 54

装置の設定 55

アラーム出力 55

ディスプレー設定 56

OSD 56

メインモニター 56

通知設定 57

スケジュール 57

コールバック 57

メール 57

SNS 58

カメラ設定 59

一般 59

高機能設定 59

ストリーム 65
オーディオ 65
アップグレード 66

4

第4章–検索 67

タイムラプス検索 67
検索メニュー 68
タイムラプス検索メニュー 69
コンテキストメニュー 73
印刷 73

イベントログ検索 73

重複した時間の映像検索 74

第5章 – ウェブガード 75

ウェブ監視モード 76

ウェブ検索モード 78

第6章ー付録 81

システムログの種類 81

エラーコードの種類 82

故障時の確認事項 84

製品の仕様 85

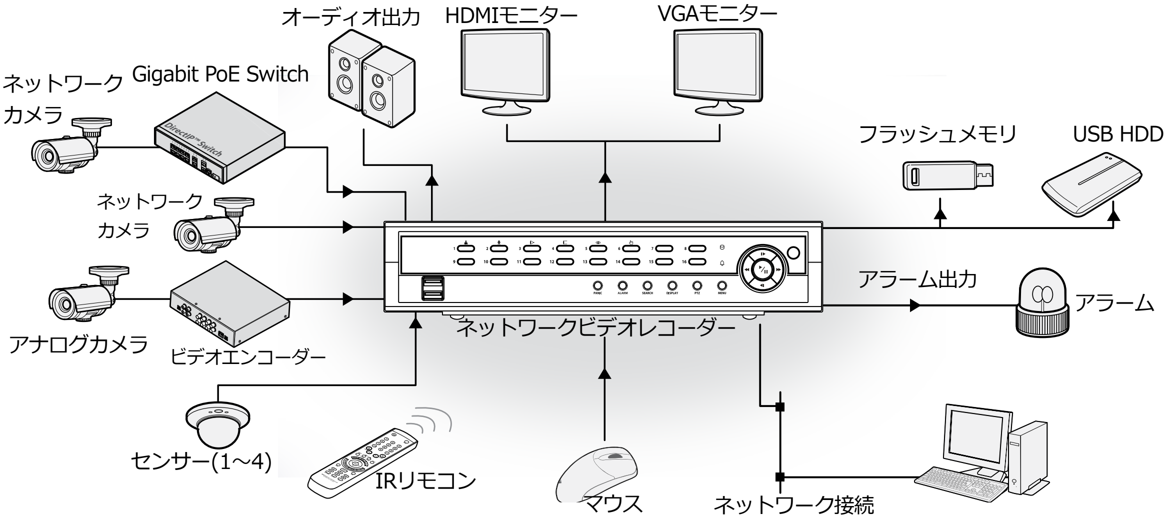
# 第1章ー製品紹介

## 製品の特徴

本機はネットワークカメラまたはビデオエンコーダー(以下、ネットワークカメラまたはカメラという。)の映像監視、録画及び再生機能を持つネットワークビデオレコーダー(以下、NVRという。)で、次のような特徴があります。

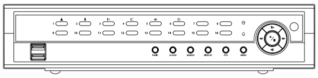
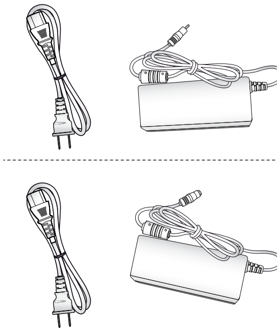
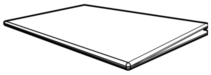
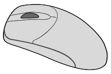
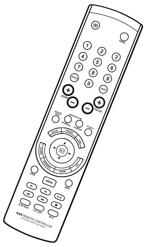
- 4/16チャンネルネットワークカメラのリアルタイム監視に対応
- ネットワークカメラゼロ設定に対応
- カメラのセットアップをしなくてもネットワークカメラに接続可能
- 最大Full HD 480ips録画 (4-ch モデル: 120ips録画)
- 1 HDMI・1 VGA OUT映像出力
- 早くて簡単な検索モードを提供 (タイムラプス、イベントログ、モーション、テキストイン)
- リアルタイム監視、録画、再生、遠隔転送機能のマルチタスク可能
- ユーザー中心のグラフィックユーザーインタフェース（GUI）と多国語を提供
- さまざまな録画モード（スケジュール、イベント、プリイベント、緊急）
- PoE (Power over Ethernet)対応のカメラ接続
- USB2.0端子 x 1、USB3.0端子 x 1（マウス、S/Wアップデートおよび再生映像の保存）
- 内部SATA2 HDD 2BAYに対応、eSATA 1 portに対応
- 双方向オーディオ機能に対応(今後対応していく予定です。)
- ネットワークカメラからのオーディオ録音、および1チャンネルオーディオの再生に対応
- 4アラーム入力、1アラーム出力
- IRリモコンに対応
- 自己診断機能、HDD状態などシステムの状況をシステムイベントで知らせる機能。（HDD状態はS.M.A.R.T.プロトコル使用）

本マニュアルは4-、8-、16-チャンネルネットワークビデオレコーダーです。マニュアル上の図や説明は16チャンネルモデルを基準として作成されています。



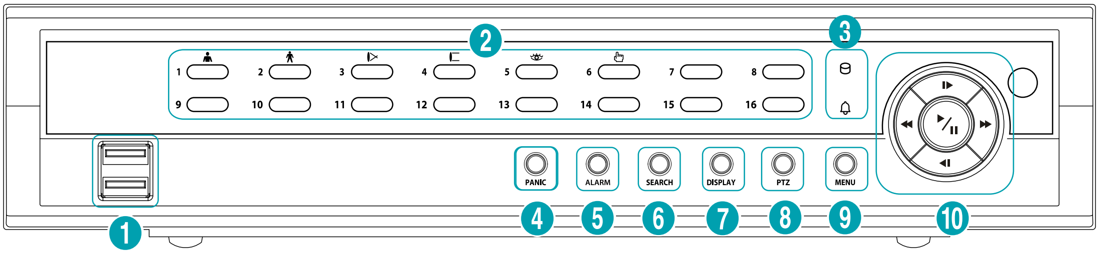
## 付属品の確認

製品の梱包を解体し、下記の付属品がすべて含まれているか確認してください。

| | | |
|---|---|---|
|  |  |  |
| ネットワークビデオレコーダー | 電源ケーブル/電源アダプター<br>（12V、48V） | クイックガイド |
| |  |  |
| 遠隔プログラム／<br>製品の取扱説明書CD | USBマウス | IRリモコン |

# 各部分の名称および機能

## 前面パネル




| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ❶ | USB端子 | ❷ | **カメラ**ボタン | ❸ | LED | ❹ | **緊急録画**ボタン |
| ❺ | **アラーム**ボタン | ❻ | **検索モード**ボタン | ❼ | **分割画面**ボタン | ❽ | **PTZ**ボタン |
| ❾ | **メニュー**ボタン | ❿ | **方向**および**再生**ボタン | | | | |

- リモコンのセンサーは前面パネルの右端にあります。物がセンサーを遮らないように注意してください。センサーが遮られるとリモコンが正常に作動しません。
- Wi-Fi(無線LAN)およびBluetoothのような無線通信装置をNVRの近くで使用する場合、リモコンが正常に作動しない可能性があります。
- 家庭用PCのように、USBマウスを利用して各設定ウィンドウやメニューに移動することができます。
- システム設定を円滑に行うため、USBマウスの使用をお勧めします。

① **USB端子**

- **HDD接続**

USB端子にUSB外付けハードディスクやフラッシュメモリを接続してバックアップに使用することができます。外付けハードディスクはなるべくNVRに近いところで接続してください。通常180cmを超えないケーブルで接続することをお勧めします。外付けハードディスクと一緒に提供されたUSBケーブルでNVRのUSB端子に接続してください。ビデオバックアップに関する内容は、**70ページ ⑤ バックアップ**を参照ください。

- **外部機器の接続（マウス、プリンター）**

USB端子にUSBマウスを接続することができます。また、USB⇔シリアルコンバーターを接続し、テキストインデバイスをいくつか接続するのに使用できます。

USBフラッシュメモリはFAT32フォーマットのみに対応します。

② **カメラ**ボタン

リアルタイム監視モード、または再生モードで**カメラ**ボタンを押すと、そのカメラの映像をフルスクリーンで見ることができます。変更したいカメラのチャンネルが2桁の場合、数字キーを順次に入力して2桁のチャンネルに移動することができます。

③ **LED**

- **HDD LED**：ハードディスクに映像を保存したり、保存された映像を検索したりするときに点滅します。
- **アラーム LED**：アラームイベントが発生すると、赤いLEDが点灯します。

④ **緊急録画**ボタン

**緊急録画**ボタンを押すと、❗が表示され、現在のスケジュールに関わらず映像録画を始めます。ボタンをもう一度押すと、緊急録画モードが解除されます。

⑤ **アラーム**ボタン

**アラーム**ボタンはアラームが作動している間、内部ブザーを含むNVRの出力をリセットします。アラームが作動しない監視モードでボタンを押すと画面にイベントログを出力します。

⑥ **検索モード**ボタン

**検索モード**ボタンを押すと検索モードに入り、録画された映像を再生することができます。

検索モードで検索モードボタンを押すと、監視モードに切り替わります。

⑦ **分割画面**ボタン

**分割画面**ボタンを押して他の分割画面フォーマットに切り替えます。

⑧ **PTZ**ボタン

**PTZ**ボタンを押すとPTZモードになり、設定されたPTZカメラが制御できます。

PTZモードが開始すると、方向ボタンで上下左右に動かすことができます。

| | |
|---|---|
| 1 | ズームイン |
| 2 | ズームアウト |
| 3 | フォーカスを近くに |
| 4 | フォーカスを遠くに |
| 5 | 指定されたプリセットに移動ウィンドウを表示する |
| 6 | 現在の位置をプリセットに保存する |

⑨ **メニュー**ボタン

リアルタイム監視モードで**メニュー**ボタンを押すと、リアルタイム監視メニューが表示されます。

検索モードで**メニュー**ボタンを押すと、検索メニューがスクリーン上段に表示されます。

ボタンをもう一度押すと、メニューが消えます。

リアルタイム監視モードでメニューボタンを3秒以上押すと、NVRおよびIPカメラ設定のための設定ウィンドウを表示することができます。

再生モード**メニュー**ボタンを3秒以上押し続けると、ワンタッチモードに切り替わりバックアップ設定ウィンドウが表示されます。

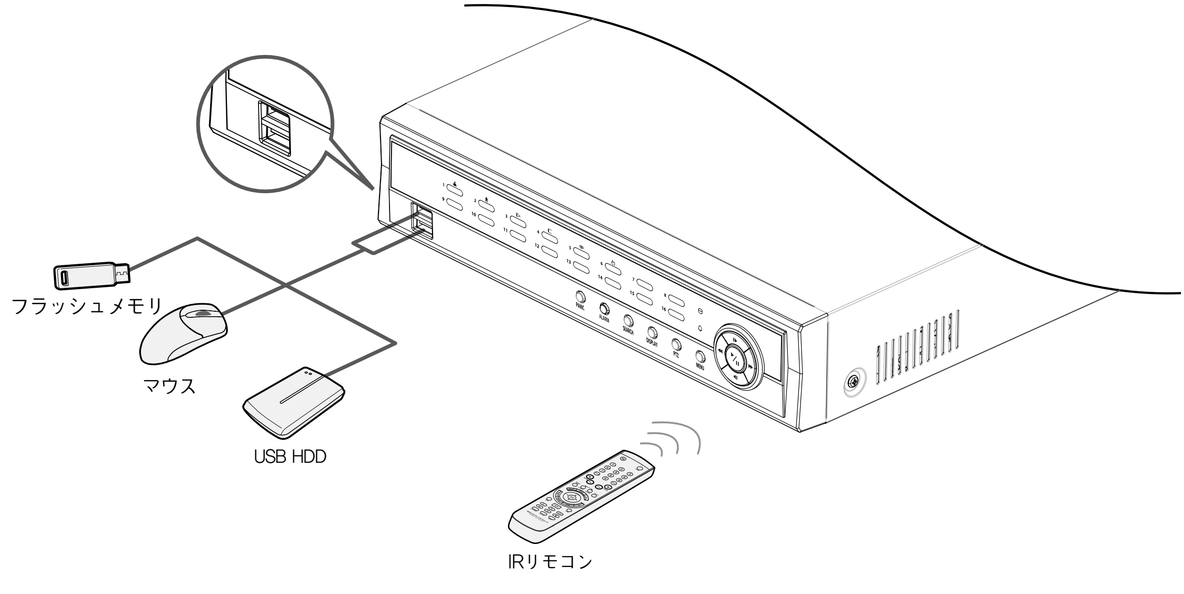
⑩ **方向**ボタンおよび**再生**ボタン

各メニューや項目に移行するために使用します。

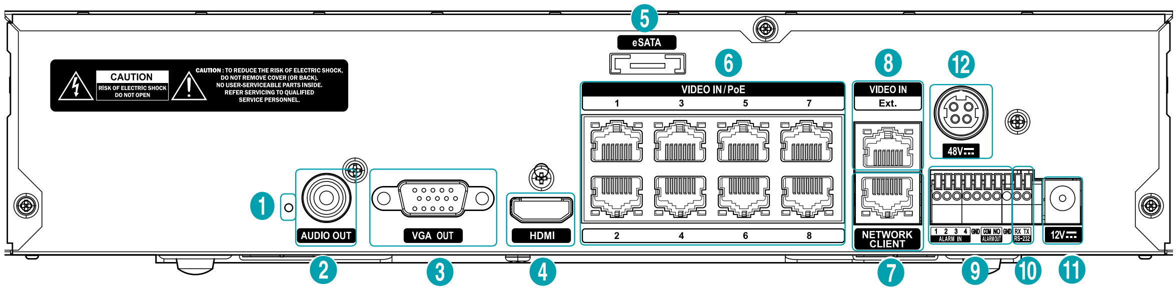
| | |
|---|---|
| **再生 / 一時停止 (▶/II)ボタン** | 映像を通常の速度で再生し、スクリーンに▶が表示される。再生中に押すと映像が一時停止し、画面にはIIが表示される。 |

| | |
|---|---|
| **設定メニューで入力する時** | (▲/▼/◀/▶)ボタン：上下左右でメニュー項目間を移動<br>(▲/▼)ボタン：数字を増減する。 |
| **再生モードで入力するとき(調整エリアメニューがなしに選択されている状態の場合)** | ▶/IIボタン：映像を通常の速度で再生し、スクリーンに▶が表示される。再生中に押すと映像が一時停止し、画面にはIIが表示される。<br>一時停止の状態で<br>◀I ボタン：前画面に移動<br>I▶ ボタン：次画面に移動<br>◀◀ ボタン：映像を高速で逆再生(ボタンを押すたびに ◀◀、 ◀◀◀、◀◀◀◀に再生速度変更)<br>▶▶ボタン：映像を高速で再生(ボタンを押すたびに ▶▶、▶▶▶、▶▶▶▶に再生速度変更) |

前面パネルの接続図



## 後面パネル

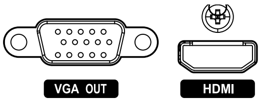



| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | ファクトリーリセットボタン | 2 | オーディオ接続端子 | 3 | VGA出力端子 |
| 4 | HDMI出力端子 | 5 | eSATA端子 | 6 | カメラ入力・PoE端子 |
| 7 | ネットワーク端子 | 8 | カメラ入力・拡張ポ端子 | 9 | アラーム接続端子 |
| 10 | RS232端子 | 11 | 12V電源入力端子 | 12 | 48V電源入力端子 |

## 後面パネルの接続

### モニター接続

**VGA OUT**、**HDMI**端子にモニターを接続することができます。



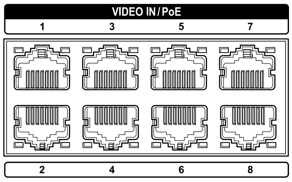

### オーディオ接続

アンプが内蔵されたスピーカーを**AUDIO OUT**(オーディオ出力)に接続してください。**AUDIO OUT**端子に接続すると、ネットワークカメラからの音声を聞くことができます。

- NVRはオーディオ出力アンプを実装していないため、ユーザーはアンプとスピーカーを用意する必要があります。
- 録音することが許容されているか、当該地域の法律を確認してください。

### ビデオ接続

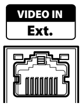
- **Video In/PoE (ビデオ入力/PoE)端子**




RJ-45ジャックまたはビデオエンコーダーを使用するCat5/Cat5e/Cat6ケーブルを利用してネットワークカメラまたはビデオエンコーダーを接続します。

- 外装ハブはカメラの整列などの機能のために、Ext.ポートにご使用ください。
- ご使用ください。接続されたネットワークにPoE電源が印加されると右側に緑色のLEDが点灯し、Linkされると左側にオレンジ色のLEDが点滅します。
- ビデオエンコーダーのカメラが16台以上登録されている場合、遠隔監視映像が不自然な場合があります。

- **Video In/Ext.(ビデオ入力／拡張)端子**

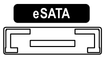



この端子はPoEに対応しない端子です。Cat6ケーブルや、ネットワークカメラまたは外付けハブを利用してネットワーク構成ができます。

- このポートは8,16チャンネルのみに対応します。
- 接続されたネットワークが1000 Base-Tである場合は右側に緑色のLEDが点灯し、Linkされると左側にオレンジ色のLEDが点滅します。
- Cat5eケーブルを利用する場合、ネットワーク構成環境によってはデータ送信速度に不具合が生じることがあります。

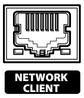
## eSATA接続

外付けハードディスクが接続できます。




NVRの電源が入ったままの状態で、eSATA機器を接続したり、取り外したりしないでください。eSATA機器を接続する場合、まずNVRを終了し電源ケーブルを外してください。その後、eSATA機器とNVRをeSATAケーブルで接続し、eSATA装備の電源を印加した後、NVRの電源を入れてください。eSATA機器を取り外す場合、まずNVRを終了し電源ケーブルを外してから、eSATA機器の電源をOFFにした後、eSATA接続ケーブルを取り外してください。

## ネットワーク接続

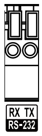



本NVRはイーサネットコネクタを利用してネットワークに接続することができます。NVRコネクタにRJ-45ジャックを使用するCat5/Cat5e/Cat6ケーブルを接続します。NVRは遠隔地から監視、検索、制御およびソフトウェアのアップデートができます。イーサネット接続設定に関する内容は、本取扱説明書の**53ページ ネットワーク設定**を参照ください。

接続されたネットワークが1000 Base-Tである場合は右側に緑色のLEDが点灯し、Linkされると左側にオレンジ色のLEDが点滅します。

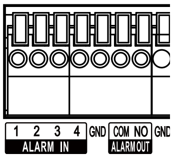
## RS232接続

UPSのようなデバイスを接続することができます。




## アラーム接続

アラーム信号線を接続できます。




アラーム信号線を接続するには、ボタンを押したままボタンの下の穴に信号線を差し込みます。確実に接続しているか確認するため、ボタンを離して信号線を軽く引っ張ってみてください。信号線を外すには、上のボタンを押したまま信号線を引っ張ってください。

- **アラーム入力1～4**

外部機器を利用し、イベントが発生したらNVRから信号を送ることができます。機械的または電気的スイッチをAI1～AI4（アラーム入力）とG（接地）端子に接続します。アラーム入力を感知するためには、0.3V以下（NO(Normally Open)タイプ）の電圧が少なくとも0.5秒間維持される必要があります。アラーム入力の電圧範囲は0～5Vです。アラーム入力設定に関する内容は**50ページ アラーム入**力を参照ください。

- **GND(接地)**

アラームの入力または出力の接地側をG端子に接続します。

GNDが表示されているすべてのコネクタは共通です。

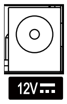
- **NO（リレーアラーム出力）**

本NVRはブザーや電灯などの外部の装置をON/OFFすることができます。機械的または電気的スイッチをNOとCOMとCコネクタに接続します。電気的仕様は125V ACで2A、30V DCで1Aです。アラーム出力設定に関する内容は**55ページ アラーム出力**を参照ください。

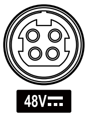
- **コネクタ配置**

| | |
|---|---|
| **ALARM IN 1~4** | アラーム入力1~4 |
| **GND** | 接地 |
| **ALARM OUT COM** | リレーCommon |
| **ALARM OUT NO** | リレーアラーム出力（Normally Open）、COM端子との接続） |

## 電源コードの接続




本NVRは電源ボタンがないため、電源を接続するとすぐに立ち上がります。アダプターのコネクタ（12V ⎓）をNVRに接続した後、アタプターのAC電源プラグを壁のコンセントに差し込みます。




本NVRはPoE(Power over Ethernet)に対応するネットワークカメラを接続するため、PSE(Power Source Equipment)を実装しています。アダプターのコネクタ（48V ⎓）をNVRに接続した後、アタプターのAC電源プラグを壁のコンセントに差し込みます。

- 電源コードはきれいに配線し、足に引っかかったり、家具などによって被覆が剥がれないように注意してください。また、電源コードは絨毯やカーペットの下を通さないでください。
- 電源コードには接地用端子があります。コンセントが接地コードが無い場合でも、プラグを変形させないでください。
- タコ足配線は危険ですので、お止めください。

## ファクトリーリセット

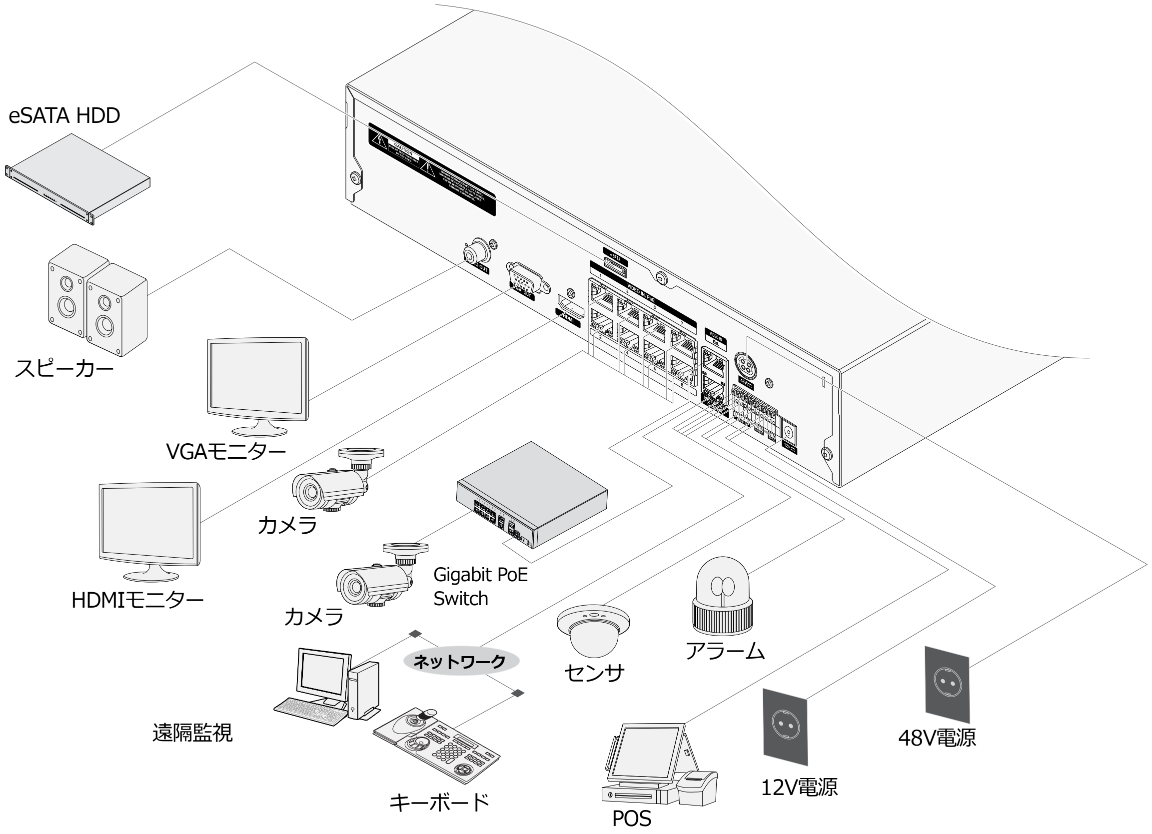
装置の後面のオーディオ出力端子の右側にあるファクトリーリセットスイッチは、NVRを工場出荷時の初期設定に戻すときにのみご使用ください。

ファクトリーリセットを使用する場合、ユーザーが保存したNVRのすべての設定値が失われます。

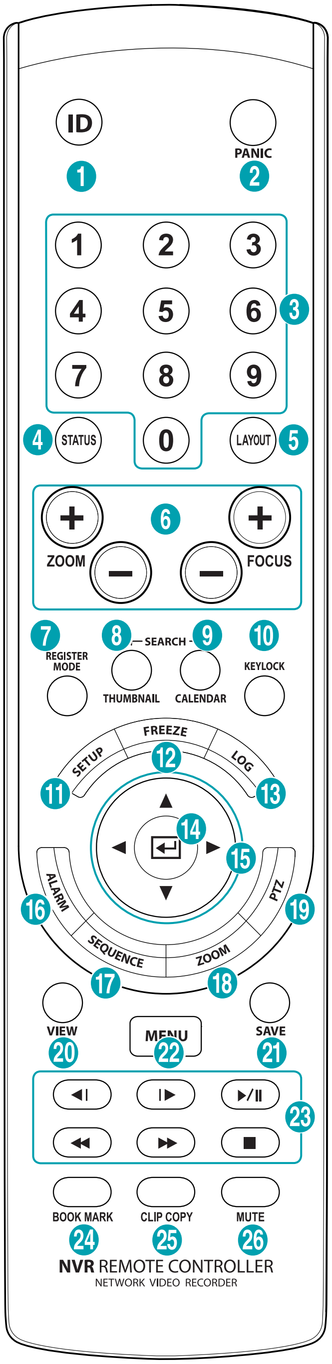
ファクトリーリセットを行うためには、まっすぐ伸ばしたクリップが必要です。

1. NVRの電源をオフしてください。
2. まっすぐ伸ばしたクリップをファクトリーリセットスイッチのピーンホールに差し込んでスイッチを押したままNVRの電源を接続してください。
3. NVRの内部ブザーが2回なるまでスイッチを押し続けてください。
4. 押していたクリップをスイッチから外すと、NVRのすべての設定は工場出荷時の初期設定の状態に戻ります。

## 後面パネルの接続図


eSATA HDD
スピーカー
VGAモニター
カメラ
HDMIモニター
カメラ
Gigabit PoE Switch
ネットワーク
遠隔監視
キーボード
センサ
アラーム
POS
12V電源
48V電源

## リモコン




| | |
|---|---|
| ❶ | **ID**ボタン |
| ❷ | **PANIC**ボタン (緊急録画ボタン) |
| ❸ | **カメラ**ボタン |
| ❹ | **STATUS**ボタン (ステータス情報ボタン) |
| ❺ | **LAYOUT**ボタン (画面分割ボタン) |
| ❻ | **PTZ**コントロールボタン |
| ❼ | **REGISTER MODE**ボタン (カメラ登録モードボタン) |
| ❽ | **THUMBNAIL**ボタン (EZSearchモードボタン) |
| ❾ | **CALENDAR**ボタン (カレンダー検索ボタン) |
| ❿ | **KEYLOCK**ボタン (リモコンロックボタン) |
| ⓫ | **SETUP**ボタン (設定ボタン) |
| ⓬ | **FREEZE**ボタン (監視画面の一時停止ボタン) |
| ⓭ | **LOG**ボタン (ログボタン) |
| ⓮ | **ENTER**ボタン (入力ボタン) |
| ⓯ | **方向**ボタン |
| ⓰ | **ALARM**ボタン (アラームボタン) |
| ⓱ | **SEQUENCE**ボタン (自動切替モードボタン) |
| ⓲ | **ZOOM**ボタン (拡大ボタン) |
| ⓳ | **PTZ**ボタン |
| ⓴ | **VIEW**ボタン (プリセットビューボタン) |
| ㉑ | **SAVE**ボタン (プリセット保存ボタン) |
| ㉒ | **MENU**ボタン (メニューボタン) |
| ㉓ | **再生**ボタン |
| ㉔ | **BOOKMARK**ボタン (ブックマークボタン) |
| ㉕ | **CLIP COPY**ボタン (クリップコピーボタン) |
| ㉖ | **MUTE**ボタン (ミュート) |

① **ID**ボタン

リモコンのID値を設定することができます。

システムIDが0の場合は、リモコンを設定せずに使用できます。システムIDが1～99の場合には、IDボタンを押してからIDに該当する数字のボタンを押します。IDが二桁の数の場合、その数字のボタンを順次に押します。NVR画面の右上のステータス表示エリアに(遠隔制御)アイコンが表示され、リモコン入力で装置を設定することができます。複数台の装置のシステムIDが0の場合、一つのリモコンで複数台のNVRを一斉に遠隔制御ができます。システムIDの意味や設定方法は、本取扱説明書の**38ページ システム設定> 一般**を参照ください。

② **PANIC**ボタン (緊急録画ボタン)

このボタンを押すと!が表示され、現在のスケジュールに関わらず映像録画を開始します。

ボタンをもう一度押すと、緊急録画モードが解除されます。

③ **カメラ**ボタン

リアルタイム監視モード、または再生モードで**カメラ**ボタンを押すと、そのカメラの映像を全体画面で見ることができます。変更したいカメラのチャンネルが2桁の場合、数字キーを順次に入力して2桁のチャンネルに移動することができます。

④ **STATUS**ボタン (ステータス情報ボタン)

イベントや録画装置 およびネットワーク のステータス情報を表示します。

⑤ **LAYOUT**ボタン (分割画面ボタン)

2x2画面、3x3画面、4x4画面に設定することができます。

⑥ **PTZ制御**ボタン

PTZモードで画面を拡大または縮小するとき (Zoom +、ー)に使用し、近距離または遠距離のフォーカスを調節するとき (Focus +、ー)に使用します。

⑦ **REGISTER MODE**ボタン (カメラ登録モードボタン)

監視モードで押すと、カメラ登録モードに移行します。

⑧ **THUMBNAIL**ボタン (EZSearchモードボタン)

再生モードで押すと、EZSearchモードに切り替わります。EZSearchモードでは、メインの録画画面は表示したまま、探したい録画映像を日付・時間・分の順で簡単に検索することができます。（近日中に機能を拡張予定）

⑨ **CALENDAR**ボタン (カレンダー検索ボタン)

録画映像の再生画面にカレンダーが表示されます。

⑩ **KEYLOCK**ボタン (リモコンロックボタン)

リモコンのキーがすべてロックされます。キーロックを解除するためには、このボタンをもう一度押してください。

⑪ **SETUP**ボタン (設定ボタン)

- リアルタイム監視モードで**設定**ボタンを押すとリアルタイム監視メニューが、検索モードで押すと**調整エリア**メニューが表示されます。**調整エリア**メニューで**設定**ボタンを利用し、**上**を選択すると、検索メニューが画面上段に表示されます。**調整エリア**メニューに関するは**67ページ タイムラプス検索**をお読みください。ボタンをもう一度押すと、メニューが消えます。
- リアルタイム監視モードで**入力**()ボタンを押し、カメラの画面が選択された状態で設定ボタンを押すと、カメラのメニューが表示されます。**カメラ登録**を選択すると、NVRおよびIPカメラ設定のための設定ウィンドウを表示することができます。
- 再生モードで設定ボタンを3秒以上押し続けると、ワンタッチモードに切り替わりクリップコピー設定ウィンドウが表示されます。ただし、画面上段の検索メニューが表示されている状態では、ワンタッチモードに切り替わりません。

⑫ **FREEZE**ボタン (監視画面の一時停止ボタン)

監視画面を一時停止するときに使用します。

⑬ **LOG**ボタン (ログボタン)

システムログウィンドウが表示され、そこからログが検索できます。

⑭ **ENTER**ボタン (入力ボタン)

メニュー設定時に項目を選択したり、入力事項を登録したりするときに使用します。また、リアルタイム監視モードまたは再生モードで**ENTER**ボタンを押してカメラ画面が選択された状態でメニューボタンを押すと、カメラメニューが表示されます。

⑮ **方向**ボタン

各メニューやGUIで移動するために使用します。設定メニューでは、**上下方向**ボタンで数字を増減することができます。リアルタイム監視モードまたは再生モードでは、**左右方向**ボタンで現在の画面から以前の画面あるいは次の画面が再生できます。

⑯ **ALARM**ボタン (アラームボタン)

アラームが作動している間、内部ブザーを含むNVRの出力をリセットします。また、監視モードでアラームが発生しない場合、イベントログを出力します。

⑰ **SEQUENCE**ボタン (自動切替モードボタン)

リアルタイム監視モードで**SEQUENCE**ボタンを押すと、他チャンネルを連続的に見れる自動切替モードに切り替わります。

⑱**ZOOM**ボタン (拡大ボタン)

画面で特定の部分を拡大して確認したいときに使用します。方向ボタンで拡大画面のウィンドウを移動させることができます。

⑲ **PTZ**ボタン

PTZモード時、設定されたPTZカメラを制御します。

⑳ **VIEW**ボタン (プリセットビューボタン)

PTZモードで**VIEW**ボタンを押すと、保存されたプリセットのリストが表示されます。

㉑ **SAVE**ボタン (プリセット保存ボタン)

PTZモードで**SAVE**ボタンを押すと、現在の位置をプリセットのリストに保存することができます。

㉒ **MENU**ボタン (メニューボタン)

リアルタイム監視モードで**MENU**ボタンを押すとリアルタイム監視メニューが、検索モードで押すと検索メニューが画面上段に表示されます。ボタンをもう一度押すと、メニューが消えます。矢印ボタンを利用して各メニューや項目間を移動できます。

㉓ **再生**ボタン

| | |
|---|---|
| ◀◀ | 映像を高速で逆再生します。<br>(ボタンを押すたびに ◀◀、◀◀◀、◀◀◀◀に速度変更) |
| ▶/II | 映像が通常の速度で再生され、画面に▶が表示されます。再生中に▶/II ボタンを押すと、映像が一時停止され、画面にIIが表示されます。 |
| ▶▶ | 映像を高速で再生します。<br>(ボタンを押すたびに ▶▶、▶▶▶、▶▶▶▶に速度変更) |
| ■ | 映像再生が停止し、リアルタイム監視モードに切り替わります。 |
| ◀I | 前の画面に移動 (一時停止の状態時) |
| I▶ | 次の画面に移動 (一時停止の状態時) |

㉔ **BOOKMARK**ボタン (ブックマークボタン)

再生モードで、ブックマークボタンを押すと、ブックマークウィンドウが表示されます。

㉕ **CLIP COPY**ボタン (クリップコピーボタン)

クリップコピーを開始できます。

㉖ **MUTE**ボタン (ミュート)

一時的に音を消すことができます。

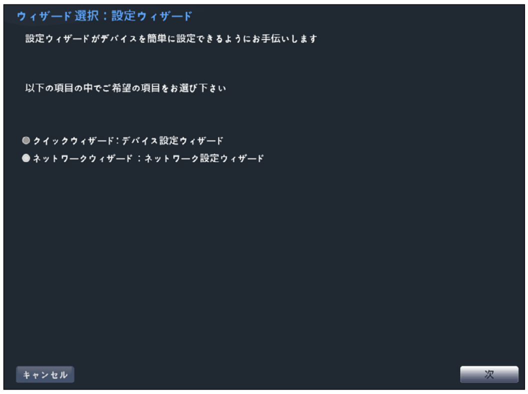
## ウィザード実行

設定ウィザードを利用し、システム運用に必要な初期設定を行うことができます。

設定ウィザードは初めて起動させるときに現れ、その後はリアルタイム監視メニューのウィザードメニューから実行することができます。

1 システムで使用する言語を選択してください。

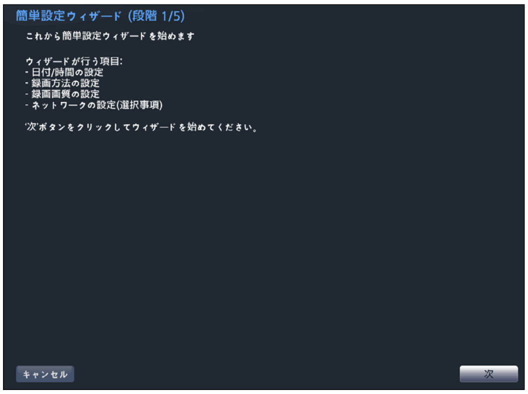
2 設定ウィザードのオプションを選択した後、**次**ボタンをクリックして設定ウィザードを起動させます。(最初起動の時、下の画面は表示されません。)




ウィザード画面全体で**キャンセル**を選択すると、変更された設定を取り消してメイン設定メニュー画面に戻ります。

### クイック設定ウィザード

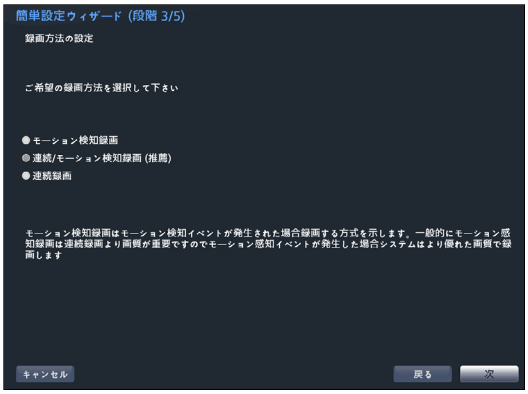
1 クイック設定ウィザードを始めます。



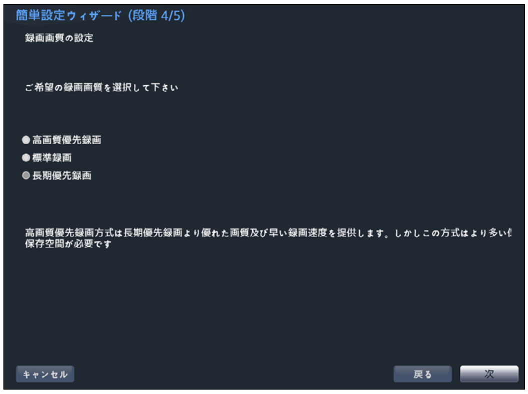

2 日時や時間を設定した後、**次**をクリックしてください。

- 変更された日時/時間の設定値は、**次**をクリックすると適用されます。
- 日時/時間設定に関する詳細は**38ページ システム設定> 日時/時間**を参照ください。

3 設定したい**録画方式**を選択した後、**次**をクリックしてください。




4 設定したい**録画画質**を選択した後、**次**をクリックしてください。

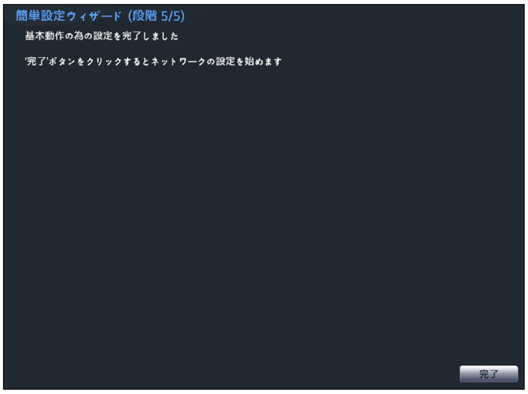



- 高画質を選択するほど、ハードディスクで使用される容量は大きくなります。
- 選択した録画画質によって録画解像度が決まります。
  - 高画質優先録画：最高画質
  - 標準録画：高画質
  - 長時間優先録画：標準

- 選択した録画方式および画質による録画画質は次のとおりです。

| | 高画質優先録画 | 標準録画 | 長時間優先録画 |
|---|---|---|---|
| **モーション検知録画** | 最高画質 | 高画質 | 標準画質 |
| **連続/モーション検知録画** | 最高画質 (連続) / 最高画質 (モーション) | 高画質 (連続) / 高画質 (モーション) | 標準 (連続) / 標準 (モーション) |
| **連続録画** | 最高画質 | 高画質 | 標準 |

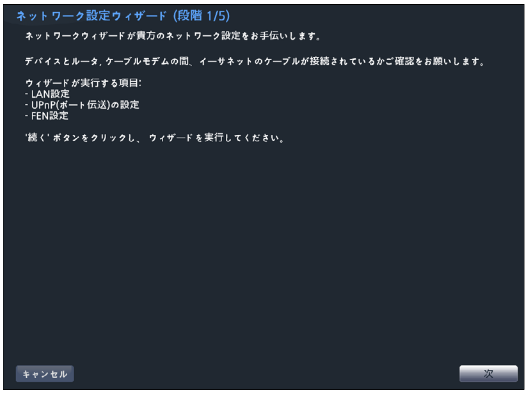
5 **完了**をクリックすると、クイック設定ウィザードが終了します。



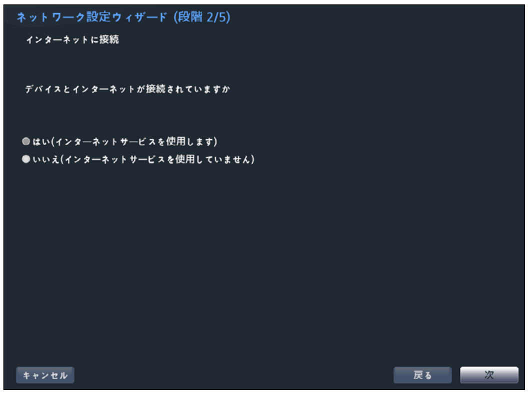

## ネットワークウィザード

クイック設定ウィザードが完了した後に**ネットワーク設定へ**をクリックすると、ネットワーク設定ウィザードを始めることもできます。

1 ネットワーク設定ウィザードを始めます。



2 システムが外部のインターネットに接続されているかを選択し、**次**をクリックしてください。

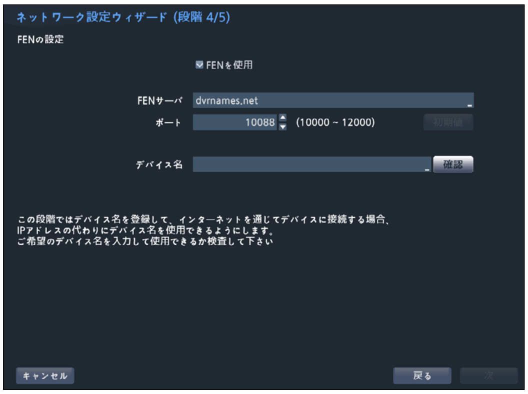



インターネット接続選択で**いいえ**を選択した場合、テストが完了してから**完了**を押すと、ネットワーク設定ウィザードが終了できます。

3 ネットワーク構成を選択し、**次**をクリックしてください。自動構成または手動構成から設定したいネットワーク構成を選択した後、**テスト**をクリックすると、現在のシステムのネットワーク構成が使えるかどうかが確認できます。

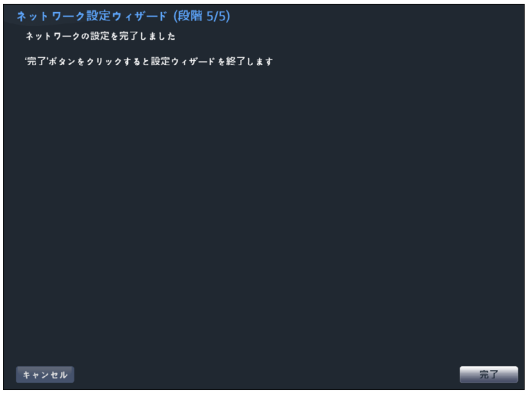
- テストを完了しないと、次の段階には進めません。
- DHCPサーバーのあるネットワークにNVRが接続されている場合、**自動構成**を選択するとIPアドレスやDNSアドレス等のLAN設定値が自動で割り当てられます。**手動構成**を選択すると、IPに関する設定をユーザーが任意でできます。
- **UPnPを支援するデバイスがありません。**というエラーメッセージが表示されたら、使用するIPルータ（あるいはNAT）がUP n P機能に対応しているか、もし対応しているなら使用可能になっているか確認してください。IPルータがUPnP機能に対応しているかは、ご使用中のIPルータのマニュアルをご覧ください。

4 FENサーバーに登録されるNVRの名前を**デバイス名**に入力した後、**確認**をクリックし、入力している名前が使用可能であるか確認できます。




- FENサーバーに登録されるデバイスの名前は、NVRの固有の名前です。iRASなどのClientからNVRのデバイス名でシステムに簡単に接続することができます。確認後正常に登録されたら、終了が活性化されます。
- NVRの名前を入力しなかったりFENサーバーにすでに登録されている名前を入力したりすると、エラーメッセージが表示されます。
- ユーザーのネットワーク環境によってはFENサービスが作動せず、ネットワークに接続できない場合があります。この場合、ポートを手動で設定する必要があります。ポート設定に対する詳細は、**53ページ ネットワーク設定**を参照ください。

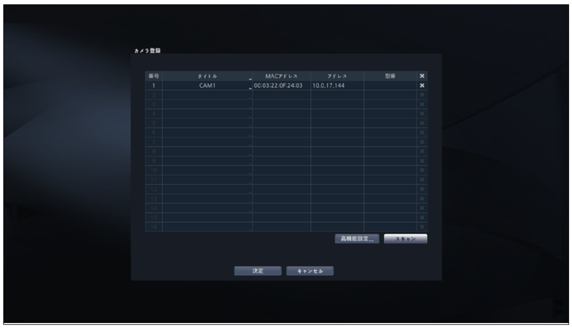
5 **完了**をクリックして、ネットワーク設定ウィザードを終了してください。



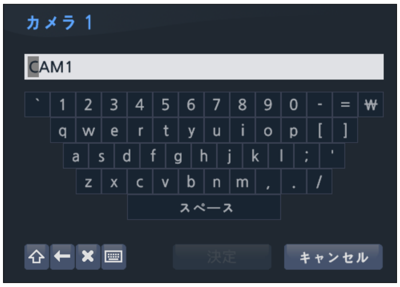
## カメラ登録

システムを初めて起動させてから設定ウィザードを終了すると、**検索**ボタンをクリックしてNVRに接続されているカメラを検索します。またカメラを登録して削除することもできます。

カメラを登録した後に、PCなどに接続してカメラの設定変更を行わないでください。設定を変更した場合、誤動作することがあります。



- タイトル：カメラのタイトルを表示します。カメラのタイトルのところでマウスの左ボタンをクリックすると、カメラのタイトルを編集することができます。




### デバイススキャン

**スキャン**ボタンを押すとデバイスの検索画面が表示されます。

他社のカメラはプロトコルおよびカメラのモデルによって、一部の動作に対応しない場合があります。

- **プロトコル**：検索したいカメラ（またはビデオエンコーダー）のプロトコルを選択してください。

NVRに対応するプロトコルでも、カメラのモデルによってはデバイス登録ができなかったり、機能が使えなかったりする場合もあります。対応するカメラのモデルに関する詳しい内容は、NVRの代理店までお問い合わせください。

- **モード**：検査モードを選択してください。
  - **自動検索（LAN）**：ローカルネットにあるカメラを検索します。**自動検索（LAN）**モードで検索出来ないカメラは**IPアドレスで検索**してみてください。
  - **IPアドレス**：カメラのIPアドレスを入力して検索します。2つ以上のカメラを登録する場合、IPアドレスの範囲を入力して一度に検索することもできます。IPアドレス設定時のポート設定を選択すると、遠隔監視に使用するポート番号を設定することができます。カメラのネットワーク接続を設定する時、DHCPを使用しないことをお勧めします。DHCPを使用する場合、外部ネットワーク環境の変化によって、デバイスが正しく接続されないことがあります。

① **MACアドレス**：カメラのMAC情報のうち、後ろ6桁の数字が表示されます。

② **アドレス**：検索されたカメラのIPアドレスが表示されます。

③ **型番**：カメラのモデル名が表示されます。

④ **名前**：カメラの名前が表示されます。

⑤ **状態**：すでに登録されているカメラは登録と表示され、登録されていないカメラは未登録と表示されます。

## 高機能設定：ビデオインIP設定

カメラがネットワークに接続されていながらも検索されない場合、本設定を使用します。本設定で、NVR後面パネルにあるVIDEO INポートのネットワーク設定を変更することができます。本設定を使用する前には、まずカメラのネットワーク設定を確認してください。

本設定がWAN設定と衝突を起こしてはなりません。WAN設定に対する詳しい内容は、**53ページ WAN (IPアドレス)**をお読みください

- **Link-local address**：本設定を使用しません。
- **手動検索**：IPアドレスをはじめとし、ネットワーク設定を手動で行うことができます。
- **DHCPクライアントモード**：DHCPサーバーからIPアドレスをはじめとするネットワーク設定が自動で割り当てられます。
- **DHCPサーバーモード**：NVRをDHCPサーバーで動作します。**DHCPサーバー重複チェック**を選択し、同様のネットワークにDHCPサーバーがあるか確認します。DHCPサーバーがない場合、本オプションを選択することができます。NVRがDHCPを利用し、VIDEO INポートに接続されているカメラのIPアドレスを自動で割り当てます。IPアドレス範囲は、**10.10.0.128 ~10.10.254.254** です。

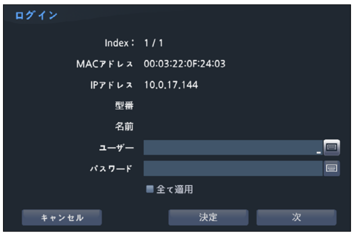
  同じネットワーク上に複数のNVRが存在する場合、その中で一つだけDHCPとして駆動しなければなりません。もし、複数のDHCPサーバーが作動すると、カメラに重複したIPが割り当てられることがあります。

1 **スキャン**ボタンを押して検索してください。

VIDEO IN端子にで接続されているカメラのみ検索・登録できます。

2 検索されたカメラをリストから選択した後、**カメラ追加**を選択すると、デバイスログインウィンドウが表示されます。

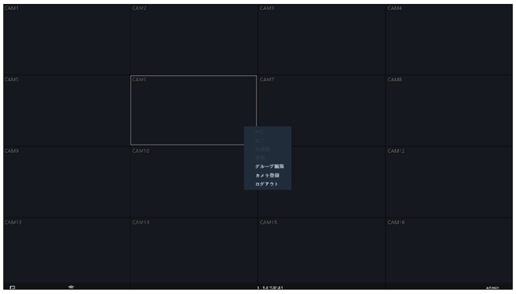
3 登録したいカメラの**ユーザーID**と**パスワード**を入力します。




- **全て適用：** 一つ以上のデバイスを選択し、同じIDとパスワードを使用すると、選択されている全てのデバイスに同じユーザーとパスワードが適用されます。

## カメラ登録モードの実行

監視モードでマウスの右ボタンをクリックし、**カメラ登録**をクリックしてください。



## ログイン

環境設定や検索など、NVRの様々な機能を使用するためには、その権限を有するユーザーでログインしなければなりません。

1 リアルタイム監視メニューでリモコンの**設定**ボタンを押すか、マウスを右クリックして**ログイン**を押してください。

2 ユーザーを選択してパスワードを入力したら、**決定**ボタンを押してください。

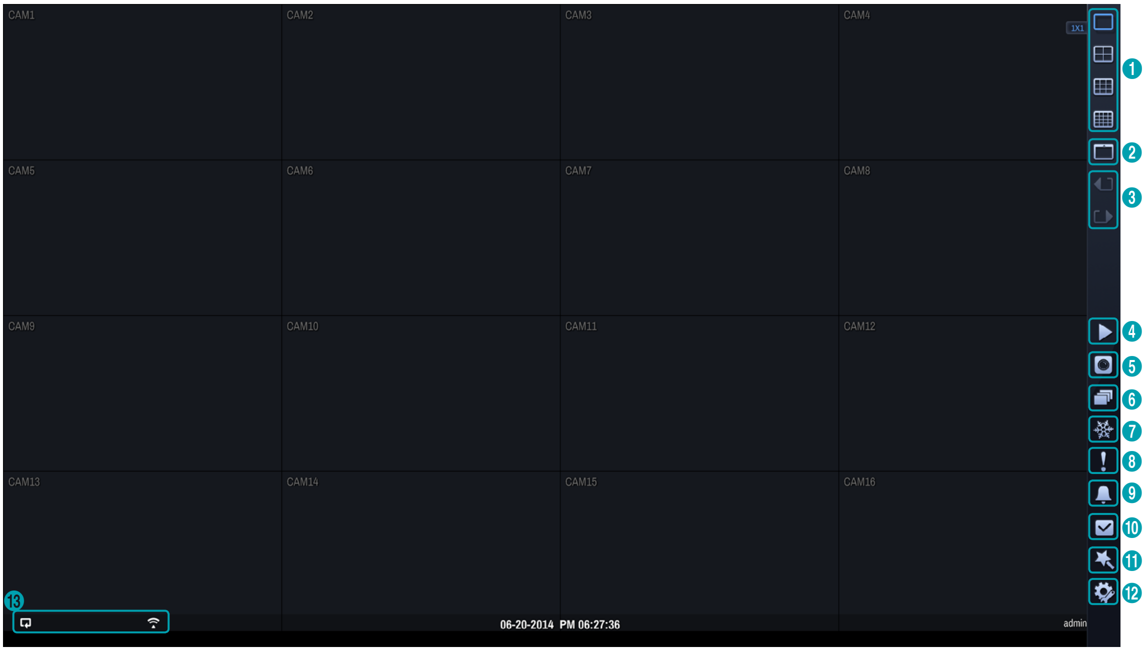
- adminアカウントには初期パスワードがないので、adminアカウントを選択し、パスワードを入力せずログインします。
- パスワードを設定せずシステムを使用するのはセキュリティ上好ましくないため、なるべくパスワードを指定して使用してください。パスワードを指定せずに使用すると、警告メッセージが表示されます。
- マウスでパスワード入力項目の右側にあるボタンを押すと、スクリーンキーボードでパスワードを入力することができます。スクリーンキーボード使用に関する内容は、**37ページ スクリーンキーボードによる文字列入力**を参照ください。

3 ログアウトのためには、マウスを右クリックしてログアウトを押してください。

# リアルタイム監視

## リアルタイム監視メニュー

リアルタイム監視モードでNVRの前面パネルの**メニュー**ボタンを押すと、画面の右側にリアルタイム監視メニューが表示されます。**設定**ボタンをもう一度押すと、メニューが消えます。前面パネルやリモコンの方向ボタンを利用して各メニューや項目間を移動できます。




| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ❶ | レイアウト | ❷ | ディスプレー | ❸ | 前画面グループ、次画面グループ | ❹ | 検索モード |
| ❺ | カメラ選択 | ❻ | 自動切替 | ❼ | フリーズ | ❽ | 緊急録画 |
| ❾ | アラーム | ❿ | 状態 | ⓫ | ウィザード | ⓬ | 設定 |
| ⓭ | ステータス情報ウィンドウ | | | | | | |

マウスポインタを画面の右側に合わせてもリアルタイム監視メニューが表示されます。

① **レイアウト**

画面のレイアウトを単一画面、4画面、9画面、16画面に切り替えます。

② **ディスプレー**

- **OSD**(On Screen Display) : **OSD**機能を活性化、または非活性化します。
- **比率維持** : カメラから伝送される映像の原本比率を維持するかどうかを選択します

③ **前画面グループ/次画面グループ**

現在の画面グループから前画面グループ、または次画面グループに移動します。

④ **検索モード**

- **タイムラプス検索** : **検索モード**>**タイムラプス検索**を選択すると、保存されたデータを録画テーブルから検索または再生することができます。
- **イベントログ検索** : **検索モード**>**イベントログ検索**を選択すると、イベントログを検索し保存されたイベントを検索または再生することができます。

⑤ **カメラ選択**

選択したカメラを単一画面でみることができます。

⑥ **自動切替**

リアルタイム監視モードでリモコンの**SEQUENCE**ボタンを押すときと同様に自動切替が始まります。自動切替を止めたい時はもう一度**自動切替**を選択するか、**SEQUENCE**ボタンを押してください。自動切替中には、画面の右上のシステムステータス情報のところに が表示されます。

フル切替

監視モードの全体画面および画面分割ですべてのチャンネルが順次に切り替わって表示されます。フル切替機能を使用するためには、ディスプレー設定–メインモニターの自動切替設定で**フル切替**を選択する必要があります。

**Ex> フル切替**

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 2 | ⇨ | 5 | 6 | ⇨ | 1 | 2 |
| 3 | 4 | | 7 | 8 | | 3 | 4 |

切替

**切替**モードでは監視モードの画面分割で右下の一つの画面だけが自動的に切り替わります。**切替**機能を使用するためには、ディスプレー設定–メインモニターの自動切替設定で**切替**を選択する必要があります。

**Ex> 4分割画面で切替**

| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 2 | ⇨ | 1 | 2 | ⇨ | 1 | 2 | ⇨ | 1 | 2 | ⇨ | 1 | 2 | ⇨ | 1 | 2 |
| 3 | 4 | | 3 | 5 | | 3 | 6 | | 3 | 7 | | 3 | 8 | | 3 | 4 |

- **フル切替**での動作中には、画面左下のシステムステータス表示部分には自動切替の表示の隣にページ番号が表示されます。
- 次の場合はそのページをスキップします。
  - ページを構成しているすべてのカメラが無効状態の場合
  - 映像信号がない場合
  - ロックされたカメラの場合
  - カメラにアクセスできる権限のないIDでログインした場合

⑦ **フリーズ**

画面が停止されます。再び**フリーズ**を選択するとフリーズ状態が解除されます。

⑧ **緊急録画**

緊急録画機能を使用/解除します

⑨ **アラーム**

アラームが作動している間、内部ブザーを含むNVRの出力をリセットします。

## ⑩ 状態

### イベント

全てのイベントの状態を確認することができます。
イベントが発生したチャンネルは5秒間点滅します。

### イベント項目

| | | | |
|---|---|---|---|
| | アラーム入力 | | アラームインを確認 |
| | モーション | | 映像信号なし |
| | オーディオ検出 | | トリップゾーン |
| | タンパーリング | | テキストイン |

- **緊急録画**：現在緊急録画の使用状況によってイベント状態が表示されます。
- **録画を確認**：この項目は**システム監視**設定によってイベント状態が表示されます。詳しい内容は**42ページ モニタリング**を参照ください。
- **ディスクフル警告/ディスクフル**：HDDが**上書き**の状態ではない場合、**システム監視**設定で指定したディスクの割合に達したとき、更に100%になったときにイベント状態が表示されます。詳しい内容は**42ページ モニタリング**を参照ください。
- **ファンエラー**：クーリングファンの回転数が一定のレベルに達しなかったり、約50秒以上作動しない場合、イベント状態が表示されます。
- **eSATA切断**：eSATAデバイスが運用中に接続が解除された場合、イベント状態が表示されます。
- **ディスク構成変更**：HDDを交換してNVRを再起動した時に表示されます。

### HDD

各ディスクの状態を表示します。

- **ディスクエラー**

| | |
|---|---|
| 初期化されていません | 使用したことのないディスク |
| 良好 | • 正常に動作しているディスク<br>• HDDの一部が損傷しているとき、その割合が表示される |
| エラー | • HDDの損傷の割合がユーザーの設定した割合より多い場合<br>• システムイベント発生 |

- **温度**

| | |
|---|---|
| N/A | 温度が感知できないディスク |
| 良好 | 正常な温度の場合は温度が表示される |
| 不良 | • ユーザーが設定した温度以上の場合<br>• システムイベント発生 |

- **S.M.A.R.T.**

| | |
|---|---|
| N/A | S.M.A.R.T.機能に対応しないディスク |
| 良好 | S.M.A.R.T.状態が正常な場合 |
| 不良 | S.M.A.R.T.状態が異常であり、ディスクが24時間以内に損傷する可能性のある場合 |

- **設定**＞**システム**＞**モニタリング**でディスクエラー、ディスク温度設定を行うことができます。
- **録画データ**項目で各ディスクのデータ保存時間情報を確認することができます。

### ⑪ ウィザード

ウィザードを起動し、システム運営に必要な初期設定を簡単に行うことができます。

### ⑫ 設定

設定メニューに入ることができます。

### ⑬ ステータス情報ウィンドウ

ステータス情報ウィンドウ

| | |
|---|---|
| | リモコンが使える場合、このアイコンが表示されます。 |
| | 遠隔プログラムでNVRに接続した場合、このアイコンが表示されます。 |
| | 映像拡大機能を使用する場合、このアイコンが表示されます。 |
| | フリーズ機能を使用する場合、このアイコンが表示されます。 |
| | 自動切替機能を使用する場合、このアイコンが表示されます。 |
| **1/4** | 全体画面モードではない場合、現在の画面が属しているグループを表示します。 |
| | イベントモニタリング中の場合、このアイコンが表示されます。 |
| | HDD録画状態を表示します。上書の場合、このアイコンが表示されます。上書を使用しない場合、残っているHDDの容量が%で表示されます。 |

## 拡大機能

リアルタイム監視メニューの**カメラメニュー＞拡大**を選択するか、リモコンの**拡大**ボタンを押して拡大するカメラを選択してください。拡大する位置を設定する画面が表示されたら、方向ボタンで拡大して確認する位置を変更することができます。**再生/一時停止**ボタンを押すと映像が拡大されます。映像拡大機能を使用する場合、システムの左下のステータス表示ウィンドウに拡大アイコンが表示されます。

- 全体画面モードでは、拡大するカメラを選択するとき現在の画面が自動的に選択されます。
- 拡大画面を終了するときは、インボタンをもう一度押します。

## PTZ制御

監視モードでカメラを右クリックすると表示されるコンテキストメニューからPTZを選択するか、前面パネルまたはリモコンの**PTZ**ボタンを押すと、PTZカメラを選択するウィンドウが表示されます。

確認したいPTZカメラを選択すると、選択されたカメラのOSDウィンドウで P アイコンが点滅します。

方向ボタンでPTZカメラの上下左右に移動（Pan、Tilt）することができます。

カメラ1およびカメラ2ボタンで拡大/縮小ができます。

カメラ3およびカメラ4ボタンで近距離フォーカス/遠距離フォーカスが調整できます。

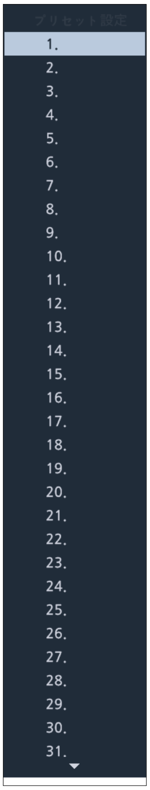
マウスをドラッグして方向を移動することができます。

マウスのホイールで拡大/縮小ができます。

- PTZカメラを調整するためには、**PTZ制御権限**を有するユーザーでログインしなければなりません。
- 監視画面上でPTZカメラがない場合にはメッセージウィンドウが表示されます。
- 拡大、縮小、フォーカス調整は、リモコンの**PTZ**制御（**ZOOM、FOCUS**)ボタンでもできます。
- PTZモードを終了するためには、**PTZ**ボタンをもう一度押します。

### PTZプリセットを設定する

PTZモードでリモコンの**プリセット保存**ボタンを押すと、**プリセット設定**設定ウィンドウが表示され、現在の位置をプリセット番号を指定して保存することができます。



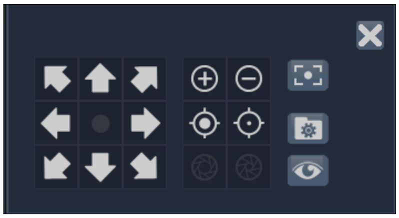

PTZモードでリモコンの**プリセットビュー**ボタンを押して**プリセット移動**設定ウィンドウが表示されたら、プリセット番号を選択して、その番号に保存された位置にPTZカメラをすぐに移動させることができます。

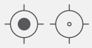
### 詳細設定

PTZモードで設定したいカメラを選択してリモコンの**メニュー**ボタンを押すと、下記のようなPTZの詳細メニューが表示されます。全面パネルの**再生/一時停止**ボタンを押してから、**設定**ボタンを押して、PTZの詳細ウィンドウを表示することもできます。**速度**、**オートパン**など、そのPTZカメラが対応する拡張機能が使用できます。そのPTZカメラが対応しない機能は非活性化されます。

マウスを使うともっと簡単にPTZカメラを調整することができます。マウスの左ボタンでドラッグしてカメラを動かすことができ、マウスのホイールで映像を縮小/拡大することもできます。

PTZモードでマウスポインタを画面の下段にあわせると、PTZのコントロールボックスが現れます。



| | |
|---|---|
| | PTZカメラの移動 |
| | ズームイン/アウト |
|  | 近距離/遠距離フォーカス |
| | しぼりを開く/閉じる |
| | 自動フォーカス実行 |
| | プリセット設定/移動 |
| | カメラのデバイスメニュー |

- PTZカメラをNVRで使うためには、カメラが対応するPTZプロトコルを正しく設定する必要があります。
- ツールボックスウィンドウをドラッグして位置を変えることができます。
- アイコンをクリックするとツールボックスが消えます。

## イベントモニタリング機能

イベントが発生すると、イベント連動録画が始まるカメラ画面へ自動的に切り替わり、左下のシステムステータスエリアに アイコンが表示されます。イベントモニタリング機能を使用するには、**ディスプレー設定 > OSD**で**イベントモニタリング**を設定してください。イベントモニタリングは、**連動録画期間**にその機能が維持されます。その後、新しいイベントが発生しなければ前画面に戻ります。**連動録画期間**が終了する前に**画面分割**ボタンを押したり、**カメラ番号**ボタンを押したりすると、通常監視画面に切り替わります。

## カメラロック機能

ユーザーがログインしていないか、**ロックされたカメラ表示**の権限のないユーザーでログインした場合、指定したカメラは表示されないように制限します。

**カメラ設定> 一般**で特定のカメラを**隠し1**または**隠し2**に設定することができます。

- **隠し1**：監視画面で指定したカメラの映像は見えないが、そのカメラのタイトルや現在の状態を表すアイコンは通常通りに表示されます。
- **隠し2**：指定したカメラの映像が映らず様々な状態を表すアイコンも表示されません。

**ロックされたカメラ表示**権限を有するユーザーがログインした場合、カメラが**隠し1**や**隠し2**に設定されていてもロック機能は作動せず映像や状態アイコンがすべて表示されます。

## コンテキストメニューの実行

リアルタイム監視モードでリモコンの**ENTER**(↵)ボタンを押してメニューボタンを押すと、コンテキストメニューウィンドウが表示されます。全面パネルの**再生/一時停止**ボタンを押した後、**設定**ボタンを押して、コンテキストメニューウィンドウを表示することもできます。マウスの右クリックでもメニューを呼び出すことができます。

- **PTZ**：PTZ制御機能が行えます。
- **ズームイン**：映像を拡大することができます。
- **オーディオ**：オーディオ出力をON/OFFできます。（この機能は単一画面のみに対応します。）
- **色調整**：色を調整したいカメラのチャンネルを選択すると色調整ウィンドウが表示されます。各カメラの輝度、コントラスト、彩度、色相が調整できます。
- **情報**：ネットワークカメラチャンネルを選択すると、選択したチャンネルに関するデバイス情報が確認できます。
- **グループ編集**：グループ編集では分割画面上にカメラの位置を変更できます。
- **カメラ登録モード**：カメラ登録モードを実行します。
- **ログイン/ログアウト**：ログインまたはログアウトができます。

## 画面グループの編集機能

画面グループ編集モードは監視および検索モードの画面分割で望みの位置にカメラ映像を並べ替える機能です。

1. 画面分割でコンテキストメニューの**グループ編集**を選択してください。編集するカメラ画面の縁に黄色いボーダーラインが表示されます。前面パネルの矢印ボタンやマウスで他の画面を選択することができます。

2. 黄色いボーダーラインが表示された画面で**カメラ**ボタンか**メニュー**ボタンを押してカメラを選択してください。選択されたカメラがその画面位置に移動します。各画面にカメラ番号を並べ替えることができます。

3. リモコンの**ENTER**(↵)ボタンを押すと、グループ編集モードを終了します。**メニュー**ボタンを押して**グループ編集終了**を選択し、グループ編集モードを終了することもできます。

画面グループ編集モードは連続動作がない場合およそ15秒ほどで終了します。

# ビデオ録画

第2章接続編を参考にし、NVRを正しく設置すると録画が始まります。
ビデオ録画設定に関する内容は**44ページ 録画設定**をお参照ください。

## 緊急録画

**リアルタイム監視**メニュー、または**検索**メニューで緊急録画 ! アイコンを選択するか、前面パネルまたはリモコンの**緊急録画**ボタンを押すと、登録されているすべてのカメラで緊急録画を始めます。

緊急録画を中止するには、もう一度緊急録画 ! アイコンを選択するか、**緊急録画**ボタンを押してください。
**録画設定> 一般**で**緊急録画時間**が設定されている場合は、設定された時間だけ緊急録画をしたあと自動的に終了します。詳しい内容は**44ページ 録画設定**を参照ください。

- 緊急録画はユーザーが設定した録画スケジュールに関わらず行われます。
- **録画設定– 一般**で緊急録画のために設定されたビデオプロファイルで録画されます。

録画モードが**上書**状態ではない場合、HDDが100%になると緊急録画は実行されません。

# オーディオ録画

**録画設定＞一般**でオーディオ録画設定がされている場合、カメラのビデオが録画されるとき音声も録音されます。詳しい内容は**65ページ オーディオ、44ページ 録画設定**を参照ください。

設置地域内の法律が録音を許可しているか確認してください。法律違反による責任はすべてユーザーにあります。

# 保存された映像の再生

マウスやリモコンなどを使用して、映像を再生することができます。

- 保存された映像を再生するためには、検索権限を有するユーザーでログインする必要があります。
- 検索モードでの初期再生位置は、前回最後に再生した部分または保存された部分のいちばん最後の部分になります。
- 録音されたオーディオの再生は、全体画面で再生したときのみ可能です。
- ロック設定がされたカメラがある場合、ロック機能が再生モードでも同様に適用されます。

## 全チャンネル再生

1 リアルタイム監視モードで**メニュー**ボタンを押してください。

2 検索モード▶アイコンを選択し、**タイムラプス検索**または**イベントログ検索**を選択してください。

3 録画データ検索またはイベントログ検索モードに切り替わります。

データ検索に関する詳しい説明は**67ページ 検索編**をお読みください。

## 再生中のリモコンボタンの機能

1 **カメラボタン**：指定したカメラの映像を全体画面で見ることができます。

2 **拡大ボタン**：再生画面の特定部分を拡大して見ることができます。

3 **画面分割ボタン**：分割画面に切り替えることができます。

## コンテキストメニュー

検索モードでリモコンの**ENTER**(↵)ボタンを押して**メニュー**ボタンを押すと、コンテキストメニューウィンドウが表示されます。マウスの右クリックでもメニューを呼び出すことができます。

- **イン**：映像を拡大することができます。
- **オーディオ**：オーディオ出力をON/OFFできます。（この機能は単一画面のみに対応します。）
- **グループ編集**：グループ編集では分割画面上にカメラの位置を変更できます。

# 第3章ー設定

## メニューの使い方

第3章設定編で取り扱う内容のすべては、メニューの使い方をご参照ください。

設定メニューに入るためには、メニュー設定の権限を有するユーザーでログインする必要があります。

1 リアルタイム監視画面でリモコンの**設定**ボタンを押すか、マウスを利用してリアルタイム監視メニューで設定を選択してください。

| | |
|---|---|
| ❶ | システム設定 |
| ❷ | 録画設定 |
| ❸ | イベント設定 |
| ❹ | ネットワーク設定 |
| ❺ | デバイス設定 |
| ❻ | ディスプレー設定 |
| ❼ | 通知設定 |
| ❽ | カメラ設定 |

2 リモコンの方向ボタンで設定したい項目に移動したあと、リモコンの**ENTER**(↵)ボタンをおすか、マウスの左ボタンでクリックしてください。

3 設定変更が終わったら、**適用**または**決定**ボタンを押して変更した設定を保存してください。

設定ウィンドウ左下の**初期値**ボタンを選択すると、設定値が初期値に変わります。

## スクリーンキーボードによる文字列入力

リモコンの方向ボタンで入力したい文字に移動したあと、リモコンの**ENTER**(↵)ボタンを押すか、マウスをクリックして文字を入力することができます。

| | |
|---|---|
| ⇧ | 大文字と小文字を選択します。 |
| ← | カーソルの前の文字を削除します。 |
| ✖ | カーソルの後ろの文字を削除します。 |
| ⌨ | 文字列キーボード入力を変更します。 |

## テーブルで全列の値を同時に設定する

**44ページ 録画設定**のようにメニューがテーブルに構成されている項目の場合、一部はテーブルのタイトル値を変更することができます。この場合タイトル値を変更すると、同じ列の全項目の値を同時に変更することができます。

## マウスの使用

マウスを使えば、効率的に環境設定が行えます。素早く項目をクリックして選択でき、スクロールバーのあるメニューではマウスのホイールを回してメニューを上下に移動できます。数字を増減させるときも、マウスのホイールを回して数字を設定することができます。

# システム設定

設定メニューの使い方は**37ページ メニューの使い方**を参照ください。

## 一般

システムの一般的な内容を設定します。

- **サイト**：装置の設置場所に対する説明が表示されます（初期値はありません)。スクリーンキーボードを利用して内容を変更することができます。
- **システムID**：他のNVRと接続されているとき、本機を区別するときに使用します。また、リモコンで制御するときシステムIDで区別します。

システムIDの初期値は0であり、0~99まで変更して使うことができます。またシステムIDはスクリーンキーボードで入力することができます。

- **言語**：対応できる言語を選択して使うことができます。
- **バージョン**：ソフトウェアのバージョンを表示します。
- **アップグレード**：システムアップデートを行います。アップグレードを押すとUSB検索ウィンドウが表示され、アップグレードパッケージファイルを選択してシステムをアップグレードすることができます。アップグレード後にはNVRが自動で再起動します。

アップグレードを失敗すると失敗メッセージが表示されます。失敗メッセージは**82ページ エラーコードの種類**を参照ください。

- **設定**：現在NVRの設定を保存したり、以前に保存した設定を読み込んだりすることができます。
- **読込**：ネットワーク設定も一緒に読み込むか選択することができます。**ネットワーク設定を含む**を選択しなければ、現在のシステムのネットワーク設定は変更されません。

**設定読込**を実行しても、下記の設定値は変更されません。

- 時間に関する設定値（日時/時間、標準時間帯、サマータイム)
- カメラに関する**詳細設定**の設定値
- カメラに関する**ストリーム**設定値(保存したときにカメラと解像度が違う場合に限る。)

- **エクスポート**：USBに接続されている保存デバイスに設定ファイルを保存します。**ファイル名**を指定して、現在の設定を保存することができます。

USBフラッシュメモリはFAT32フォーマットのみに対応します。

- **システムログ表示**：最近の5、000件までのシステムログを検索することができます。システムログの種類は**81ページ システムログの種類**を参照ください。遠隔接続したログの場合、右側に品アイコンが表示されます。画面下の**エクスポート**を押すと、ファイル名を指定してUSBに接続されている保存デバイスに保存することができます。

保存されたシステムログ.txtファイルの内容を確認するためには、適切な文字コードに設定して固定幅のフォントを使用する必要があります。

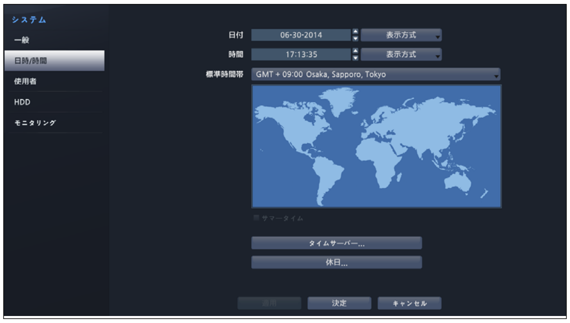
- **全てのデータ削除**：録画されている全てのデータを削除します。**全てのデータ削除**を押すとダイアログボックスが表示され、そこから**削除**を押すと録画されている全てのデータが削除されます。

> - **全てのデータ削除**を実行する前に、削除しても良いデータであるか必ず確認してください。一度削除されたデータは復元できません。
> - **全てのデータ削除**をしてもシステムログは残り、**全てのデータ削除**というシステムログが追加されます。

- **システム終了**：システムを終了します。ダイアログボックスが表示されたらもう一度**システム終了**を押してください。

> チャンネルモードが変わると、システムは再起動します。

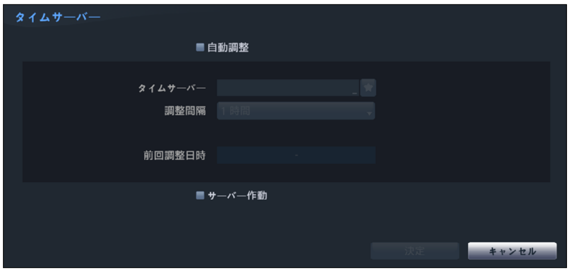
## 日時/時間




- **日付**：日付を変更することができます。
- **時間**：時間を変更することができます。
- **日付形式/時間形式**：日付や時間の表示方式を変更することができます。
- **標準時間帯**：標準時間帯を設定することができます。

> 画面に表示されている地図にマウスや方向ボタンで標準時間帯を選択することができます。

- **サマータイム使用**：サマータイムを適用できます。
- **タイムサーバー**：タイムサーバーを選択し、時間を同期化することができます。




1 **自動調整**項目を選択してください。

2 **タイムサーバー**のIPアドレスまたはドメイン名を入力するか、を選択して登録されたタイムサーバーのリストから適切なタイムサーバーを選択してください。

3 サーバーと時間を同期化する**調整間隔**を選択してください。

4 **決定**ボタンを押して設定を終了してください。

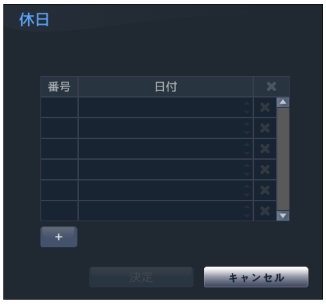
> - **ネットワーク－IPアドレス**設定で**DNSサーバー**を設定した場合、タイムサーバー項目にタイムサーバーのIPアドレスの代わりにドメイン名を入力することができます。
> - **サーバーとして動作する**を選択すると、本機がタイムサーバーとして動作することになり、他のデバイスがこのサーバーの時間情報を使って同期化することができます。

- **休日**：休日を追加/削除できます。設定された休日には、録画スケジュール設定で設定した休日のスケジュールに従って録画されます。

1 設定ウィンドウの下の**+**ボタンを選択してください。

2 休日に指定したい日付を入力してください。

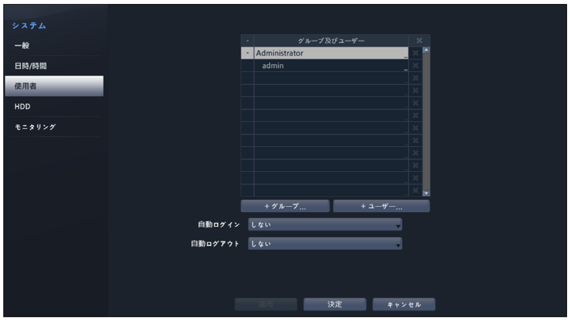
3 **決定**ボタンを押して設定を終了してください。




> 各項目の右側のアイコンを押すと、設定された休日を削除することができます。

## 使用者

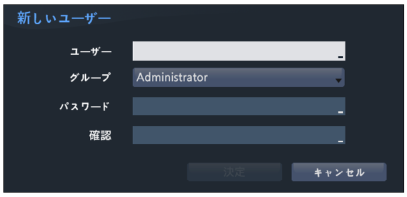
ユーザーを登録し、権限を与えて管理させることができます。




1 **+グループ**を押してグループの名前を入力してください。グループ名は最大15文字まで入力できます。

2 選択したグループの権限を選択してください。設定できる権限の種類は**23ページ クイック設定ウィザード**を参照ください。

3 **+ユーザー**を押してユーザーの名前を入力してください。




4 ユーザーが属するグループを指定し、パスワードを入力してください。パスワードは、文字・特殊文字・数字を混ぜて16文字以内に指定してください。

5 **決定**を押してください。

6 **自動ログイン**項目と**自動ログアウト**項目を選択してください。

7 **適用**または**決定**ボタンを押して設定を終了してください。

- グループ名、ユーザー名、パスワードはスクリーンキーボードでも入力することができます。スクリーンキーボードの使い方は**37ページ スクリーンキーボードによる文字列入力**を参照ください。
- 登録されたユーザーとグループを削除するには、各項目の右側にある✕アイコンを押してください。**グループAdministrator**と**ユーザーadmin**は削除できません。
- 画面上段のユーザーおよびグループ名の右側にある✕アイコンを押すと、**グループAdministrator**と**ユーザーadmin**を除く全てのグループやユーザーを一度に削除することができます。
- すでに作られたグループやユーザーの設定値を変更するためには、パスワードを入力する必要があります。
- **グループAdministrator**の権限オプションは変更できません。
- **ユーザーadmin**を選択したとき、パスワード以外の情報は変更することができません。
- システムが起動されると、**自動ログイン**項目で選択したアカウントに自動ログインされます。
- **自動ログアウト**設定された時間の間にシステムを操作しない状態が続くと、自動的にログアウトされます。

グループ設定表

| | | |
|---|---|---|
| **システム終了** | | システムメニューでシステムを終了することができます。 |
| **アップグレード** | | システムメニューでシステム情報設定をアップデートすることができます。 |
| **色調整** | | 各カメラの輝度、コントラスト、彩度、色調が調整できます。 |
| **システム検査** | | システム検査の結果であるシステムの状態が確認できます。 |
| **PTZ制御** | | PTZカメラを制御することができます。 |
| **アラームアウト制御** | | アラーム出力発生時にリセットすることができます。<br>リモコンの**アラーム**ボタンまたは遠隔プログラムの**アラームアウト制御**ボタンを押して、アラーム出力をリセットすることができます。 |
| **隠しカメラ表示** | | 監視モードや検索モードで隠しカメラに設定されたカメラを表示することができます。 |
| **検索** | **バックアップ** | バックアップ権限のある場合、検索および映像保存ができます。バックアップ権限がない場合、検索のみできます |
| **設定** | **システム時間の変更** | システムの日時/時間を変更することができます。 |
| | **データ削除** | システムに保存されているデータを削除することができます。 |
| | **PTZ設定** | PTZに関する設定を行うことができます。 |
| | **アラーム出力設定** | アラーム出力の設定を行うことができます。 |
| | **隠しカメラ設定** | 隠しカメラの設定を行うことができます。 |
| | **録画設定** | 録画設定に関する環境設定を行うことができます。 |
| | **設定読込** | 以前に保存したNVR設定を読み込むことができます。 |
| | **設定保存** | 現在のNVR設定を保存することができます。 |

## HDD

HDDに関する設定を行うことができます。

- **タイプ**：実装されているディスクの種類が表示されます。
- **容量**：各ディスクの容量が表示されます。
- **初期化**：フォーマットされたディスクの場合、**録画**、**使用しない**のいずれか一つが表示されます。まだフォーマットされていないディスクを接続すると、**初期化されていません**というメッセージが表示されます。
- **情報**：実装されているディスクが録画に使用されているかを表します。他システムで使用していたディスクを接続した場合、**外部**と表示されます。各ディスクの**情報**を選択して保存されたデータの時間情報を確認したり、**削除**を選択してデータを削除したりすることができます。

- 各ディスクの**初期化**を選択すると、録画データが保存できるようにフォーマットすることができます。
- 用途は**使用しない**を選択してフォーマットすると、そのディスクは録画用として使用しません。
- 本NVRはSATA2 HDDに対応します。

## モニタリング

システムイベントの監視に関する設定を行うことができます。

- **設定**：各システムイベントの監視間隔および監視項目を設定することができます。
- **動作**：各イベント発生時に実行されるアラーム出力(NVRのアラーム出力チャンネル、NVRのビープ、カメラのアラーム出力チャンネル)および通知(メール、ラン1～5、SNS、警告ウィンドウ)機能を設定することができます。

## 監視項目

| | |
|---|---|
| **システム** | 監視間隔が設定でき、周期的なシステムの自己点検を行います。 |
| **システム起動、システム再起動、システム終了** | システム起動、再起動、または終了されると、設定した動作を行います。 |
| **緊急録画** | 緊急録画発生時には設定した動作が始まります。 |
| **録画を確認** | 録画するようにスケジュールされている場合、設定されたスケジュール上の監視間隔の間に録画されていなければ異常になります。<br>**スケジュールオン**を選択した後、曜日や時間範囲、監視間隔を設定します。設定ウィンドウ左下の+ボタンを押すと、新しいスケジュールが追加されます。アイコンを選択してスケジュールを削除することができます。<br> |
| **アラームインを確認** | アラーム入力を使用しているとき、設定した監視間隔の間にアラーム入力が発生しない場合は異常となります。 |
| **ディスクフル警告** | 全体ディスク容量の80～99%まで設定することができ、ディスク容量が該当する比率以上を占めた場合にイベントが発生します。 |
| **ディスクフル** | 全体のディスクがフルになったときイベントが発生します。 |
| **ディスクエラー** | 割合は10～90%まで10%単位で設定することができます。ディスク容量のうち指定した割合以上に損傷した場合イベントが発生します。 |
| **ディスク温度** | 温度を設定することができます。いずれかのHDDの温度が指定した設定温度に達したり、高くなるとイベントが発生します。 |
| **ディスクS.M.A.R.T.** | S.M.A.R.T.に対応するディスクにエラーが発生した場合、イベントが発生します。 |
| **ファンエラー** | 本体内部のファンが正常に動作しないときに、イベントが発生します。 |
| **eSATA接続終了** | eSATAデバイスを使用中に接続が解除された場合イベントが発生します。 |
| **ディスク構成の変更** | HDD交換後などに、システムが再起動されると発生するイベントです。 |
| **メモリなし** | HDDが接続されていない時に発生するイベントです。 |

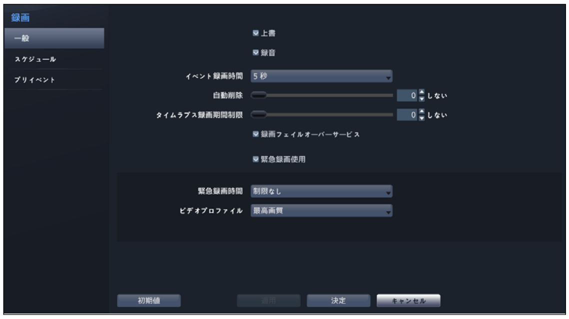
- システムイベントの場合、動作で電子メール通知だけが選択できます。
- 通知(コールバック)機能を使用するためには、NVRがコールバックを受けるPCの遠隔ソフトに登録する必要があります。

# 録画設定

設定メニューの使い方は**37ページ メニューの使い方**を参照ください。

## 一般

録画に関する一般的な設定を行うことができます。




- **上書**：録画用のHDDの空き容量がなくなると、ディスク単位で古いデータから削除され新しいデータが保存されます。**上書**を解除すると、HDDの空き容量がなくなったら録画は中止されます。
- **録音**：映像を録画する時、オーディオを一緒に録音します。
- **イベント録画時間**：イベント発生時、動作連動に録画が指定されている場合、このイベント録画期間で指定した時間だけ連動録画が行われます。
- **自動削除**：一定の期間が経過した録画データは、自動的に削除することができます。削除可能な期間は1日～999日まで設定できます。

自動削除機能を使用しないためには、**しない**に設定してください。自動削除データを選択して期間を設定すると現在の時刻から設定された期間以内の録画データだけを保管し、それ以上経過した録画データは自動的に削除されます。録画データは毎日深夜0時に自動削除され、システムが起動される場合や**自動削除**設定を変更する場合にも削除されます。

- **タイムラプス録画期間制限**：イベント録画映像をより長く保管することができます。タイムラプス録画の期間制限機能を使用しないためには、**しない**に設定してください。この機能は録画ディスクの容量が十分に大きいため設定した期間よりもっと長くデータを保存した場合に作動し、上書きモードで設定された期間より古い**タイプラプス録画映像**データに上書きをしながら新しいデータを保存します。

  - ディスクに保存されている映像の期間が、設定した**タイムラプス録画期間制限**期間よりもっと短い場合には通常のように**イベント録画映像**と**タイプラプス映像**の中で、最も古いデータを先に削除します。
  - 録画の画質や解像度、動き、その他ユーザーの設定内容によってシステムの録画期間が変更される場合があるため、場合によっては**タイプラプス録画期間制限**で設定した期間が保障されない場合もあります。

- **録画フェイルオーバーサービス**：ネットワーク障害が復旧されたとき、カメラのバッファが一時的に保存している映像をNVRに録画することができます。
- **緊急録画使用**：緊急録画機能を使用するか否かを設定することができます。
- **緊急録画期間**：緊急録画を自動的に解除することができます。緊急録画期間は5分～1時間まで設定することができます。自動解除機能を使用しないためには、期間を**制限なし**に設定してください。
- **ビデオプロファイル**：緊急録画時の録画のプロファイル値を選択することができます。

## スケジュール

<単純モード>

<高級モード>

**スケジュール作動**を解除すると、スケジュールに関わらずスケジュール録画が中断され、各カメラ画面の左上にアイコンが表示されます。**緊急**ボタンを押すと、！表示とともに緊急録画が行われます。

録画スケジュールのモードは、**単純モード**と**高級モード**から一つを選択することができます。**高級モード**を選択すると、各イベントに対してそれぞれ録画スケジュールを設定することができます。

アイコンを選択して、スケジュールを削除することができます。

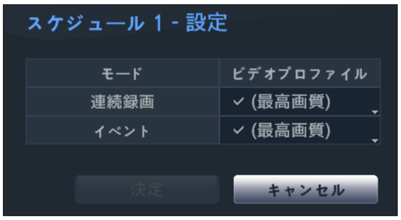
- 録画スケジュールモードを変更すると、変更時に作動していたイベント連動動作は停止します。
- 設定ウィンドウ左下の+ボタンを押すと、新しいスケジュールが追加されます。**曜日**を選択し、録画スケジュールを設定する**曜日**、または**全て**を選択することができます。**範囲**を選択し、時間の範囲を選択することができます。

### 単純モード設定

- **モード**：**録画しない**、**連続録画**、**イベント**または**指定時間およびイベント**に設定することができます。

| | |
|---|---|
| **録画しない** | **緊急**ボタンを押さない限り、スケジュールで指定された曜日や時間の範囲では録画が行われません。 |
| **連続録画** | 画面の左上にアイコンが表示され、スケジュールされた時間帯になると、アイコンが表示されて録画が始まります。 |
| **イベント** | 画面の左上にアイコンが表示され、そのイベントが発生すると、アイコンが表示されて録画が始まります。<br>イベントが設定されているとイベントが発生せずに録画されていないときは、アイコンとアイコンが表示されます。イベントが発生して録画されるときは、アイコンとアイコンが表示されます。 |
| **指定時間およびイベント** | 画面の左上にアイコンが表示され、**設定**で指定した時間どおりにビデオプロファイルで録画されます。イベントが発生したらアイコンが(赤)に変わり、設定でイベントに**設定**したビデオプロファイルで録画されます。 |

- **チャンネル**：スケジュールを適用するカメラを選択することができます。
- **設定**：選択するとタイムラプスおよびイベント録画モードに対して録画プロファイルの初期値をそれぞれ設定できます。



### 高級モード設定

設定を選択すると、イベントの種類やビデオプロファイルなどを設定することができます。

- **種類**：時間録画及びそれぞれのイベント別の録画を表示されるアイコンは次のとおりです。

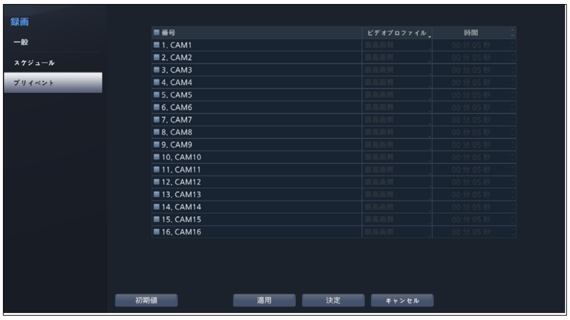
| | | | |
|---|---|---|---|
| | タイムラプス(時間) | | オーディオ検出 |
| | アラーム入力 | | トリップゾーン |
| | モーション感知 | | タンパーリング |
| | 映像信号なし | | テキストイン |

- **ビデオプロファイル**：録画に使用するプロファイルを設定することができます。
- **期間**：指定したイベントが発生したときに録画される期間を選択することができます。

- 設定しないチャンネルに対しては、上位のスケジュールの設定値が適用されます。
- 特定のチャンネルで同時に複数のイベントが発生して録画が始まる状況において、各イベントの連動録画に対する**ビデオプロファイル**および**期間**の設定値が異なる場合、より上位の設定値に従います。

## プリイベント

イベントが発生したときに指定された期間だけ、以前の映像を含めて録画する機能です。




- **番号**：プリイベントを設定するカメラを選択/解除できます。
- **ビデオプロファイル**：録画に使用するビデオプロファイルを設定することができます。
- **期間**：プリイベント録画期間を設定することができます。

- スケジュール上、イベントモードのスケジュールが一つもない場合はプリイベント録画のためにイベントモードスケジュールを追加するように警告ウィンドウが表示されます。
- **時間およびイベント**モードの場合にも警告ウィンドウは表示されます。

# イベント設定

設定メニューの使い方は**37ページ メニューの使い方**を参照ください。

カメラを登録した後に、PCなどに接続してカメラの設定変更を行わないでください。設定を変更した場合、誤動作することがあります。

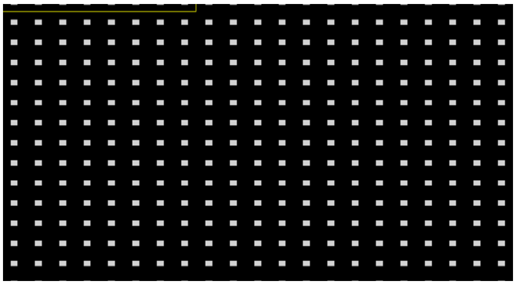
## ビデオ分析

ビデオ分析の方法はモーション､トリップゾーン､タンパーリングの3つに分けられます。

### モーション

- **番号**：モーション感知機能を設定するカメラを選択/解除できます。
- **感度**：昼間および夜間に区分され、それぞれ1(低感度)～5（高感度)の間の5段階に感度を設定することができます。

- **エリア**：モーション感知をするエリアをブロック単位で設定し

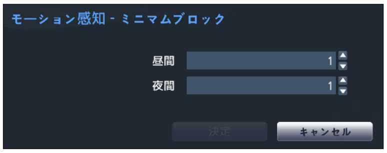


エリア設定画面でリモコンの方向ボタンを利用し、ブロック単位のエリア選択ウィンドウを上下左右に移動することができます。選択ウィンドウは8つのブロックの大きさの1列に該当し、**カメラ**ボタンで各ブロックを選択／解除することができます。マウスを利用してエリアをドラックしたあと、選択／解除／反転させることもできます。

エリア設定画面でリモコンの**ENTER**(⏎)ボタンを押すか、マウスの右クリックでエリア設定メニューを呼び出すことができます。

- **選択**：選択ウィンドウで選択されたブロックを選択します。
- **解除**：選択ウィンドウで選択されたブロックを解除します。
- **反転**：選択ウィンドウで選択されたブロックは解除し、解除されたブロックは選択します。
- **全て選択**：画面全体のブロックを選択します。
- **全て解除**：画面全体のブロックを解除します。
- **全て反転**：選択された画面全体のブロックを解除し、解除された画面全体のブロックを選択します。
- **決定**：変更されたブロック設定を保存し、エリア設定メニューから出ます。
- **キャンセル**：変更されたブロック設定を保存せず、エリア設定メニューから出ます。

- **ミニマムブロック**：設定されたブロックの数以上でモーションを感知しないと、モーション感知イベントが発生しません。この値を1から**エリア**設定で選択されたブロックの数以下まで選択することができ、週間・夜間を区分してそれぞれ設定します。



- **動作**：モーションを感知したときに実行する動作を設定することができます。
  - **録画**：イベント発生時、連動録画を行うカメラを選択することができます。スケジュールがイベントや時間およびイベントモードで設定されていたら、設定されたカメラに対して連動録画が行われます。
  - **アラーム出力**：イベント発生時に行われるアラーム出力チャンネル(NVR、カメラ各々)とビープを選択することができます。
  - **通知**：イベント発生時に起動される通知機能として、メールやラン1～5、SNS、警告ウィンドウを設定することができます。
  - **PTZ**：イベント発生時、PTZカメラを特定のプリセットに移動させることができます。

コールバック機能を使用するためには、遠隔プログラムでNVRが登録されている必要があります。

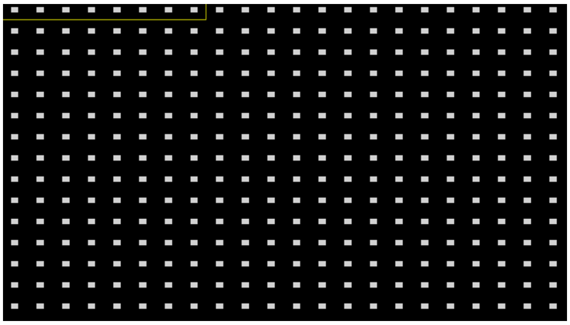
- **モーション感知無視間隔**：モーションが感知された時間以降、一定の時間内に感知されたモーションについてはイベントログおよび遠隔地通知機能を行いません。1秒～5秒または「しない」を選択することができます。

  モーション感知無視間隔は、モーション感知連動録画にはなんの影響も及ぼしません。

- **昼間設定**：昼間に指定する時間範囲を設定します。時間は15分単位で設定でき、指定した範囲外の時間は夜間に分類されます。

## トリップゾーン

- **番号**：トリップゾーン感知機能を設定するカメラを選択/解除できます。
- **感度**：昼間および夜間に区分され、それぞれ1(低感度)～5（高感度)の間の5段階に感度を設定することができます。
- **エリア**：モーション感知をするエリアをブロック単位で設定します。



エリア設定画面でリモコンの方向ボタンを利用し、ブロック単位のエリア選択ウィンドウを上下左右に移動することができます。選択ウィンドウは8つのブロックの大きさの1列に該当し、**カメラ**ボタンで各ブロックを選択／解除することができます。マウスを利用してエリアをドラックしたあと、選択／解除／反転させることもできます。

エリア設定画面でリモコンの**ENTER**(⏎)ボタンを押すか、マウスの右クリックでエリア設定メニューを呼び出すことができます。

- **選択**：選択ウィンドウで選択されたブロックを選択します。
- **解除**：選択ウィンドウで選択されたブロックを解除します。
- **反転**：選択ウィンドウで選択されたブロックは解除し、解除されたブロックは選択します。
- **全て選択**：画面全体のブロックを選択します。
- **全て解除**：画面全体のブロックを解除します。
- **全て反転**：選択された画面全体のブロックを解除し、解除された画面全体のブロックを選択します。
- **トリップ方向**：イベントとして見なすモーションの方向を選択します。イン側を選択すると選択エリアの外部から内部にモーションが発生する場合、 アウト側を選択すると選択エリア内部から外部にモーションが発生する場合、イベントとして見なされます。
- **決定**：変更されたブロック設定を保存し、エリア設定メニューから出ます。
- **キャンセル**：変更されたブロック設定を保存せず、エリア設定メニューから出ます。

- **動作**：トリップゾーンを感知したときの動作を設定することができます。
  - **録画**：イベント発生時、連動録画を行うカメラを選択することができます。スケジュールがイベントや時間およびイベントモードで設定されていたら、設定されたカメラに対して連動録画が行われます。
  - **アラーム出力**：イベント発生時に行われるアラーム出力チャンネル (NVR、カメラ各々) とビープを選択することができます。
  - **通知**：イベント発生時に起動される通知機能として、メールやラン1~5、SNS、警告ウィンドウを設定することができます。
  - **PTZ**：イベント発生時、PTZカメラを特定のプリセットに移動させることができます。

コールバック機能を使用するためには、遠隔プログラムでNVRが登録されている必要があります。

- **トリップゾーン無視期間**：トリップゾーンイベントが感知された時間以降、一定の時間内に感知されたトリップゾーンイベントについてはイベントログおよび遠隔地通知機能を行いません。1秒~5秒または「しない」を選択することができます。

トリップゾーン無視期間は、トリップゾーン連動録画には影響を及ぼしません。

- **昼間設定**：昼間に指定する時間範囲を設定します。時間は15分単位で設定でき、指定した範囲外の時間は夜間に分類されます。

### タンパーリング

- **番号**：タンパーリング感知機能を設定するカメラを選択/解除できます。
- **感度**：1(低感度)~5（高感度)の間の5段階に感度を変更することができます。
- **活性化時間**：タンパーリング感知をイベントとして見なすためのタンパーリングの継続時間を設定します。タンパーリングが感知されたあと設定された時間が続かない場合、これをイベントとして見なしません。
- **動作**：タンパーリングを感知したときの動作を設定することができます。
  - **録画**：イベント発生時、連動録画を行うカメラを選択することができます。スケジュールがイベントや時間およびイベントモードで設定されていたら、設定されたカメラに対して連動録画が行われます。
  - **アラーム出力**：イベント発生時に行われるアラーム出力チャンネル(NVR、カメラ各々)とビープを選択することができます。
  - **通知**：イベント発生時に起動される通知機能として、メールやラン1~5、SNS、警告ウィンドウを設定することができます。
  - **PTZ**：イベント発生時、PTZカメラを特定のプリセットに移動させることができます。

> コールバック機能を使用するためには、遠隔プログラムでNVRが登録されている必要があります。

- **無視時間使用**：**時間設定…**を選択し、タンパーリング感知無視時間帯を設定することができます。設定した時間にはタンパーリング感知機能が作動しません。

## アラーム入力

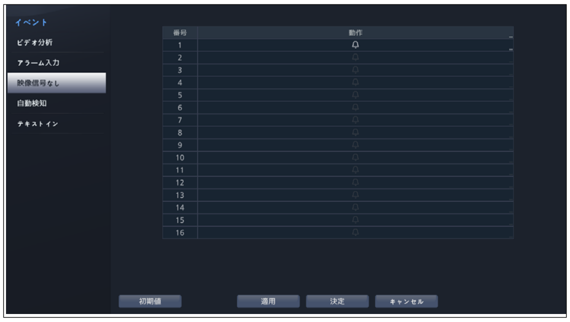
- **番号**：アラーム入力を選択/解除できます。

> 本設定はローカルアラーム入力とネットワークカメラのアラーム入力を全て含めます。1~16番はネットワークカメラのアラーム入力、17~20番はローカルアラーム入力チャンネルです。

- **タイトル**：キーボード入力ウィンドウからタイトルを入力することができます。
- **タイプ**：アラームの種類を変更することができます。
- **動作**：アラーム入力を感知したときの動作を設定することができます。
  - **録画**：イベント発生時、連動録画を行うカメラを選択することができます。スケジュールがイベントや時間およびイベントモードで設定されていたら、設定されたカメラに対して連動録画が行われます。
  - **アラーム出力**：イベント発生時に行われるアラーム出力チャンネル(NVR、カメラ各々)とビープを選択することができます。
  - **通知**：イベント発生時に起動される通知機能として、メールやラン1~5、SNS、警告ウィンドウを設定することができます。
  - **PTZ**：イベント発生時、PTZカメラを特定のプリセットに移動させることができます。

> - コールバック機能を使用するためには、遠隔プログラムでNVRが登録されている必要があります。
> - **緊急録画**を選択して連動するアラーム入力チャンネルを選択することができます。該当するアラーム入力が発生したら緊急録画が開始し、アラーム入力が解除されると緊急録画も終了されます。

## 映像信号なし




- **動作**：映像信号なしイベント発生時の動作を設定することができます。
  - **録画**：イベント発生時、連動録画を行うカメラを選択することができます。スケジュールがイベントや時間およびイベントモードで設定されていたら、設定されたカメラに対して連動録画が行われます。
  - **アラーム出力**：イベント発生時に行われるアラーム出力チャンネル(NVR、カメラ各々)とビープを選択することができます。
  - **通知**：イベント発生時に起動される通知機能として、メールやラン1～5、SNS、警告ウィンドウを設定することができます。
  - **PTZ**：イベント発生時、PTZカメラを特定のプリセットに移動させることができます。

コールバック機能を使用するためには、遠隔プログラムでNVRが登録されている必要があります。

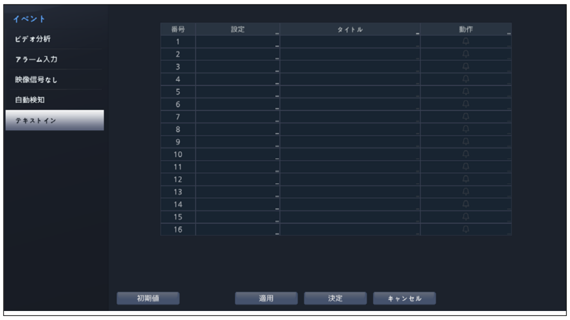
## オーディオ検出

- **番号**：オーディオ検出機能を設定するカメラを選択/解除できます。
- **感度**：1(低感度)～5(高感度)の間の5段階に感度を変更することができます。
- **活性化時間**：オーディオ検出をイベントとして見なすためにオーディオの継続時間を設定します。オーディオが検出されたあと設定された時間続かない場合、これをイベントとして見なしません。
- **動作**：オーディオを検出したときの動作を設定することができます。
  - **録画**：イベント発生時、連動録画を行うカメラを選択することができます。スケジュールがイベントや時間およびイベントモードで設定されていたら、設定されたカメラに対して連動録画が行われます。
  - **アラーム出力**：イベント発生時に行われるアラーム出力チャンネル(NVR、カメラ各々)とビープを選択することができます。
  - **通知**：イベント発生時に起動される通知機能として、メールやLAN1～5、SNS、警告ウィンドウを設定することができます。
  - **PTZ**：イベント発生時、PTZカメラを特定のプリセットに移動させることができます。

コールバック機能を使用するためには、遠隔プログラムでNVRが登録されている必要があります。

- **インターバルを無視**：オーディオが検出された時間以降、一定の時間内に検出されたオーディオについてはイベントログおよび遠隔地通知機能を行いません。1秒～5秒または**しない**を選択することができます。
- **無視時間使用**：**時間設定…**を選択し、オーディオ検出無視時間帯を設定することができます。設定した時間にはオーディオ検出機能が作動しません。

## テキストイン




- **設定**：選択した番号のテキストインデバイスを設定することができます。

- ポート設定を除いたほかの設定を全てのテキストインデバイスに対して一度に行うことができます。
- 複数のチャンネルから大量のテキストインが一度に入ってくると、システムの性能に影響を及ぼす可能性があります。

- **テキストイン製品**：ポート設定の下の部分が、そのテキストインデバイスに合うように設定ウィンドウが変更されて表示されます。現時の設定ウィンドウの内容は汎用テキストに関する設定内容です。
- **開始文字列**：**開始文字列**を設定すると、これに該当する文字列が入力されるとき、1つのトランザクションが開始したと認識します。開始文字列を任意の文字をもって開始として指定することができます。この場合、どんな文字が入力されても1つのトランザクションが始まったと認識します。
- **終了文字列**：**終了文字列**を設定すると、これに該当する文字列が入力されるとき、1つのトランザクションが終了したと認識します。終了文字列の隣に**0ライン追加**を選択し、1～10間の値に設定することができます。終了文字列に文字列が入力されたあと、ここで設定した追加ラインだけ入力されると1つのトランザクションが終わったと認識します。
- **改行文字列**：ラインの終わりを決定する文字列を入力することができます。コントロール文字は⇧を押して^に続く文字を選択すると入力することができます。例えば、Carriage Returnは^Mであり、Line Feed(New Line)は^Jになります。
- **無視文字列**：トランザクションを記録するとき除外される文字列を設定することができます。
- **大小文字区分**：**開始文字列**、**終了文字列**、**改行文字列**、**無視文字列**で設定した文字列が大小文字を区分するか否かを選択することができます。

コントロール文字の場合は、**大小文字の区分**には影響されません。

- **タイムアウト**：**タイムアウト**期間を設定すると、最後の文字列が入力されたあとに設定されたタイムアウト期間に新しい文字列が入力されなかったら、1つのトランザクションが終わったと認識します。5秒～15分まで設定できます。

ポートをRS232、USB-Serial 1～8、LAN 1～16の中から一つを選択するとき、ポート設定ボタンが有効化されます。**設定**ボタンを押して**ボーレート**、**データ**、**ストップビット**、**パリティー**値を正しく設定してください。

- ポートをLAN1～16に選択する場合、ポート設定ボタンを押してネットワークポート値を設定します。
- USB-シリアルポートを使用する場合、システム駆動中、USBケーブルを取り外すとテキストイン機能に誤作動が発生することがあります。

- **件名**：テキストインデバイスのタイトルを決めることができます。
- **動作**：テキストインが発生したときの動作を設定することができます。
  - 録画：イベント発生時、連動録画を行うカメラを選択することができます。スケジュールがイベントや時間およびイベントモードで設定されていたら、設定されたカメラに対して連動録画が行われます。
  - アラーム出力：イベント発生時に行われるアラーム出力チャンネル(NVR、カメラ各々)とビープを選択することができます。
  - 通知：イベント発生時に起動される通知機能として、メールやLAN1～5、SNS、警告ウィンドウを設定することができます。

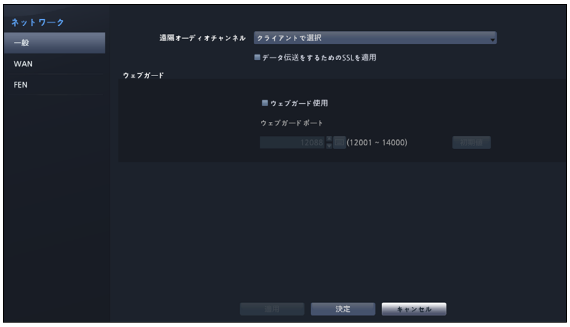
PTZ：イベント発生時、PTZカメラを特定のプリセットに移動させることができます。

コールバック機能を使用するためには、遠隔プログラムでNVRが登録されている必要があります。

# ネットワーク設定

設定メニューの使い方は**37ページ メニューの使い方**を参照ください。

## 一般




- **遠隔オーディオチャンネル**：選択したチャンネルのオーディオが遠隔プログラムに伝送されます。**クライアントから選択**を選択すると、遠隔プログラムで選択されたチャンネルのオーディオが伝送されます。

オーディオを伝送するときネットワーク環境によって途中で途切れることがあるため、音声との同期が合わないことがあります。

- **データ伝送をするためのSSLを適用**：遠隔監視または遠隔録画のために伝送されるデータにSSL(Secure Sockets Layer)認証を利用したセキュリティ機能が適用されます。

- SSL機能を使用するとき、SSL機能に対応しない遠隔プログラムまたはネットワークキーボードでは本NVRに接続することができません。
- SSL設定を変更すると、これを適用するためにNVRへの接続が一時的に途切れます。
- 本製品には、Open SSL Toolkitに使用される目的でOpenSSL Projectで開発した内容が含まれています(http://www.openssl.org/)。

- **ウェブガード**：ウェブガードを使用するためには、**ウェブガードサービス使用**を選択してください。**ウェブガードポート**を選択し、ウェブガードへの接続に使用するポート番号を12001から14000の間の値で設定することができます。
ウェブガードに関する詳しい内容は**75ページ 第5章 - ウェブガード**を参照ください。

## WAN (IPアドレス)

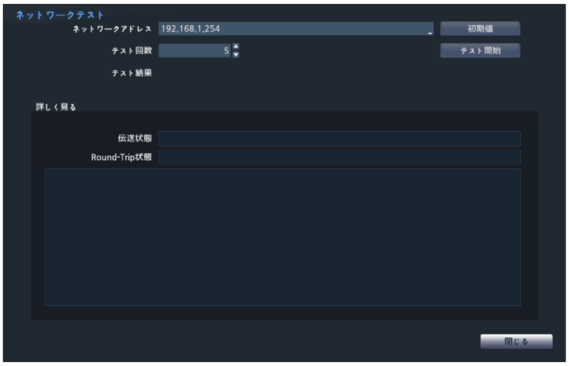
IPアドレスの種類を手動、**DHCP**に選択することができます。

### 手動

- **タイプ**を手動に選択してください。

**手動**を選択した場合、手動で設定することができます。**IPアドレス**、**ゲートウェイ**、**サブネットマスク**の各項目を選択したあと、リモコンの方向ボタンで数字を増減させて設定します。

- **DNSサーバー**：DNSサーバーのIPアドレスを入力します。IPアドレスはスクリーンキーボードでも入力することができます。
- **遠隔ポート**：遠隔地プログラムで接続するために使用するポートです。ポート番号はスクリーンキーボードでも入力することができます。
- **遠隔コールバック**：遠隔地へのコールバックするために使用するポート番号を設定した項目です。ポート番号はスクリーンキーボードでも入力することができます。
- **Pingテスト**：現在設定されてる値でWAN接続ができているかをテストします。



1 NVRのIPアドレスを入力してください。

2 Pingテストの回数を設定してください。

3 テスト**スタート**ボタンを押してテストを行ってください。テストの結果が表示されます。

4 **閉じる**を押して設定を終了してください。

- ポート変更はファイアウォールなどを使用する場合、ファイアウォールで許容されるポート番号を変更するときに使用します。
- ポートを変更すると、NVRへの遠隔接続が一時的に途切れます。

遠隔プログラムの遠隔地点IP/ポート設定も同様に変更しなければ遠隔プログラムから接続ができません。

- **UPnP**(Universal Plug and Play、ユニバーサルプラグアンドプレイ)サービスを使用するためには、**UPnP使用**を選択します。UP n Pサービスを利用してIPルーター(あるいはNAT)を使用するとき、そのデバイスからNVRへのポートフォーワーディングを自動的に実行することができます。

- 本機能はプライベートIPアドレスで構成されたポートに接近するときに活用されます。
- UP n Pサービスを使用するためには、使用するIPルーター(あるいはNAT)がUP n Pポートフォーワーディング機能に対応する必要があり、この機能が使用可能な状態になっていなければなりません。
- **UP n P使用**を選択すると、ポート番号は変更することができません。

- **状態**：UP n Pサービスを利用してIPルーター(あるいはNAT)でNVRにフォーワーディングされたポート番号が表示されます。

DHCP

**DHCP**を選択して**適用**を押すと、DHCPサーバーからIPアドレスなどのネットワーク情報を自動的に割り当てられます。ネットワーク情報が割り当てられると、IPアドレス項目にNVRの現在のIPアドレスが表示されます。

- DHCPを使用する場合、DHCPサーバーがなければIPアドレスが割り当てられないこともあります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- DHCP設定を使用する場合、NVRのIPアドレスはNVRが起動されるたびに変更されることがあります。

遠隔接続のとき、同時に接続できる回線には制限があります。詳細は、販売店までお問い合わせください。

## FEN

FENサービスは流動IPを使用するNVRを遠隔管理プログラムで接続するとき、流動IPやルーター設定などを気にすることなく簡単に接続できるようにする機能です。

- **FENを使用**：FENサービスを使用する場合はチェックしてください。
- **FENサーバー**：FENサーバーのIPアドレスやドメイン名を入力することができます。

**ネットワーク－IPアドレス**設定でDNSサーバーを設定した場合、**FENサーバー**項目にFENサーバーのIPアドレスの代わりにドメイン名を入力することができます。

- **ポート**：FENサーバーのポート番号を設定することができます。

IPルーター(あるいはNAT)を使用する場合、ポート設定などのネットワーク機能はIPルーター(あるいはNAT)の使い方に従います。

- **FEN名前**：FENサーバーに登録されるNVRの名前を入力したあと検査して登録してください。FENサーバーに登録されるNVRの固有名です。

- デバイス名項目の確認ボタンをクリックし、入力されたデバイス名が使えるかどうかを確認しない場合FEN設定を保存することができません。
- デバイス名を入力しなかったりFENサーバーにすでに登録されている名前を入力したりすると、エラーメッセージが表示されます。
- デバイス名に#、¥、%の記号が含まれている場合、ウェブガードプログラムでNVRにアクセスする時にアクセスができないときがあります。

- **状態**：FENサーバーに登録したデバイスの状態を確認することができます。

設定を変更した後**適用**を選択すると、NVRのデバイス名がFENサーバーに登録されます。

FEN設定が正常に行われた場合、再びFEN設定画面に入るときに**ヘルプ**項目にFENサーバーのヘルプに関する情報が表示されます。

# 装置の設定

設定メニューの使い方は**37ページ メニューの使い方**を参照ください。

## アラーム出力

スケジュールリストの左下にある＋を選択し、スケジュールを追加することができます。

スケジュールは**曜日**別に選択することができます。

☒アイコンを選択してスケジュールを削除することができます。

- **出力時間**：5秒から15分まで設定することができ、アラーム出力はここで設定された時間の間に作動します。
- **タイトル**：アラーム出力の件名を設定することができます。
- **範囲**：スケジュールする時間帯を変更することができます。
- **モード**：**イベント**、**オン**、**オフ**を選択することができます。

| | |
|---|---|
| **イベント** | イベントに連動しアラーム出力が発生します。 |
| **オン** | アラーム出力が常にオンになります。 |
| **オフ** | アラーム出力が常にオフになります。 |

- **チャンネル**：アラーム出力に使用するポートおよびビープ出力を設定することができます。

## その他

装置のメニューで"その他"を選択して下さい。

- UPSと電波時計を別に設定することができます。各装置の**ポート**を選択するとRS232を選択することができます。この場合、PTZカメラ、またはテキストインなどの装置が同じポートを使用しているとポートが重複するので警告が表示されます。
- **ポート**をRS232に選択し、右側の**設定…**を選択し、**ボーレート**、**データ長**、**ストップビット**、**パリティー**を設定することができます。

電波時計と本NVRが正常に接続されていると30分単位に電波時計の時刻に本NVRの時刻が同期されます。電波時計との接続及び設定方法は電波時計の説明書を参照してください。

# ディスプレー設定

設定メニューの使い方は**37ページ メニューの使い方**を参照ください。

## OSD

OSD(On Screen Display)情報を画面下に表示するように設定することができます。

### 状態について

- **日付、時間**：日時と時間が表示されます。
- **遠隔制御**：遠隔制御の許可状態が表示されます。
- **残容量**：上書きモードが実行されているかを表示します。また、上書きモードが実行されていない場合に使用できる残容量が表示されます。
- **ユーザー名**：現在のユーザーのログイン状態を表示します。
- **バックグラウンドパネル**：画面下段にバックグラウンドパネルが表示されます。

### カメラについて

- **番号**：カメラ番号がカメラ画面の左上に表示されます。
- **タイトル**：カメラタイトルがカメラ画面の左上に表示されます。
- **録画**：録画やスケジュールに関するアイコンが表示されます。
- **オーディオ**：該当するチャンネルのオーディオを出力しているときは、アイコンが表示されます。
- **PTZ**：カメラがPTZカメラに設定されていると、**P** アイコンを表示します。
- **PTZ拡大**：カメラがPTZカメラに設定されていれば、拡大モードにおける拡大の倍率を示します(x2、x3など。)
- **テキストイン**：テキストインデバイスから入力される文字列が表示されます。**表示期間**を選択し、テキストイン文字列が画面に表示される表示期間を設定することができます。テキストイン文字列は単一画面のときだけに表示されます。

## メインモニター

モニターに関する設定を行うことができます。

- **モード**：**フル切替**または**切替**を選択することができます。
- **カメラ切替時間**：3秒～2分まで設定できます。自動切替については**30ページ ⑥ 自動切替**を参照ください。
- **イベントモニタリング**：イベントモニタリングが設定されると、イベント発生時にイベント連動録画がされるカメラ画面を表示します。イベントモニタリングに関しては**34ページ イベントモニタリング機能**を参照ください。
- **手動構成**：モニターの解像度情報に関わらず、ユーザーが解像度を手動で設定することができます。
- **解像度**：1920 x 1200、1920 x 1080、1680 x 1050、1600 x 1200から設定することができます。

- モニターによって対応できる解像度が制限されることがあります。
- 1920 x 1080の解像度を使用することをお勧めします。

# 通知設定

## スケジュール

**スケジュール**リストの左下にある**+**アイコンを選択し、通知スケジュールを追加することができます。

- **曜日**：曜日別に選択することができます。
- **範囲**：イベント通知時間帯を変更することができます。
- **通知**：イベントを感知したときに実行される通知を選択することができます。**メール**、**LAN1～5**、**SNS**、**警告ウィンドウ**などを設定することができます。

> - コールバック機能を使用するためには、遠隔プログラムでNVRが登録されている必要があります。
> - 設定されたスケジュールの右側の✕アイコンを押すと、設定されたスケジュールを削除することができます。

- **サマリーEmail伝送間隔**：決められた時間ごとに、イベントの内容を要約したメールを遠隔地に伝送します。

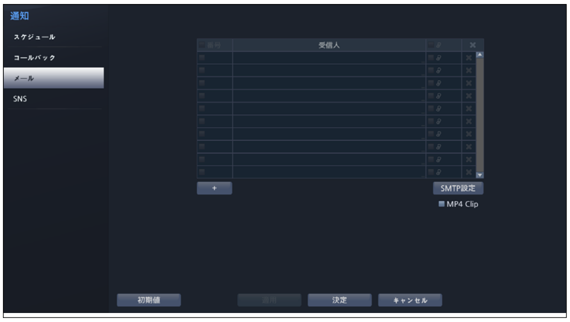
## コールバック

遠隔地へのコールバック機能を設定することができます。

コールバックを受信するサーバーのIPアドレスを設定し、NVRが遠隔接続に失敗したとき、**リトライ**する回数を1回から10回まで選択することができます。

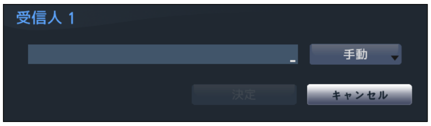
## メール

遠隔地へのメール機能を設定することができます。




設定ウィンドウの左下にある**+**アイコンを選択し、メールアカウントを追加することができます。

**受信人**を選択し、メールアドレスおよびメールサーバーを設定します。




> 受信人のメールアドレスは必ず@を含む、正しい電子メールのアドレスを入力しなければなりません。

設定されたメールアカウントの右側のアイコンを選択すると、そのアカウントにメールを送信するときにイベント映像が添付されます。
設定されたメールアカウントの右側のアイコンを押すと、設定されたアカウントを削除することができます。
**MP4クリップ**を選択すると、メールを送信するときにイベント映像が添付されます。

カメラが発生させるイベントに関する映像だけが添付されます。画面下の**MP4クリップ**をチェックすると、MP4動画クリップが添付されます。

## SMTPを設定する

メールアカウント設定ウィンドウの右上に**SMTP設定**を選択し、SMTPサーバーを設定することができます。

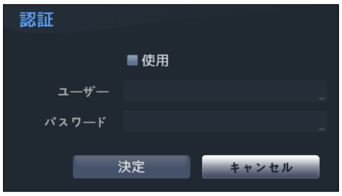
1 SMTPサーバーの**タイプ**を選択してください。

2 **SMTPサーバー**のIPアドレスまたはドメインネーム、SMTPサーバーの**ポート**番号、**発信人**を設定してください。

SMTPサーバーのポート番号の初期値は**25**です。**テスト**を選択すると、現在設定されたアドレスにメールが送信されテストすることができます。**SSL/TLS使用**を選択すると、SSLアクセスを要求するSMTPサーバーを使用することができます。

- **ネットワーク－IPアドレススキャン**設定でDNSサーバーを設定した場合、**SMTPサーバー**項目にSMTPサーバーのIPアドレスの代わりにドメイン名を入力することができます。
- **発信人**には必ず@を含む、正しい電子メールのアドレスを入力しなければなりません。

SMTPサーバーにユーザー認証が必要な場合**使用**を選択し、ユーザー認証を使用するかどうかを選択したあと、**ユーザー**名と**パスワード**を設定します。

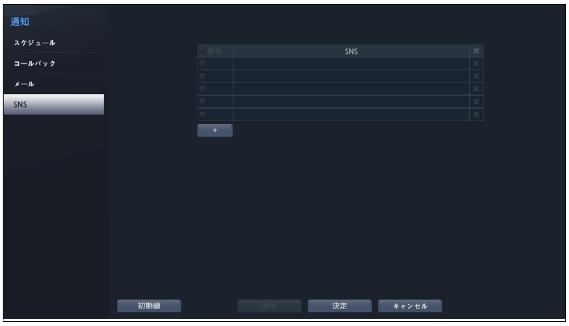



3 **決定**を押して設定を終了してください。

本製品には、Open SSL Toolkitに使用される目的でOpenSSL Projectで開発した内容が含まれています(http://www.openssl.org/)。

## SNS

遠隔地へのSNS機能を設定することができます。



SNS (Social Network Service、ソーシャルネットワークサービス)機能を設定すると、イベント発生時に指定されたツイッターのアカウントにメッセージを送信することができます。設定ウィンドウの左下にある**+**アイコンを選択してSNSアカウントを追加することができ、リストの右側のアイコンを押して登録されているSNSアカウントを削除することができます。
ツイッターメッセージを送信するときに使用する**ユーザー名**と**パスワード**を設定します。

ツイッターの制約により、メッセージ送信が成功しない場合もあります。

## カメラ設定

設定メニューの使い方は**37ページ メニューの使い方**を参照ください。

カメラを登録した後に、PCなどに接続してカメラの設定変更を行わないでください。設定を変更した場合、誤動作することがあります。

### 一般

カメラを使用するか否かを選択したり､タイトルを編集したりすることができます。

- **タイトル**：カメラのタイトルを編集することができます。
- **使用**：**普通**、**隠し1**、**隠し2**に設定することができます。

  **隠し1**または**隠し2**で設定する場合､隠しカメラを見る権限のないユーザーは､そのカメラの映像を監視･再生できません｡**隠し1**の場合は映像は表示されないが､様々なOSDは表示されます｡**隠し2**の場合はカメラが未接続なように映像だけではなくOSDも表示されません｡

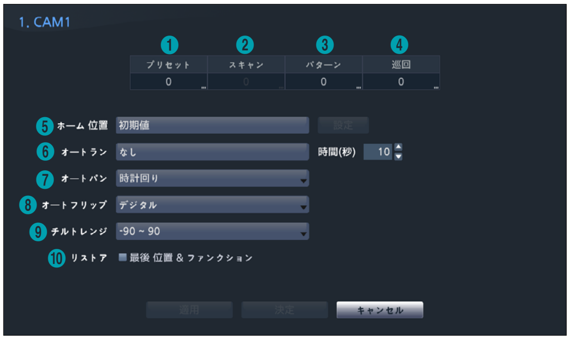
### 高機能設定

カメラのセキュリティレベルを設定したり、カメラの全般的な設定を行ったりすることができます。

- **ビデオ**：カメラの映像センサー設定、ホワイトバランス、露出などの設定ができます。カメラによって設定項目が異なる場合があります。
- **プライバシーマスキング**：プライバシーマスキングの動作有無やエリア設定が可能です。
- **SSL**：カメラのセキュリティレベルを使用しない、標準、良い、とても良いのいずれ一つに変更することができます。標準、良い、とても良いに設定された場合、SSL(Secure Sockets Layer)認証を利用したセキュリティ機能が適用されます。
- **モード**：解像度モードを選択することができます。本設定はアナログカメラの場合にのみ対応します。
- **PTZ**：機能を搭載したカメラの場合、PTZモードを使用できるように設定します。

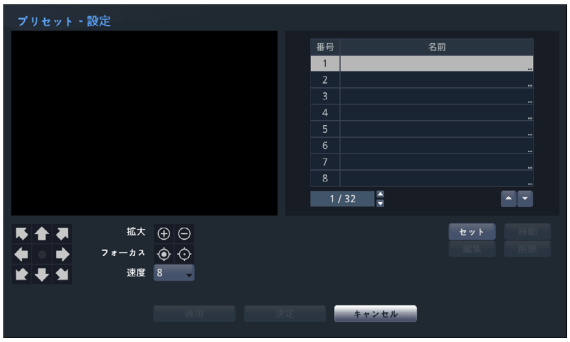
  - **PTZ製品**：設置されたPTZカメラの種類を選択します。
  - **ID**：各PTZカメラのID番号を指定します。
  - **ボーレート/データ長/ストップビット/パリティー**値を設定することができます。

- 設定に関する詳しい内容は、PTZカメラの装置製造社の取扱説明書をお読みください。
- カメラが対応するPTZ種類によって表示される設定ウィンドウが異なります。




プリセット、スキャン、パターン、ツアーの各項目で表示される数字は、設定された機能の個数です。

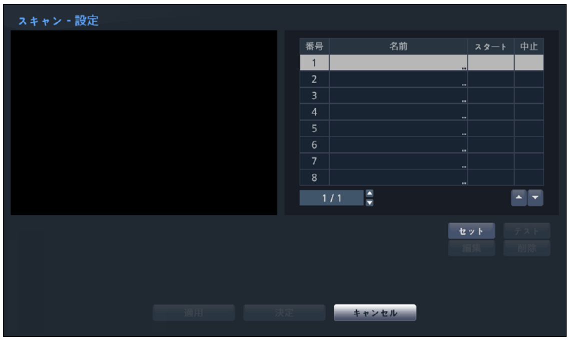
## ① プリセット




- 下のボタンを利用して、プリセットの位置を設定します。
  - 方向ボタン( )：カメラをパンまたはチルトしてカメラの方向を調整します。
  - **拡大** ( )：映像を拡大または縮小します。
  - **フォーカス**( )：近くにまたは遠くにある映像にカメラのフォーカスを合わせます。
  - **速度**：カメラのファンチルトの速度を設定します。
- **セット**：プリセット番号を選択したあと、プリセットの名前を入力します。現在の位置がそのプリセットの番号および名前として保存されます。
- **移動**：リストからプリセットを選択してボタンをクリックすると、カメラが選択したプリセットの位置に移動します。
- **編集**：プリセット名を変更します。
- **削除**：プリセットを削除します。

## ② スキャン

スキャン機能を設定し、予め指定した2つの地点をカメラ移動させることができます。スキャン機能を有効にするためには、プリセットは2つ以上設定されている必要があります。




- **セット**：スキャン機能を設定します。

  - **名前**：スキャン名を入力します。
  - **スタート/中止**：スキャンを開始/終了するプリセットの位置を選択してください。
  - **出力時間(秒)**：カメラがスキャンをスタートして終了する位置までの時間を設定します。
  - **速度/ディレクション**：スキャンの速度および方向を設定します。
- **テスト**：スキャン番号を選択してボタンをクリックすると、スキャン機能をテストします。
- **編集**：スキャン設定を変更します。
- **削除**：スキャンを削除します。

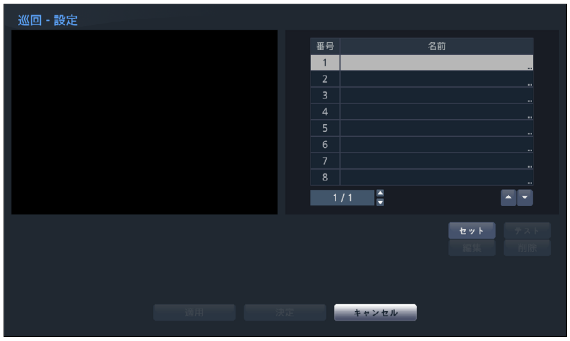
③ **パターン**

パターンの機能を設定すると、予め指定されて経路でカメラを移動させせることができます。

- **設定スタート**：パターン番号を選択したあとパターンの名前を入力し、**決定**ボタンを押すとカメラの動きが保存されます。方向、拡大、フォーカスボタンを利用し、カメラを動かしたあと、**録画停止**ボタンをクリックすると保存されます。最大2分間の動きを保存することができます。
  - **方向ボタン**( )：カメラをパンまたはチルトしてカメラの方向を調整します。
  - **拡大**（ ）：映像を拡大または縮小します。
  - **フォーカス**( )：近くにまたは遠くにある映像にカメラのフォーカスを合わせます。
  - **速度**：カメラのファンチルトの速度を設定します。
- **テスト**：パターンを選択してボタンをクリックすると、パターン機能をテストします。
- **編集**：パターン設定を変更します。
- **削除**：パターンを削除します。

④ **巡回**

ツアー機能を設定し、カメラが複数の機能をすでに指定しておいた順番に遂行するようにできます。




- **セット**：ツアー機能を設定します。

  - **名前**：ツアー名を入力します。
  - **番号**：実行する機能の順番を表示します。
  - **出力時間(秒)**：その機能が維持する時間を設定します。
  - **速度**：プリセット動作の速度を設定します。
- **テスト**：ツアーを選択してボタンをクリックすると、ツアー機能をテストします。
- **編集**：ツアー設定を変更します。
- **削除**：ツアーを削除します。

プリセット、スキャン、パターン、ツアー設定を行ったあと**適用**を選択すると、左画面で設定が適用されたカメラの映像を確認することができます。**適用**または**決定**を選択すると、ダイアログボックスで設定が成功しているかどうか、確認することができます。

⑤ **ホーム位置**：カメラのホームポジションを設定します。

- **初期値**：工場出荷時に設定された初期位置をホーム位置に設定します。
- **ユーザー定義**：ユーザーが変更した位置をホーム位置に設定します。
- **設定**を選択し、ホーム位置を変更することができます。

⑥ **オートラン**：設定された時間の間にカメラが制御されないときに実行する機能を設定します。

⑦ **オートパン**：カメラのパンの方向を設定します。遠隔プログラムでオートパンを実行するとき、設定された方向にパン機能が作動します。

⑧ **オートフリップ**：カメラが９０°以上チルトすると き、物体が反対に見えることを防止するため自動的に映像またはカメラを反転させます。
- **デジタル**：映像を左右または上下に反転させます。
- **メカニカル**：カメラを自動でパンまたはチルトします。
- **オフ**：自動反転機能を解除します。

⑨ **チルト–範囲**：カメラのチルト範囲を設定します。

⑩ **リストア**：カメラの最後の位置および機能を復帰するか否かを設定します。復帰機能を使用する場合、カメラの再起動時にその直前の位置に移動したり、最後に遂行していた機能を遂行したりします。

## プライバシーマスキング設定

**名前**を選択すると、設定されたプライバシーマスキングエリアの名前を変更することができます。設定されたプライバシーマスキングエリアは、アイコンを押して個別に削除するか全体を削除します。**プライバシーマスキング設定**を選択すると、エリア設定画面が表示されます。マウスでドラッグしてプライバシーマスキングエリアの大きさを自由に設定することができます。なお、最大16のエリアを追加することができます。

- **編集**：設定されたプライバシーマスキングエリアの名前を変更します。
- **削除**：設定されたプライバシーマスキングエリアの名前を削除します。
- **保存**：設定を保存し、エリア設定画面を閉じます。
- **キャンセル**：変更した内容を保存せず、エリア設定画面を閉じます。

## 映像センサー設定

- **タイトル、製品、ファームウェアバージョン**：カメラ名、モデル名およびソフトウェアバージョンを表示します。
- **ビデオスタイル**：**TV色**または**PC色**を選択することができます。
- **逆行補正**：逆光補正機能のON/OFFを設定します。逆光補正を使用する場合、逆光のときでも被写体をより明るく映します。
- **鮮明度**：映像の鮮明度を設定します。映像の輪郭を調節し、鮮明度を補正することができます。値が大きいほど映像が鮮明になりますが、大きすぎる場合には映像にノイズが発生することがあります。
- **ノイズフィルター**：ノイズフィルターの強度を設定します。照度が低い場所で映像のノイズを減らすこ とができます。値が大きいほどノイズが減りますが、大きすぎる場合には映像が全般的にぼやけることがあります。
- **3DNR**(3Dノイズの除去)：3DNRを使用するか否かを設定します。3DNRを使用する場合、低照度の環境でも背景のノイズを減らすことができます。3Dノイズフィルターを適用すると映像がぼやける現象はなくなりますが、画面を引きずる現象(残像)が発生することがあります。
- **IRモード**：**IRモード**を使用する場合、カメラが赤外線を制御します。照度が高い場所では赤外線を遮断し、照度が低い場所では赤外線遮断を解除してどのような照度環境でも映像を鮮明に録画することができます。
  - デイモード/ナイトモード：昼間または夜間モードに設定します。
  - 自動：カメラの設置環境によって、システムが自動的にIRモードを使用するか否かを設定します。

- **白黒モード**：白黒モードでは映像を白黒にして、照度の低い場所でも映像をきれいに映すことができます。
  - **オン/オフ**：白黒モードをオン/オフします。
  - **自動**：カメラの設置環境によって、システムが自動的に白黒モードを設定または解除します。
- **スマートIR**：IR LEDの明るさを調節します。項目を選択すればIR LEDセンサーが照度を感知し、明るさを自動的に調節します。項目を選択しなければ明るさを手動で0%～100%まで設定することができ、値が大きいほど明るくなります。
- **設定モード**：**普通**または**番号識別**の中から設定モードを設定します。**番号識別**モードでは照度が低い場所で逆光によって映像の特定の部分が明るすぎてそれ以外の部分が暗すぎる場合、その特定の部分の逆光を遮断しそれ以外の部分の映像をより明るくて鮮明に見ることができます。例えば、暗い駐車場の入口や夜間のガソリンスタンドの入口で車のヘッドライトに強く照らされたとき、ヘッドライトの光だけを遮断して車のナンバープレートを識別することができます。**番号識別**モードを選択すると映像センサーの一部の設定値が**番号識別**モードで適切な値が自動的に適用され、ユーザーが任意で変更することはできません。
- **ミラーリング**：**水平**または**垂直**項目を選択し、映像を左右または上下に反転させます。

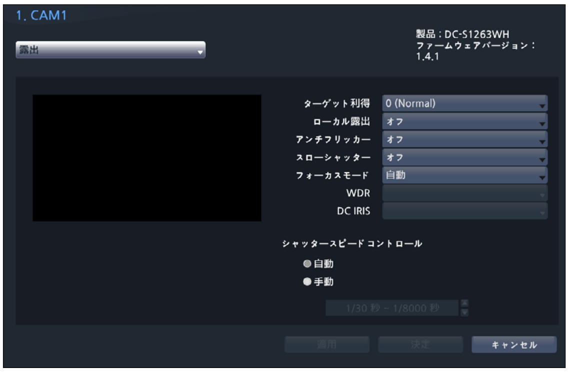
カメラ設定を行ったあと**適用**を選択すると、左画面で設定が適用されたカメラの映像を確認することができます。**適用**または**決定**を選択すると、ダイアログボックスで設定が成功しているか確認することができます。

## ホワイトバランスの設定

- **プリセット**：予め設定しておいたホワイトバランス値を環境に合わせて選択します。
  - 自動：ホワイトバランスを自動調節します。システムがカメラの設置された場所の照明を感知し、適切なホワイトバランスに自動設定します。
  - 白熱灯～蛍光灯(ダーク)：カメラが設置された場所の照明を選択すると、環境に合ったホワイトバランスが設定されます。
- **手動設定**：ホワイトバランスを手動で調節できます。RedおよびBlue利得が調節でき、値が大きいほどその色が強調されます。

カメラ設定を行ったあと**適用**を選択すると、左画面で設定が適用されたカメラの映像を確認することができます。**適用**または**決定**を選択すると、ダイアログボックスで設定が成功しているか確認することができます。

## 露出設定



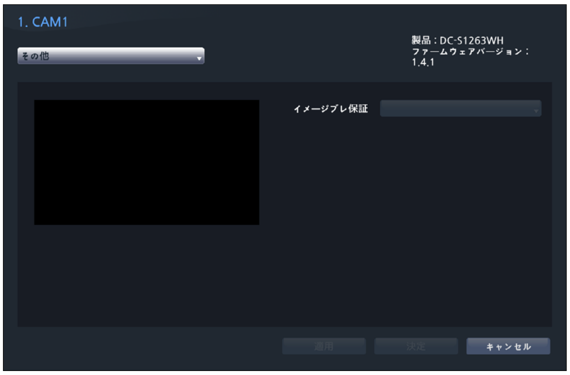

- **AEターゲット利得**：露出補正のためのターゲット利得を設定します。選択したターゲット利得を基準として自動的に露出が補正されます。値が大きいほど全般的に映像が明るくなります。
- **ローカル露出**：ローカル露出を設定します。照度が低い場所で逆光によって、映像に暗過ぎたり明る過ぎたりした部分が同時に存在する場合、逆光以外の映像をはっきりと見ることができます。値が大きいほど映像をよりはっきり見ることができます。例)暗い駐車場の入口や夜間のガソリンスタンドの入口で車のヘッドライトに強く照らされたとき、ヘッドライトの光だけを遮断して車のナンバープレートを識別することができます。
- **アンチフリッカー**：カメラが設置された場所の照明が蛍光灯のように交流電源(AC)を使用する場合、照明の周波数と同じ周波数を設定します。周波数の差による画面のちらつき現象を減らすこ とができます(NTSC:

60Hz、 PAL: 50Hz)。

- **スローシャッター**：シャッタースピードを設定します。シャッターモードは照度が低い時だけ作動します。スローシャッターモードを使用する場合、照度が低い環境でも明るい映像が得られます。カメラモデルによって動作が異なることがあります。詳細な動作方法は、カメラの取扱説明書をお読みください。
- **フォーカスモード**：フォーカス移動を自動／手動／半自動に変更することができます。この機能はモデルによって対応しない場合があります。
- **WDR**：WDR（Wide Dynamic Range、広域補正）を使用するか否かを設定します。WDRを使用する場合、映像に暗すぎるところや明るすぎるところが同時に存在する場合、両エリアとも確認することができます。
- **DC IRIS**：レンズの絞りタイプを選択します。**手動**絞りレンズが実装されている場合は手動を、DCタイプ自動絞りレンズが実装されている場合は**DC IRIS**を選択します。
- **シャッタースピードコントロール**：シャッタースピードを設定します。**アンチフリッカー**および**スローシャッター**がすべて**オフ**に設定されている場合のみに対応します。
  - 自動：システムがカメラの設置されている場所の照度を感知し、適切な速度を自動的に設定します。
  - 手動：スライドバーを利用してユーザーがスピードを指定します。カメラが設置されている場所の照度に適切な最低速度および最高速度を設定します。(1/30秒~1/8000秒)

カメラ設定を行ったあと**適用**を選択すると、左画面で設定が適用されたカメラの映像を確認することができます。**適用**または**決定**を選択すると、ダイアログボックスで設定が成功しているか確認することができます。

## その他




- **イメージブレ保証**：イメージブレ保証モードを設定します。風などの外部的な要因によってカメラに振動が発生する場合、映像のぶれを緩和してくれます。

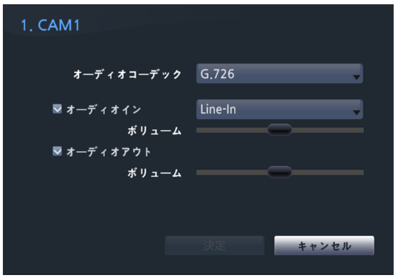
## ストリーム

カメラの監視/録画映像の解像度、画質、フレーム数を設定することができます。

- **カメラチャンネル** : カメラごとにストリームを設定することができます。
- : カメラチャンネルで選択されたカメラのストリームの設定値を、他のチャンネルのカメラにコピーすることができます。
- **ストリーム** : **ストリーム1**、**ストリーム2**、**ストリーム3**を選択することができます。
  - 解像度 : カメラが対応する解像度の中から一つを変更できます。解像度は設定されたストリームを考慮して、自動的に最大設定値が制限されます。
  - 画質 : 最高画質、高画質、標準画質の中から一つを選択することができます。画質はそれぞれ設定することができます。
  - ips : 速度は1～30まで設定することができます。最大ipsは設定されたストリームを考慮し、自動で最大設定値が制限されます。
- **監視ライブビデオプロファイル** : 現在設定されている監視ストリームを確認します。また、画面分割によってストリームの設定ができます。
- **録画ビデオプロファイル** : 3つの録画品質から選択して設定することができます。
- リモートビデオプロファイル : 遠隔ストリームの設定ができます。
  - Dynamic Stream : 遠隔プログラムの画面分割により**ストリーム1**、**ストリーム 2**、**ストリーム3**を自動に遠隔地に転送します。

## オーディオ

カメラの録音関連機能を一括して設定することができます。




- **オーディオコーデック** : オーディオコーデックを選択します。(G.711 a-LawまたはG.726)
- **オーディオイン** : オーディオ入力ソース(マイクまたはラインイン)を選択してボリュームを調節します。
- **オーディオアウト** : ボリュームを調節します。
- **連動オーディオイン** (Associated Audio In) : 選択したオーディオチャンネルをカメラに連動させます。本設定はビデオエンコーダーの場合にのみ対応します。

カメラはオーディオ出力アンプを実装していないため、ユーザーはアンプとスピーカを用意する必要があります。

## アップグレード

各ネットワークカメラの**ファームウェアアップグレード**を選択すると、USB検索ウィンドウが表示されます。

USBに接続されているHDDからアップグレードパッケージファイルを選択してください。

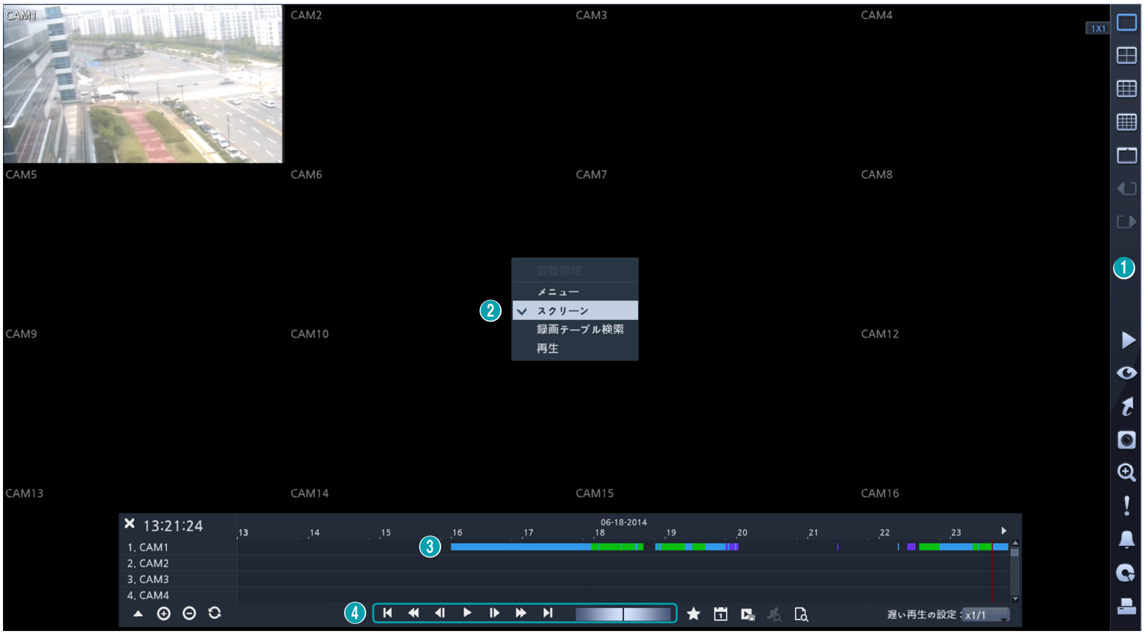
各々のカメラのアップグレードパッケージファイルを選択して適用ボタンを押すと、カメラをアップグレードできます。

- アップグレードを失敗すると失敗メッセージが表示されます。失敗メッセージは**82ページ エラーコードの種類**を参照ください。
- アップグレードが終了したら、ネットワークカメラは再起動され自動的に接続されます。
- ネットワークカメラをアップグレードするとき、対象カメラのソフトウェアのバージョンは確認しません。

# 第4章–検索

## タイムラプス検索

リアルタイム監視モードで**検索モード**アイコン を選択し、**タイムラプス検索**モードまたは**イベントログ検索**モードを選択して実行することができます。




1 タイムプラス検索モードで前面パネルの**メニュー**ボタンを押すと、**調整エリア**を選択できるメニューが表示されます。

2 **メニュー**ボタンをもう1度押すと、**調整エリア**が移動します。

3 **調整エリア**が移動した状態で2秒経過すると、**調整エリア**が選択されてメニューが消えます。

4 移動したい**調整エリア**を選択し、前面パネルまたはリモコンの方向ボタンで各メニューや項目の間を移動することができます。検索メニューはマウスポインタを画面の下に移動すると表示させることができます。

**調整エリア**は**メニュー、スクリーン、録画テーブル検索、再生**で構成されています。

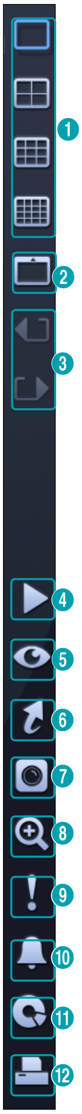
① **メニュー**：画面の右側の検索メニューを選択可能にします。方向ボタンで移動してメニューを選択することができます。

② **スクリーン**：カメラ画面を活性化させて、フロントのボタンを利用して、カメラ画面の選択できるようにする機能でございます。

③ **録画テーブル検索**：下段の録画テーブルを有効化します。方向ボタンで移動して録画テーブルを選択することができます。

④ **再生**：フロント方向ボタンおよび確認ボタンを利用して、再生モードの制御ができます。

# 検索メニュー



**① レイアウト**

画面のレイアウトを切り替えます。

**② ディスプレー**

- **OSD ON/OFF**：OSD機能を有効化、または無効化します。
- **比率維持ON/OFF**：ONに設定すると、映像オリジナルの比率でカメラ画面の領域に合わせて映像を出力します。

**③ 前画面グループ/次画面グループ**

現在の画面グループから前画面グループ、または次画面グループに移動します。(単一画面の場合のみ対応)

**④ 検索モード**

タイムラプス検索/イベントログ検索を変更して検索します。

**⑤ 監視モード**

リアルタイム監視モードに切り替わります。

**⑥ 移動**

日付と時間で録画映像を検索することができます。移動する日付/時間を設定して移動を押すと、検索にヒットした録画映像に移動します。右側の (ブックマーク)ボタンを選択すると、保存されたブックマークの位置に移動することができます。

**⑦ カメラ**

カメラチャンネルを選択し、そのチャンネルを単一画面に切り替えます。

**⑧ 拡大**

映像を拡大することができます。

**⑨ 緊急録画**

緊急録画機能を使用できます。

**⑩ アラーム**

アラームが動作している間、内部ブザーを含むNVRのアラーム出力をリセットします。

**⑪ データベース**

- **録画**：本装置の保存デバイスに録画されたデータを検索することができます。
- **外部**：他装置で使用していたディスクを接続すると、録画されているデータを検索することができます。
- **部分削除**：個人情報を保護するため、録画されたデータの中から一部区間の映像を削除することができます。

**⑫ 印刷**

現在の映像をPDFファイルとして保存することができます。

## タイムラプス検索メニュー

### ① 録画テーブル

現在の画面に表示されるチャンネルの録画情報を表します。

検索ウィンドウ上段に録画された日付/時間情報が表示されます。録画テーブルの灰色の縦の線は現在の再生位置を表します。リモコンの方向ボタンを利用し、現在の再生位置を区間単位で移動することができます。マウスで再生位置を自由に移動させることができます。

- 録画テーブルで後方に表示されるほど、最新のデータです。
- システム時間を過去の時間に変更して録画すると、同じ時間帯に1つ以上の映像が存在することがあります。重なる時間帯は黄色い線で区分された録画テーブルに表示されます。

(拡大表示)を選択すると録画情報が1分単位の区間で構成され、(縮小表示)を選択すると録画情報が3分単位の区間で構成されます。縮小表示を選択すると、拡大表示よりもっと多くの時間を一つの画面で見ることができます。

画面に表示される日付や時間より以前または以後の録画データが存在する場合、日付/時間情報を表示するウィンドウの両側にスクロールバーが表示されます。スクロールをリモコンの方向ボタンを押すか、マウスでクリックしてドラッグし、選択した録画データの情報を確認することができます。

(リロード)を選択するたびに、最新にアップデートされた録画情報が確認できます。

録画データの棒グラフの色

| | |
|---|---|
| 青色 | タイムラプス録画 |
| 紫色 | イベント録画 |
| 黄色 | プリイベント録画 |
| 赤色 | 緊急録画 |
| 緑色 | デバイス接続の一時中断による異常な録画 |

### ② 再生ボタン

映像を再生・探索することができます。各ボタンの機能はリモコンの再生ボタンと同じです。

- **ジョグシャトル**

  再生方法および速度を調節することができます。

  ジョグシャトルの縦の表示線は、現在の再生方向や速度を表します。縦の表示線が中央から右方向にあれば映像を正方向に再生し、左側にあると逆方向に再生します。縦の表示線が中央から遠くなるほど再生速度が速くなります。縦の表紙線をクリックし、ジョグシャトルをマウスでドラッグすることで映像の再生速度を調節することができます。マウスボタンを離すと縦の表示線が中央に戻り、映像再生が止まります。

### ③ ブックマーク

- **現在位置追加**を選択すると、現在の再生位置をブックマークに登録します。**タイトル**を選択して登録したブックマークの名前を入力します。

ブックマークは12件まで保存できます。

- ブックマーク設定ウィンドウで特定のブックマークを選択し、登録された再生位置に移動することができます。
- ブックマークリストを選択し、✕アイコンを選択してそのブックマークを削除することができます。

### ④ カレンダー検索

特定の日付の映像をカレンダー検索で探すことができます。

録画された映像がある日付はグレー色で表示されます。日付を選択すると、その日付のもっとも早い時間に録画された映像が静止画の状態で表示されます。選択された日付は黒い背景にグレー色で表示されます。

### ⑤ バックアップ

- **ツータッチクリップコピー**：任意の2つの位置を指定して両位置間のデータをコピーすることができます。バックアップ設定ウィンドウが表示されます。指定した2つの位置の範囲が**開始**と**終了**時刻に自動設定されます。
- **バックアップ**：バックアップの設定ウィンドウが表示されます。**開始**と**終了**時刻をデータの最初や最後に決めることができます。リアルタイム監視モードまたは再生モードでリモコンの**CLIP COPY**ボタンを押すと、**バックアップ**設定ウィンドウが表示されます。

- **チャンネル**：カメラの映像を保存するチャンネルを選択することができます。
- **パスワード**：保存したビデオクリップを再生するとき、パスワードを使用するか否かを選択し使用する場合はパスワードを設定してください。

- **メディア選択**：保存されるメディアを選択することができます。
- **ファイル名**：保存するファイルの名前を設定してください。最大63文字まで入力できます。

ファイル名には、¥、/、:、;、*、?、!、“、<、>、| などの文字は使用できません。

- **テキストインデータを含む**：録画映像にテキスト入力情報がある場合、テキスト入力情報を映像とともに保存します。
- **サイト名使用**：バックアップのファイル名にサイト情報を追加します。

バックアップのファイル名に場所情報を追加する場合、場所情報に使用された¥、/、:、;、*、?、!、“、<、>、|などの特殊文字は_に代替されます。

**開始**を押すと指定した保存範囲のデータ量が計算されて表示されます。容量を確認し、**続ける**を選択するとバックアップが始まります。バックアップが始まると、**キャンセル**を押してバックアップを取り消すことができ、**閉じる**を押して画面を消すことができます。**閉じる**を選択してもバックアップは続けられ、コピーが完了するとこれを確認するウィンドウが表示されます。

- **ワンタッチバックアップモード**では保存されるドライブのメディア容量に合わせて保存範囲を自動的に設定します。選択したメディアに空き容量が足りない場合、空いている容量だけバックアップができます。
- バックアップのためのファイルの大きさは30GBに制限されます。2GBを超える映像区間をバックアップする場合、システムが2GB単位に分けて保存します。ただし、ワンタッチモードではバックアップのファイルの大きさは2GBに制限されます。
- バックアップで作成したファイルは、WindowsのPCで、すぐに再生することができます。再生方法に対する詳しい説明はiRASの取扱説明書を参照ください。
- USBフラッシュメモリはFAT32フォーマットのみに対応します。

USBバックアップの途中でUSBケーブルを取り外したり、USB装置の電源を切ったりしないでください。USBバックアップ中にケーブルが抜けたり装置の電源が切れた場合、NVRシステムが誤作動を起こしたり、外付けUSB装置のファイルシステムが損傷し再びバックアップを試みたときバックアップができないというエラーメッセージが表示されることがあります。このエラーメッセージを表示させないためには、NVRを再起動する必要があります。USB HDDのファイルシステムが損傷していた場合は、NVRを再起動してバックアップを試みてもこのエラーメッセージは消えずに表示されます。この場合はHDDをもう一度フォーマットするか、復元プログラムを利用して損傷した外付けHDDのファイルシステムを修正しなければなりません。

### ⑥ モーション検索

(本機能は単一画面モードのみで実行します。)
モーション検索機能は分割画面モードでは実行できません。単一画面モードで選択してください。

- **開始**で**始め**を選択すると、保存されているデータの中で最初の時刻に設定され、**終了**で**終わり**を選択すると保存されているデータの中で最後の時刻に設定されます。**始め**や**終わり**のチェックを解除し、検索する期間を直接指定することができます。
- **タイプ**：**モーション検索**は直前の映像と比較して選択されたエリアでの変化を探します。つまり、継続的な変化にも関わらず、変化がとても遅い場合は検索されません。一方で、**オブジェクト検索**は**開始**に設定されたときの映像と比較し、選択されたエリアでの変化を見つけます。よって、とても遅い変化であっても**開始**で設定されたときと比較し、ある程度の変化は感知されます。
- **エリア**設定はシステム構成–モーション感知設定でエリアを設定する方法と同じです。詳しい内容は**47ページ モーション**を参照ください。

**オブジェクト検索**の検索**エリア**を設定する場合、物体の端の部分を検索領域に含むと正しく検索されない場合があります。正確な検索のために、物体の輪郭の内側を感知エリアに設定してください。

- **感度**：1(低感度)~5（高感度)の中から設定することができます。
- **ミニマムブロック**：**ミニマムブロック**設定はモーション検索だけで使用することができます。

条件設定が終わったら、**検索**を押してください。検索結果項目を選択すると、左側に映像が表示されます。映像を再生するためには、**閉じる**ボタンを押して設定ウィンドウを閉じてください。

### ⑦ テキストイン検索

特定**トランザクション**を選択すると、選択された日付と時間に該当する映像が静止画の状態で表示されます。

1倍速の再生時には画面にテキストイン情報が重なって表示されますが、他の速度で再生すると表示されません。

左下の**条件…**を選択すると、テキストイン検索で検索する条件を決めることができます。

- **開始**で**始め**を選択すると、保存されているデータの中で最初の時刻に設定され、**終了**で**終わり**を選択すると保存されているデータの中で最後の時刻に設定されます。**始め**や**終わり**のチェックを解除すると検索する期間を直接変更することができます。
- **チャンネル**：検索するテキストインチャンネルを選択することができます。
- **テキストインデバイス**を選択し、テキストインデバイスのタイプを選択することができます。
- **+ボタン**：検索変数設定を追加することができます。
- **大小文字区分**：大小文字の使用設定ができます。
- **読込**：保存しておいた検索条件の設定値を読み込むことができます。
- **保存**：現在の検索条件の設定値を保存することができます。

設定が終わり**検索**を押し、検索を実行したあと、**テキストイン検索**設定ウィンドウに戻ります。

### ⑧ 低速再生

再生速度を遅くして検索することができます。(x1/2、x1/3、x1/4、x1/6、x1/8)の低速再生の速度を設定し、再生ボタンを押すと設定した倍速で映像が再生されます。

## コンテキストメニュー

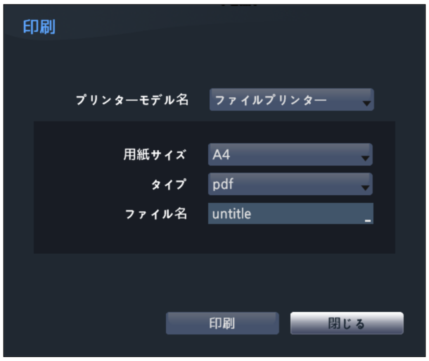
カメラ画面でメニューボタンを押すか、マウスの右クリックでコンテキストメニューを実行することができます。

- **拡大**：映像を拡大することができます。
- **オーディオ**：オーディオ再生をON/OFFできます。録音されたオーディオの再生は、全体画面で再生したときだけが可能です。
- **テキストイン表示/非表示**：録画映像にテキスト入力情報がある場合、テキスト入力情報を映像と一緒に表示したり、非表示したりすることができます。
- **グループ編集**：グループ編集では、分割画面上でカメラの位置が変更できます。

## 印刷

現在の映像を印刷することができます。

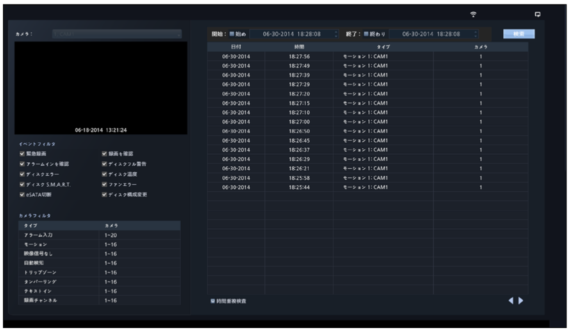
**検索モード**で**一時停止**ボタンを押して、再生を一時停止してください。検索メニューで**印刷**を選択すると、印刷設定ウィンドウが表示されます。




- **プリンターモデル名**
  - ファイルプリンター：現在の映像がUSB保存デバイスにPDFファイルで保存され、保存された映像はPCに接続されたプリンターで印刷することができます。
- **用紙サイズ**：プリントする用紙の大きさを選択します。
- **ファイル名**：保存するファイルの名前を指定します。

# イベントログ検索

メニューで**検索モード**>**イベントログ検索**を選択すると、イベントログ検索ウィンドウが表示されます。



- 特定のイベントを選択すると、連動録画が行われるチャンネルの選択された日付と時間に該当する映像が静止画の状態で表示されます。画面の真ん中の再生ボタンで映像を再生でき、画面上で連動カメラを変更すれば他のカメラを再生することができます。
- イベントログの検索ウィンドウの上にある**始め**や**終わり**の選択を解除し、検索する期間を直接変更することができます。

> 開始で始めを選択すると保存されたデータの中で、最初の時刻に設定され、終了で終わりを選択すると保存されたデータの中で最後の時刻に設定されます。

- **開始**または**終了**時間をユーザーが指定する場合には、**時間重複検査**を選択/解除することができます。

> システム時間が変更されユーザーが指定した**開始**時間または**終了**時間が2つ以上ある場合、これらから1つを選ばなければなりません。選択した**開始**と**終了**時間帯に発生したイベントだけが検索されます。**時間重複検査**が選択されていなければ、全ての**開始**と**終了**時間帯に発生したイベントを検索します。

- **緊急録画**、**録画エラー**、**アラーム入力エラー**、**ディスクフル警告**、**ディスクエラー**、**ディスク温度**、**ディスクS.M.A.R.T.**、**ファンエラー**、**eSATA接続終了**、**ディスク構成変更**などのシステムイベントを検索するときイベントフィルターを選択して選定することができます。

カメラフィルター

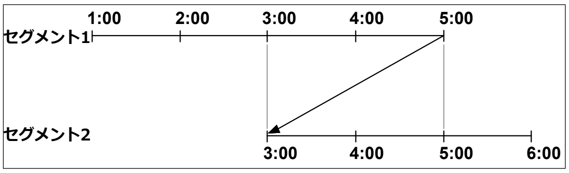
- **アラーム入力**：アラーム入力イベントを検索するアラーム入力チャンネルを選択します。
- **モーション**：モーション感知を検索するカメラチャンネルを選択します。
- **映像信号なし**：映像信号なしイベントを検索するカメラチャンネルを選択します。
- **オーディオ検出**：オーディオ感知イベントを検索するカメラチャンネルを選択します。
- **トリップゾーン**：トリップゾーンイベントを検索するチャンネルを選択します。
- **タンパーリング**：タンパーリングイベントを検索するチャンネルを選択します。
- **テキストイン**：テキストインイベントを検索するチャンネルを選択します。
- **録画チャンネル**：イベントを検索する録画チャンネルを選択します。

設定された録画チャンネルのうちで少なくとも1つの連動録画が発生したイベントだけを検索します。どのカメラも選択しなければ、連動録画カメラが1つもないイベントだけを検索します。

# 重複した時間の映像検索

ユーザーがシステム時間を過去に戻して録画した場合、同じ時間帯に1つ以上の録画映像が存在する時間重複現象が発生する可能性があります。この場合、重複した時間の録画映像は、セグメントを区分して検索する必要があります。

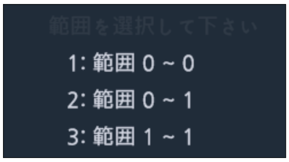
例えば1時から5時までの録画映像が存在する場合、システムユーザーがシステム時間を5時から3時に変更したあと6時まで録画すると、3時から5時までの録画映像が2つ存在することになります。このとき、3時から5時までの時間には2つのセグメントが発生します。




重複した時間の録画映像を検索するとき、特定の時刻または時間範囲を選択することができます。もし時間が重複した区間である3時から5時までの区間で**日時指定検索**などの検索メニューを利用し、ある特定の検索時間を指定する場合、例えば**4時**の録画映像を検索したいなら重複した2つのセグメントの中からどのセグメントの**4時**であるかを選択しなければなりません。

もし時間が重複した3時～5時の区間で**イベントログ検索**および**モーション検索**などの検索メニューを利用して検索時間範囲を指定する場合、例えば**4時～5時**の間の録画映像を検索したいなら重複する2つの検索開始と終了の時間の中から1つを選択しなければなりません。選択可能な検索範囲は下記のとおりです。

- セグメント1の4時～セグメント1の5時
- セグメント1の4時～セグメント2の5時
- セグメント2の4時～セグメント2の5時



# 第5章 – ウェブガード

ウェブガード(WebGuard)はインターネット上でプログラムの設定なしに遠隔地の映像を監視・検索することのできるプログラムです。通常のウェブブラウザー(エクスプロラー)でいつでもどこでも接続することができます。

ウェブガードプログラムを実行するために必要なPCのシステム要求事項は下記のとおりです。

- OS: Microsoft® Windows® XP (Service Pack 3)、 Microsoft® Windows® Vista (Service Pack 1)、 Microsoft® Windows® 7 (Home Premium、 Professional、 Ultimate) or Microsoft® Windows® 8 (Pro、 Enterprise)
- CPU : Intel Pentium IV 2.4GHz以上(Core 2 Duo E4600推奨)
- RAM : 1GB以上
- VGA : 128MB以上(1280x1024、24bpp以上)
- Internet Explorer : Ver.7.0以上(32-Bit)

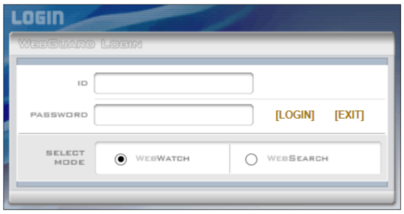
- ウェブガードはマイクロソフトのインターネットエクスプロラー(Microsoft Internet Explorer)だけに対応し、その他のウェブブラウザーには対応しません。
- ウェブガードはMicrosoft® Windows® 8のメトロ(Metro) UIでは作動しません。

1 IE(インターネットエクスプロラー)を起動し、アドレスバーに下記の情報を入力してください。

- http://IPアドレス : ポート番号(NVRシステムIPアドレスおよびネットワーク-一般設定で設定したウェブガード接続ポート番号
(初期値 : 12088)入力)
- または、http://FEN server address/FENの名前(FENの名前 : FENサーバーに設定したNVRのデバイス名)
- または、http:/www.dvronline.net (ログイン時のNVR IPアドレス、またはFENサーバーに登録されているFEN名)

接続したいNVRのIPアドレスおよびウェブガードポート番号はネットワーク管理者にお問い合わせください。

2 ウェブガードログインウィンドウが表示されたら、**"WEBWATCH"**(ウェブ監視)または**"WEBSEARCH"**(ウェブ検索)を選択します。ログインに必要なIDおよびパスワードを入力し、**LOGIN**ボタンをクリックすると選択したモードに移行します。



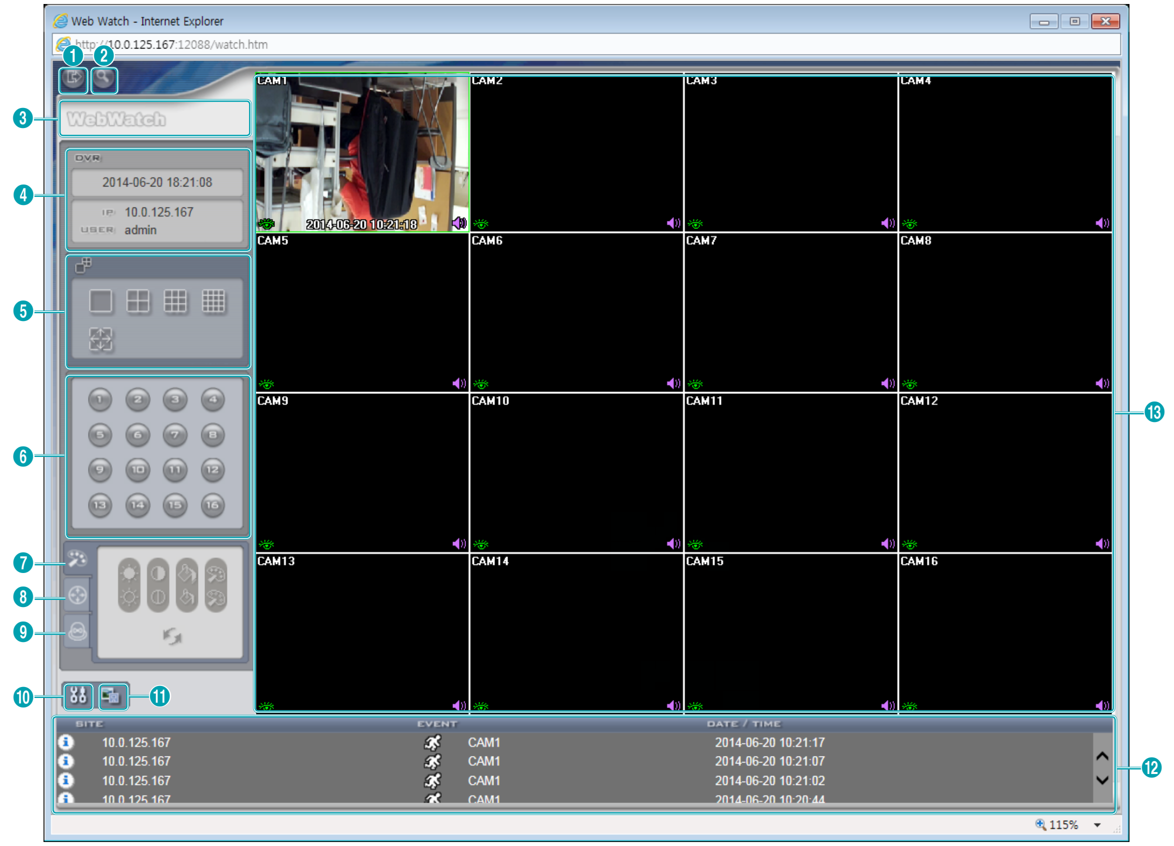

http://www.dvronline.netを入力してアクセスする場合、DEVICE ADDRESSの項目にNVRのIPアドレスを入力します。ログインウィンドウでUse DVRNSオプションを選択すると、IPアドレスの代わりにFENサーバーに登録されているNVRの名前を入力することができます。なお、SETUP設定でFENサーバーのアドレスおよびポート番号の入力が要求されます。

- ウェブガードプログラムの運用中にはログインウィンドウを閉じないでください。ウェブ監視モードまたはウェブ検索モードに切り替わるときスクリプトエラーが発生します。この場合はウェブガードプログラムを再起動する必要があります。
- ウェブガードを実行するとき、アドレスバーまたはステータスバーが表示される場合、画面の下段部が切れて表示されることがあります。この場合インターネット設定を変更し、アドレスバーまたはステータスバーを非表示にして実行することをお勧めします。(**ツール→インターネットオプション→セキュリティ→レベルのカスタマイズ→ウェブサイトがアドレスバーやステータスバーのないウィンドウを開くのを許可する**オプションを**使用**に設定)

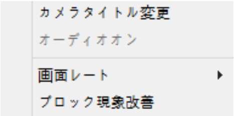
- Microsoft Windows Vista、またはその上位バージョンのOSでウェブガードプログラムを起動する場合、IEを起動するときにIEアイコンをマウスの右クリックすると表示されるメニューから**管理者の権限で実行**オプションを選択してください。そうしなければ、ウェブガードプログラムの一部機能が制限されることがあります。
- 新規バージョンのウェブガードを最初に実行する場合、以前バージョンの情報を読み込むことがあります。この場合、**ツール→インターネットオプション→一般**タブに移動し、テンポラリインターネットファイルを削除してからもう一度ウェブガードを起動してください。
- Microsoft Windows Vista、またはその上位バージョンのOSで映像伝送速度低下によって画面が映らなかったり、更新されなかったりすることがあります。この場合、ご使用中のPCのオートチューニング機能の解除をお勧めします。管理者の権限でコマンドプロンプトを実行します。(**スタート→アクセサリー→コマンドプロンプト→マウスの右ボタン**をクリックし、**管理者の権限で実行**選択)**netsh int tcp set global autotuninglevel=disable**を入力したあとエンターキーを押します。PCを再起動し変更された設定を適用します。オートチューニング機能を復元するには、管理者の権限でコマンドプロンプトを実行したあと**netsh int tcp set global autotuninglevel=normal**を入力します。PCを再起動し変更された設定を適用します。

## ウェブ監視モード

遠隔地の映像をリアルタイムで監視できる遠隔地ウェブ監視プログラムです。




| | |
|---|---|
| ❶ | を押すとウェブガードのプログラムが終了されます。 |
| ❷ | を押すとウェブ検索モードに転換されます。 |

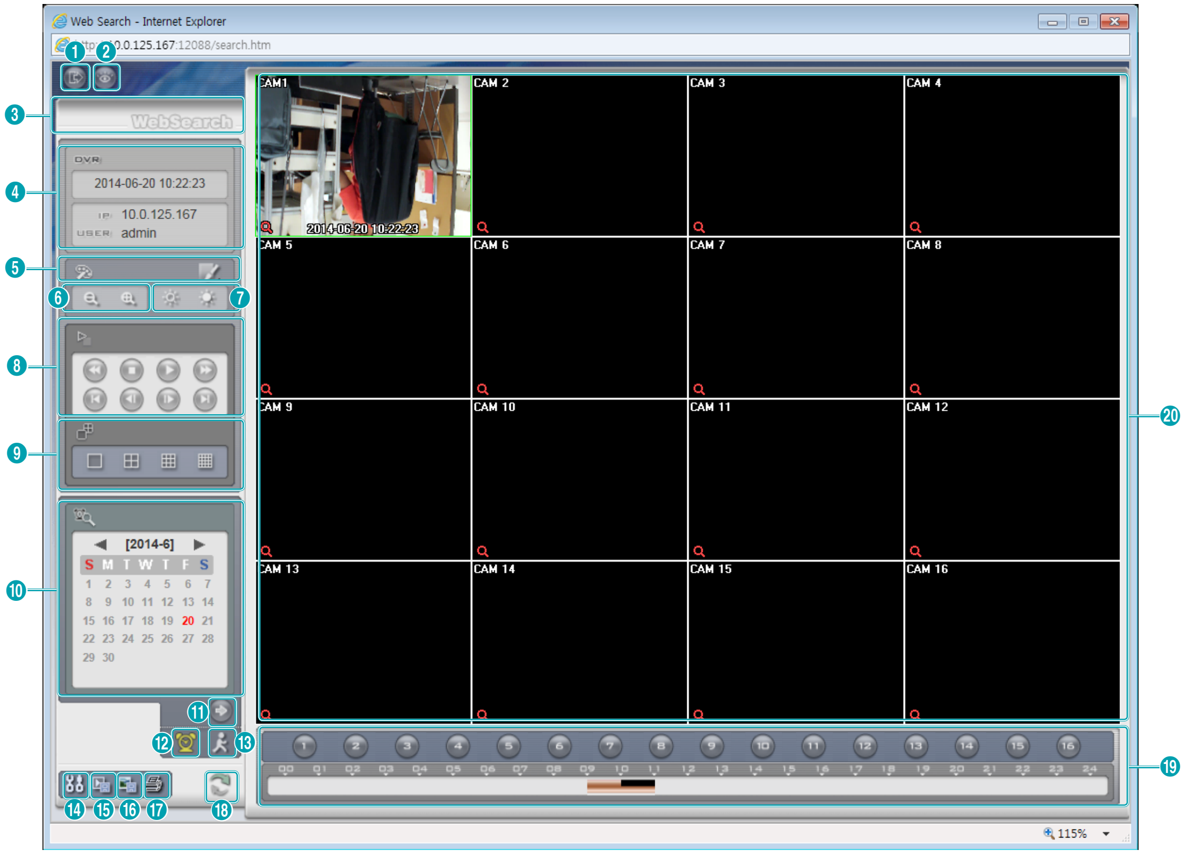
<table>
<tr><td>❸</td><td>マウスのポインタをWebWatchのロゴ部分に置くとウェブガードのバージョンを確認することができます。</td></tr>
<tr><td>❹</td><td>ウェブガードの現在の時間とログイン情報を表示します。</td></tr>
<tr><td>❺</td><td>画面モードを選択します。画面モードを変更する場合、現在のスクリーンで選択したカメラが変更されるレイアウトの1番目のセルに位置します 。</td></tr>
<tr><td>❻</td><td>監視したいカメラを選択します。</td></tr>
<tr><td>❼</td><td>監視映像の画質を調節します。</td></tr>
<tr><td>❽</td><td>遠隔地のPTZカメラを制御します。</td></tr>
<tr><td>❾</td><td>遠隔地のアラーム出力装備を制御します。</td></tr>
<tr><td>❿</td><td>を押してドローイングモードおよびOSD表示を設定することができます。ドローイングモードを選択して映像を出力する速度を調節することができ、OSD表示リストから画面に表示されるOSD情報を選択することがあります。</td></tr>
<tr><td>⓫</td><td>を押して現在みている映像を画像ファイルで保存します。</td></tr>
<tr><td>⓬</td><td>下段部のイベントステータスウィンドウは、遠隔地で感知されたイベントリストを表示します。</td></tr>
<tr><td>⓭</td><td>



スクリーンからカメラを選択しマウスの右ボタンをクリックするとポップアップメニューが表示されます。<br>
• カメラタイトル変更 : カメラ名を変更することができます。<br>
ウェブ監視モードで変更されたカメラ名は遠隔地システムには影響を与えず、カメラ名を入力しなければ遠隔地で設定したカメラ名が画面上に表示されます。<br>
• オーディオ有効化 : 遠隔地とのオーディオ送受信機能を提供します。項目を選択すると、オーディオ ボタンが表示されます。
<table>
<tr><td></td><td>マイクで遠隔地へオーディオを伝送することができます。</td></tr>
<tr><td></td><td>スピーカーで遠隔地のオーディオを再生することができます。</td></tr>
<tr><td>/</td><td>遠隔地との双方向オーディオ送受信が可能です。</td></tr>
<tr><td>×</td><td>オーディオ送受信が無効化されます。</td></tr>
</table>
接続した遠隔地がオーディオ送受信に対応する場合、カメラスクリーンにアイコンが表示されます。<br>
• 画面アスペクト比 : 画面上に表示される映像のアスペクト比を変更することができます。<br>
- 画面に合わせる : カメラスクリーンのエリアに合わせて映像を出力します。<br>
- アスペクト比に合わせる : オリジナル映像の縦横比でカメラスクリーンのエリアに合わせて映像を出力します。<br>
- 半分の大きさ(x0.5)~4倍の大きさ(x4) : オリジナル映像の大きさを基準にメニューで指定した大きさでカメラスクリーンに映像を出力します。例えば実際の大きさ(x1)を選択すると、オリジナル映像の実際の大きさで出力します。半分の大きさ(x0.5)~4倍の大きさ(x4)メニューはカメラスクリーンに選択した大きさで映像を出力できるだけのエリアが確保された場合のみに活性化します。<br>
• ブロック現象除去 : 拡大映像で発生する階段化(ブロック)現象を除去し、画面上に表示される映像の出力品質を高めることができます。
</td></tr>
</table>

# ウェブ検索モード

遠隔地の録画映像を検索できる遠隔地ウェブ検索プログラムです。

ウェブ検索スクリーンでの遠隔地へのアクセスは30分以上操作がなければ自動的に解除されます。

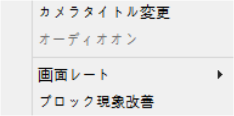



| | |
|---|---|
| ❶ | を押してウェブガードを終了します。 |
| ❷ | を押すとウェブ監視モードに切り替えます。 |
| ❸ | マウスのポインタをWebSearchのロゴ部分に置けばウェブガードのバージョンを確認することができます。 |
| ❹ | 遠隔地NVRの録画映像の時間情報を表示します。 |
| ❺ | 映像に様々なイメージフィルターを適用します。<br>映像調整は一時停止の状態のみで適用されます。 |
| ❻ | 映像を縮小・拡大します。 |
| ❼ | 映像の明るさを調節します。 |

<table>
<tr><td>❽</td><td>再生ボタンを押して指定した状態で映像を再生することができます。
<table>
<tr><td></td><td>Go to First</td><td></td><td>Fast Forward</td></tr>
<tr><td></td><td>Play by Frame (backwards)</td><td></td><td>Play by Frame (forwards)</td></tr>
<tr><td></td><td>Rewind</td><td></td><td>Go to Last</td></tr>
<tr><td></td><td>Play/Pause</td><td></td><td></td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>❾</td><td>画面モードを選択します。</td></tr>
<tr><td>❿</td><td>特定の日付の映像をカレンダー検索で探すことができます。<br>録画された映像がある日付は黒で表示されます。日付を選択すると、その日付のもっとも早い時間に録画された映像が静止画の状態で表示されます。選択された日付は赤で表示されます。</td></tr>
<tr><td>⓫</td><td>を押して検索する、特定の時間帯の映像にすぐ移動することができます。</td></tr>
<tr><td>⓬</td><td>を選択するとタイムラプス検索モードを利用し、録画映像を時間順に従って検索・再生します。タイムラプス検索モードでの検索は日付の単位で行われ、カレンダーで検索する日付を選択することができます。画面下のタイムテーブルではカレンダーで選択した日付の録画映像の時間情報を表示します。時間を選択すると、その時間帯の映像を画面に表示します。選択した時間帯に1つ以上の映像がある場合、セグメントを選択することができます。</td></tr>
<tr><td>⓭</td><td>を選択するとイベント検索モードになり、ユーザーが指定する特定な条件に満足するイベントを検索することができます。</td></tr>
<tr><td>⓮</td><td>を押してドローイングモードおよびOSD表示を設定することができます。ドローイングモードを選択して映像を出力する速度を調節することができ、OSD表示リストから画面に表示されるOSD情報を選択することができます。</td></tr>
<tr><td>⓯</td><td>を押して録画映像を実行ファイルとして保存します。</td></tr>
<tr><td>⓰</td><td>を押して現在みている映像を画像ファイルで保存します。</td></tr>
<tr><td>⓱</td><td>を押して現在見ている映像をPCに接続されているプリンターで印刷します。</td></tr>
<tr><td>⓲</td><td>を押して遠隔地の最新録画映像を再び読み込みます。</td></tr>
<tr><td>⓳</td><td>選択したカメラの録画情報を時間単位で表示します。カメラのシステム時間が過去に変更され同一の時間帯に1つ以上の映像が存在する場合、タイムテーブルの右上のセグメントメニューでどのビデオセグメントを検索するか指定することができます。</td></tr>
</table>

⑳

スクリーンからカメラを選択しマウスの右ボタンをクリックするとポップアップメニューが表示されます。




- **カメラタイトル変更**：カメラ名を変更することができます。

> ウェブ検索モードで変更されたカメラ名は遠隔地システムには影響を与えず、カメラ名を入力しなければ遠隔地で設定したカメラ名が画面上の表示されます。

- **オーディオ有効化**：映像が録画されるときオーディオも一緒に録音されている場合、再生するときオーディオが一緒に出力されます（単一画面再生時に限る)。
- **画面アスペクト比**：画面上に表示される映像のアスペクト比を変更することができます。
- **ブロック現象除去**：拡大映像で発生する階段化(ブロック)現象を除去し、画面上に表示される映像の出力品質を高めることができます。

## システムログの種類

| | |
|---|---|
| システム起動 | 緊急録画開始 |
| システム終了 | 緊急録画終了 |
| システム再起動 | 全てのデータ削除 |
| アップグレード成功 | ディスク削除 |
| アップグレード失敗 | ディスクフォーマット |
| 電源エラー | ディスクフル |
| 時間変更 | 自動削除 |
| 標準時間帯変更 | 検索開始 |
| タイムサーバー | 検索終了 |
| 時間同期化失敗 | バックアップスタート |
| ディスクエラー | 終了 |
| ログイン | バックアップ取消 |
| ログアウト | バックアップ失敗 |
| 設定開始 | バックアップユーザー |
| 設定終了 | バックアップスタート |
| 遠隔設定変更 | バックアップ終了 |
| 遠隔設定エラー | バックアップ映像再生時間 |
| 設定読込 | バックアップカメラ |
| 設定読込失敗 | コールバック失敗 |
| 設定保存 | ファクトリーリセット |
| 設定保存失敗 | カメラアップグレードスタート |
| 設定保存キャンセル | カメラアップグレード終了 |
| SNS失敗 | カメラアップグレード失敗 |
| スケジュール作動 | カメラアップグレードユーザー |
| スケジュールOFF | カメラアップグレードカメラ |

# エラーコードの種類

| アップグレードエラーコード | | | |
|---|---|---|---|
| 番号 | タイプ | 番号 | タイプ |
| 0 | 原因不明なエラー | 301 | 遠隔ネットワークエラー |
| 1 | ファイルバージョンが合致しない | 302 | 遠隔アップグレードの権限がない |
| 2 | OSバージョンが合致しない | 303 | 遠隔アップグレードファイルの保存失敗 |
| 3 | SWバージョンが合致しない | 304 | ユーザーが遠隔アップグレードをキャンセル |
| 4 | カーネルバージョンが合致しない | 400 | USBメモリでマウントエラー |
| 100 | メモリマウントエラー | 401 | USBメモリでファイルロードエラー |
| 101 | ファイルが見つからない | 402 | USBメモリでファイルコピーエラー |
| 102 | 圧縮ファイルの解凍エラー | 403 | USBメモリが接続されていない |
| 103 | リロ(LILO)実行失敗 | 404 | USBメモリ使用中 |
| 104 | 再起動失敗 | 405 | サポートされないファイルシステム |
| 105 | 正しくないファイル | 500 | バックアップ中であるためアップグレードできない |
| 300 | 遠隔接続失敗 | | |

| バックアップエラーコード | | | |
|---|---|---|---|
| 番号 | タイプ | 番号 | タイプ |
| 0 | 原因不明なエラー | 12 | ディスクエラー発生 |
| 1 | デバイスエラー | 13 | クリッププレイヤーの実行ファイルなし |
| 2 | デバイス接続失敗 | 14 | クリッププレイヤーの実行ファイルオープン失敗 |
| 3 | CDメディアなし | 15 | クリッププレイヤーの実行ファイル保存失敗 |
| 4 | 間違ったメディア | 16 | イメージ作成失敗 |
| 5 | 同じ名前のファイルがある | 17 | コピー失敗 |
| 6 | 残容量不足 | 18 | コピー時間オーバー |
| 7 | 臨時ファイル作成失敗 | 19 | デバイス接続失敗 |
| 8 | ディスクオープン失敗 | 20 | デバイス使用中 |
| 9 | ディスクフォーマット失敗 | 21 | サポートされないファイルシステム |
| 10 | データベースが変更される | 22 | データ検証失敗 |
| 11 | 保存失敗 | 23 | 範囲に保存されたデータがありません。 |

| ネットワークエラーコード | | | |
|---|---|---|---|
| 番号 | タイプ | 番号 | タイプ |
| 0 | エラーの原因が分からない | 20 | ユーザーによって接続がキャンセルされる |
| 1 | 正常なログアウト | 21 | ネットワークデバイスホストの応答なし |
| 2 | 全チャンネルで使用中のため接続が拒否される | 22 | ネットワーク上にノイズ信号が多い |
| 3 | 間違った製品のバージョン情報 | 23 | 転送キューがいっぱい |
| 4 | 間違ったユーザー名あるいはパスワード | 24 | 間違ったOEM情報 |
| 5 | 管理者が接続を強制的に終了させる | 25 | 検索権限なし |
| 6 | タイムアウト | 26 | ポートがすでに使用中 |
| 7 | ネットワークデバイスが終了 | 27 | SSL接続失敗 |
| 8 | 使用可能なポートがないため接続できない | 28 | ネットワークタイムアウト |
| 9 | サーバーが作動していないため接続できない | 29 | ネットワークデバイスホストタイムアウト |
| 11 | ネットワーク使用不可 | 30 | ネットワークデバイスホストがTCPによるRTPに対応しない |
| 12 | ネットワークエリアが違うためアクセス不可 | 31 | ソケットエラー発生 |
| 13 | 接続タイムアウト | 100 | 不明なコーデック |
| 14 | ネットワークデバイスから強制的に接続が解除される | 101 | JPEGコーデック(対応しない) |
| 15 | ネットワークデバイスホストが終了 | 103 | MPEG4コーデック(対応しない) |
| 16 | ネットワークデバイスホストでルーティングできない | 400 | サポートされない解像度 |
| 17 | 接続が中断される | -1 | 正常な接続 |

# 故障時の確認事項

| 不具合 | 確認事項 |
|---|---|
| 本体の電源が入りません。 | • 電源コードの接続を確認してください。<br>• コンセントの電源を確認してください。 |
| リアルタイム映像が映りません。 | • カメラビデオケーブルとの接続を確認してください。<br>• モニタービデオケーブルとの接続を確認してください。<br>• カメラの電源を確認してください。<br>• カメラレンズの取り付け状態を確認してください。 |
| PoEに対応するカメラがONになっていません。 | • カメラがPoEに対応しているか確認します。<br>• ネットワークケーブルにに異常はないかケーブルを取り替えて確認します。<br>• PoE用アダプターに異常がなく、アダプターが電源に正しく接続されいるか確認します |
| NVRが録画中に止まりました。 | • カメラのハードディスクがフルになっている可能性があります。録画された映像を削除して録画エリアを確保してください。<br>• NVRを上書きモードに設定してください。詳しい内容は**44ページ 一般を**参照ください。 |
| アイコンが画面に表示されていますが録画がされません。 | プリイベント設定がされている場合、イベントが発生せず、録画されていない時には（ ）アイコンと（ ）アイコンが表示されます。<br>イベントが発生して録画されるときは、 アイコンと アイコンが表示されます。詳しい内容は**45ページ スケジュール**を参照ください。 |
| システムアップグレードの途中にNVRが再起動を繰り返し作業を完了しません。 | アップデートしているファイルのバージョンを確認してください。現在装置にインストールされているバージョンより下のバージョンにアップアップグレードしている場合、装置にあるファクトリーリセットスイッチを押してファクトリーリセットを先に行わなければなりません。ファクトリーリセットを使用する場合、ユーザーが保存したNVRのすべての設定値が失われます。ファクトリーリセットに関する内容は**18ページ ファクトリーリセット**を参照ください。 |

# 製品の仕様

本製品の仕様は製品の質を高めるために事前の予告なく変更される場合があります。

| 一般 | |
|---|---|
| 寸法(W x H x D) | 300mm x 61mm x 231mm |
| 本体の重量 | 2.76kg (with 1 TB 2HDDs) |
| 梱包の重量 | 4.78kg (with 1 TB 2HDDs) |
| 梱包の寸法(W x H x D) | 460mm x 113mm x 360mm |
| 作動温度 | 0℃ – 40℃ |
| 作動湿度 | 0% – 90% |
| 電源 | NVR Adaptor:INPUT(100-240V~、50/60Hz、1.5A)、OUTPUT(12V⎓、5A)<br>PSE Adaptor:INPUT(100-240V~、50/60Hz、1.4A)、OUTPUT(48V⎓、1.36A) |
| 消費電力 | *NVR Adaptor:12V ⎓、2.1A、25.2W<br>PSE Adaptor:48V ⎓、1.08A、Max. 52W *PSE(Max. 50W) |
| 認証 | FCC、CE |

* NVRの消費電力を測定するときは3TBのHDDを2つ装着

| ビデオ | |
|---|---|
| ビデオ入力 | 4/8/16ネットワークカメラ （ビデオ入力端子：4/9/9） |
| モニター出力 | HDMI : 1 HDMI<br>VGA : 1 D-Sub |
| ビデオ解像度 | 1920x1080、1680x1050 |
| 録画速度(1秒当たりのイメージ) | 1920 x 1200、1920 x 1080、1680 x 1050、1600 x 1200 |
| | 480ips @ Full HD / 16ch<br>240ips @ Full HD / 8ch<br>120ips @ Full HD / 4ch |
| 再生速度(1秒当たりのイメージ) | 120ips @ Full HD |

| 入力/出力 | |
|---|---|
| アラーム入力 | 4 TTL、NC/NO programmable、2.4V (NC)または0.3V (NO) threshold、5VDC |
| アラーム出力 | 1 relay output、2A@125VAC、1A@30VDC(NO) |
| 内蔵ブザー | 80dB at 10cm |
| ネットワーク接続 | 10Mbps/100Mbps/1Gbps Ethernet |
| オーディオ入力 | Network Audio In |
| オーディオ出力 | 1 line Audio Out、RCA |
| テキスト入力 | POS Interface、ATM Interface |

| コネクター | |
|---|---|
| **ビデオ入力** | Ethernet : 4/9/9 端子 (4ch/8ch/16ch) |
| **カメラ電源出力** | Ethernet : 4/8/8 端子 (4ch/8ch/16ch) |
| **モニター出力** | HDMI : 1 HDMI<br>VGA : 1 D-Sub |
| **オーディオ出力** | 1 RCA connector |
| **アラーム** | Terminal block |
| **イーサネット端子** | 1 RJ-45 |
| **eSATA端子** | 1 eSATA |
| **RS232シリアル端子** | Terminal block、text insertion(POS/ATM) |
| **IR遠隔制御ポート** | リモコン |
| **USB端子** | 1 x USB 2.0、1 x USB 3.0(5V、0.5A以下) |

| 保存 | |
|---|---|
| **内蔵HDD** | SATA2 2 bays |
| **外付けHDD** | eSATA 1 port |
| **バックアップデバイス** | USBメモリ(USB HDD、USB Memoryなど) |

## Memo